

平成 21 年度

事業報告書

社会福祉法人楽友会

目 次

1. 社会福祉法人楽友会事業報告書	1
2. 白楽荘（特養部門）事業報告書	13
3. 白楽荘（在宅部門）事業報告書	
通所介護	61
食事サービス	85
いきがいデイサービス	89
多摩センター地域包括支援センター	101
訪問介護	111
居宅介護支援	121
高齢者住宅あたご シルバーピア	127
4. 偕楽荘事業報告書	131

平成 21 年度

事業報告書

社会福祉法人楽友会

社会福祉法人 楽友会事業報告書

平成20年度および平成21年度の事業計画は法人の「経営理念」に基づいて作成されているので、以下その主旨に則り平成21年度の事業について報告を行う。

◎経営方針に基づく報告

* ご利用者に「安全」と「安心」を提供していく。

平成12年度介護保険創設以来実質上下がり続けてきた「介護報酬」について、今般（平成21年度）はじめて全部の事業に対してではないが若干の上方修正が計られた。また、介護職員に限り「処遇改善」のための「交付金」が申請により給付されることとなった。この機会に当法人では3%の給与加算を実施し、介護職員のための処遇改善金の交付申請もいくつかの項目を設定し同時に行った。

ご利用者に「安全」「安心」を保障していくのはやはり「人の力」に最後は依拠せざるを得ない。この福祉の業界にとってはその意味で「人材」の「確保」はもっとも重要な案件である。

平成19年度以来「職員の確保」には最大限の労力を割いてきたが、その効果はある程度達成されてきた。また、「特別養護老人ホーム」においてはそのことに加え「介護」の「質」を高めるためのハード面の整備「特殊浴槽」などの大型の設備を始め、エアコンなど備品類の交換を行い、通所介護事業においても、「静養室」の整備や「車両」の新たな購入などを行った。

* ご利用者本位の事業経営を徹底するための基盤整備を図っていく。

上記で触れたように、職員の確保やハード面の整備などを充実させることに意を砕いたが、それが「安全」や「安心」を保障することへ繋がり、結果として「ご利用者本位」の事業経営に結びついていく。平成21年度の「計画」では人材育成やマニュアルの整備を企図されているが、全体的に見れば、研修の内容は「内部での研修」も含め充実しつつあり、そこから今後「各種マニュアル」の見直しをするための本来の基盤整備が整い、ご利用者本位のための「経営」に関する「教育」を含めた「素地」作りへの方向が定まってきた。詳細は個々の事業別の「報告」を見ていただくこととする。

* 職員の資質の向上に努める。

この項目以下に続く *リスクマネジメントの体制強化を図る。や、*オンブズマン・・苦情処理制度の充実強化を図る。などは実際の介護や

相談業務等々を行っていく中で決して関連性のない分野ではない。「職員の資質」を判断することは非常にむずかしい一面がある。ただし、一方には「介護事故」などを見ている、ほとんど「事故」を起こさない職員がおり、また、「苦情」をご利用者やご家族から受けない（ある種の気配りに長けた）職員が存在することも事実である。

「介護事故」に関していえば、「事故」をほとんど起こさない職員の「介護現場」での自分の判断の「処理過程」において、①「優先順位」（とりえず事故にならないために何を最初にまずやるべきか）や②「被介護者」の特質の把握、③まわりの「環境」（ご利用者や他の職員の位置関係など）に対する「大きな視野」の確保などなどが瞬時に頭の中でできているのではないかと推察できる。「職員の資質」を考える上でその職員の「経験」と合わせ、分析上必要な要素として今後考慮していく必要がある。

逆に言えばそういう「資質」に欠ける職員もいるということで、「教育」というのはこのバラツキのある層に対して、一定の水準が維持できるように努めていくのが最大の眼目となる。

平成21年度、法人は可能な限りその責務として、システムとしての「リスクマネジメント」の強化や、「苦情処理制度」の維持、整備に努めてきた。今後一層その充実と理解を職員に求め、体制を整備していく。

* 情報開示を図っていく。

ホームページのリニューアルに伴い、ホームページ上に絶えず新しい情報が掲載され、なるべく多くの人から見てもらえるよう、かつ、情報の掲載方法が職員の負担にならず、継続可能な仕組みであるように腐心した。ただし、「おおぞら」（法人広報誌）に関しては活発な発行活動ができなかった。内部においては、社内メール等々で職員間の情報共有に努力したが、伝達のシステムについてはまだまだ全体に行き渡らないといこともありそれについては今後の課題とする。特養、デイサービスでの月刊の「広報誌」は今回も情報伝達の手段として継続された。「第三者評価」は平成21年度も「白楽荘」「偕楽荘」共に受審を行い、公表されている。

その他、* 給与制度の見直しを図っていく。や、* 法人としての中・長期計画に基づく施策の施行に取り組んでいく。などは一部上記で述べた給与改正や特殊浴槽、備品類の整備で行われたが、引き続き今後も国政や都を含む自治体の施策に注意しながら平成22年度に引き継がれていく必要がある。

* 「地域貢献に努める」については多摩市受託事業としては「多摩市多摩センター地域包括支援センター」や「介護者教室」などを行い、内部ではボラン

ティア様などたくさんのご尽力を頂き「特養」「在宅」「軽費」共に施設の活性化の重要なファクターとしてなくてはならない存在となっている。見学や実習生の受け入れなどは積極的に行った。今後もこれらを維持し、さらに拡大して新たな地域にある存在としての当法人の在り方を模索していく。

*各種会議（理事会・評議員会、運営会議、主任会議等々）については一部詳細を後掲し参考に供する。

以 上

平成21年度 防災訓練実施状況

楽友会建物が、優良防火対象物に再認定されました

認定年月日 平成21年7月17日

実施年月日	内 容		想定出火場所等	参加者
4月28日(火)	避難訓練	夜間想定	2F 倉庫	2F 利用者
5月15日(金)	避難訓練	消火栓使用	4F 調理室	在宅利用者
5月20日(水)	消火・通報・避難訓練		5F 配膳室	新任職員
6月30日(火)	避難訓練	震度6の地震想定		2F 利用者
7月 1日(水)	避難訓練	消火栓使用	3F 調理室	3F 利用者
7月13日(月)	避難訓練	消火栓使用	4F 調理室	在宅利用者
8月25日(火)	避難訓練	震度6の地震想定		3F 利用者
9月16日(水)	避難訓練	火災報知器使用	4F 調理室	在宅利用者
9月29日(火)	避難訓練	震度6の地震想定		1～3F 利用者
9月15・16・17・29・30日	自衛消防隊操法訓練			白楽荘チーム
10月 7日(水)	自衛消防隊操法大会			白楽荘チーム
10月27日(火)	避難訓練	夜間想定	1F デイルーム	1F 利用者
11月 4日(水)	総合防災訓練		各階配膳室	全館避難訓練
11月12日(木)	消火・通報・避難訓練		4F 調理室	総務職員・建物管理会社
11月13日(金)	消火・通報・避難訓練		4F 調理室	総務職員・建物管理会社
11月24日(火)	避難訓練	消火栓使用	2F 多目的室	2F 利用者
12月22日(火)	避難訓練	消火栓使用	3F 医務室	3F 利用者
1月25日(月)	避難訓練	消火栓使用	4F 調理室	在宅利用者
1月26日(火)	避難訓練	消火栓使用	1F ゲストルーム	1F 利用者
2月23日(火)	避難訓練	消火栓使用	2F 倉庫	2F 利用者
3月30日(火)	避難訓練	消火栓使用	1F 娛樂室	1～3F 利用者

借楽荘は毎月階を変更して避難訓練を実施した。

デイサービス及び生きがいデイ利用者は曜日を変え2ヶ月に1度避難訓練を実施した。

白楽荘は、大きな訓練や操法大会に職員が参加し実践的な訓練を行なった。

各施設に非常災害用備品を配置した。

安全衛生委員会活動報告

- * 職員の職業生活を健康な状態に保つことを基本として、職員の心身の健康確保と快適な職場環境作りを念頭に置き、平成21年度の安全衛生委員会活動を行った。腰痛をはじめとする職業上の疾病の減少・防止にも積極的に取り組んだ。
- * 年度当初の事業計画に基づく「衛生委員会」の開催日程を検討し、産業医と相談し毎月第2木曜日に開催した。
- * 職場環境整備については、主任会議、フロアー会議等で協議し必要があれば直近の衛生委員会で検討し、職場環境の整備に努力した。
- * 懸案であった分煙化について、室内での喫煙（指定ヶ所）は利用者のみとし、職員については室外の一定の場所とするなど、分煙を徹底した。
- * 常備薬については、不足品について適宜補充に努めた。
- * 職員定期健康診断について、10月21日・22日・23日の3日間、全職員を対象に、健康診断を実施した。
夜勤者については、2月に2回目の健康診断を実施した。
- * 東京都の指導検査結果に沿って、10月と3月の年2回、問診票の形式で、腰痛検査を実施した。
- * 11月に、法人嘱託医にお願いし、全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施した。また、2月に、希望する職員を対象に新型インフルエンザ予防接種を実施した。
- * インフルエンザ流行防止として、全職員、全外来者用に使い捨てマスクを大量に購入した。
- * インフルエンザ等感染症防止対策の一環として、うがい手洗いの

励行を始め、各フローア・居室の加湿器設置・使用にて、湿度の40%保持に努めた。結果的には、新型を含め、インフルエンザの荘内集団感染等は認められなかった。

- * 勤務中や通勤途上の事故防止対策の一環として、同じ事故が繰り返されぬことを目的に、業務中・通勤途中の怪我などについての事故報告書を活用した。
- * ノロウイルス等の感染症対策として、次亜塩素酸ナトリウムを用い、手すり、トイレ等の消毒を継続して行なった。また、使い捨てマスク、使い捨てガウン、バケツ等をセットにした感染症予防セットを各部署に配置した。
- * 職員のメンタルヘルスケアについて、精神的なフォローを衛生委員が行うよう努めた。また、今年度も心理相談員の積極的な活用を奨励した。
- * 簡易水道水検査、防虫駆除を年2回ずつ業者委託し実施した。
- * 平成21年度労働災害件数は、13件だった。

平成 21 年度安全衛生委員

委員長	理事長
副委員長	白樂莊施設長
副委員長	偕樂莊施設長
産業医	産業医
衛生管理者	衛生管理者
委 員	養護課長
委 員	在宅福祉課長
委 員	総務課長
委 員	栄養課長
委 員	5 階主任
委 員	6 階主任
委 員	7 階主任
委 員	白樂莊看護師
委 員	偕樂莊看護師
委 員	白樂莊栄養士
委 員	偕樂莊栄養士
委 員	白樂莊生活相談員
委 員	偕樂莊生活相談員
委 員	在宅福祉課生活相談員

理事会開催概要(平成21年度)

理事会 6回

回	日時	出席者	議事概要
1	平成21年5月23日(土) 午後4時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 田中 實 大矢宗人 小西柁子 笹尾典代 高野範城 監事：小澤 満 本山美八郎	審議事項 1. 平成20年度各施設事業報告 2. 平成20年度各施設収支決算報告 3. 平成20年度監事監査報告 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 2. 多摩市からの受託事業 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告
2	平成21年10月3日(土) 午後4時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 大矢宗人 小西柁子 高野範城 笹尾典代 監事：小澤 満 本山美八郎	審議事項 1. 平成21年度各施設補正予算案 2. 積立金の取り崩しについて 3. 利用者預り金等取扱規程改定案 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 2. 平成21年度介護職員処遇改善 交付金 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告 2. 理事・監事・評議員の改選
3	平成21年10月31日(土) 午後4時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 大矢宗人 小西柁子 高野範城 笹尾典代 監事：小澤 満 本山美八郎	審議事項 1. 評議員の選任 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判
臨時	平成21年11月7日(土) 午後4時15分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 大矢宗人 小西柁子 高野範城 笹尾典代 宮本 誠	審議事項 1. 理事長の選任
4	平成22年1月30日(土) 午後4時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 大矢宗人 高野範城 宮本 誠 小西柁子 笹尾典代 監事：小澤 満	審議事項 1. 平成21年度各施設補正予算案 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 2. 平成22年度介護職員処遇改善 交付金 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告
5	平成22年3月27日(土) 午後4時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 大矢宗人 高野範城 宮本 誠 小西柁子 笹尾典代	審議事項 1. 平成21年度各施設補正予算案 2. 平成22年度各施設事業計画案 3. 積立金の取崩について 4. 平成22年度各施設収支予算案 5. 楽友会 就業規則の改定案 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告

評議員会開催概要（平成21年度）

評議員会 5回

回	日時	出席者	議事概要
1	平成21年5月23日(土) 午後2時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 菅間公子 田中 登 新美嘉彦 引間幹夫 山口利智子 中村俊亮 高村小百合 杉野志保子 佐伯 進 酒井武利 野坂キヨカ 中嶋 理	審議事項 1. 平成20年度各施設事業報告 2. 平成20年度各施設収支決算報告 3. 平成20年度監事監査報告 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 2. 多摩市からの受託事業 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告
2	平成21年10月3日(土) 午後2時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 菅間公子 新美嘉彦 引間幹夫 前田 教恵 佐伯 進 杉野志保子 酒井武利 野坂キヨカ 山口利智子 中村俊亮	審議事項 1. 平成21年度各施設補正予算案 2. 積立金の取り崩しについて 3. 利用者預り金等取扱規程改定案 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 2. 平成21年度介護職員処遇改善 交付金 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告 2. 理事・監事・評議員の改選
3	平成21年10月31日(土) 午後4時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 菅間公子 田中 登 前田教恵 中嶋 理 引間幹夫 佐伯 進 山口利智子 中村俊亮 高村小百合 杉野志保子 酒井武利 野坂キヨカ 松本健二	審議事項 1. 理事・監事の選任 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判
4	平成22年1月30日(土) 午後2時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 大池 澄孝 中嶋 理 菅間公子 田中 登 前田教恵 引間幹夫 山口利智子 中村俊亮 野坂キヨカ 酒井武利 松本健二 杉野志保子 倉澤俊昭 萩生田政由	審議事項 1. 平成21年度各施設補正予算案 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 2. 平成22年度介護職員処遇改善 交付金 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告
5	平成22年3月27日(土) 午後2時00分より	小谷田 進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 中嶋 理 杉野志保子 菅間公子 田中 登 前田教恵 引間幹夫 山口利智子 中村俊亮 野坂キヨカ 酒井武利 倉澤俊昭 萩生田政由	審議事項 1. 平成21年度各施設補正予算案 2. 平成22年度各施設事業計画案 3. 平成22年度各施設収支予算案 4. 楽友会 就業規則の改定案 運営報告 1. 期末勤勉手当等請求裁判 事業報告 1. 平成21年度各施設事業報告

平成21年度常勤職員入退職状況

採用者

	性別	施設	職種	就職年月日
1	男性	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成21年7月1日
2	女性	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成21年12月1日
3	男性	在宅サービスセンター	相談員	平成21年12月1日
4	女性	在宅サービスセンター	相談員	平成22年2月1日
5	女性	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成22年2月1日
6	女性	白楽荘養護課	看護師	平成22年3月1日
7	女性	白楽荘養護課	看護師	平成22年3月1日

退職者

		施設	職種	退職年月日
1	女性	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成21年7月22日
2	女性	在宅サービスセンター	ケアワーカー	平成21年12月13日
3	男性	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成22年3月15日
4	女性	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成22年3月31日

定年退職者

		施設	職種	退職年月日
1	女性	白楽荘養護課	看護師	平成22年3月31日
2	女性	白楽荘	調理員	平成22年3月31日
3	女性	偕楽荘	事務員	平成22年3月31日

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（特養部門）

平成 21 年度 特別養護老人ホーム白楽荘 事業報告

1. 利用者サービス概要

- 1) 利用者定員 150名 現在員（平成 22 年 3 月 31 日現在） 148名
平成 21 年度実績

新規入荘者		退荘者	
男	女	男	女
7名	26名	9名	22名
合計 33 名		合計 31 名	

(詳細は後掲)

※新規入荘者、退荘者ともに在宅入荘相互利用、措置入荘含む

- 2) 申し込み待機者（平成 22 年 3 月 31 日現在） 366名
内訳（男性 163名 女性 203名）
（多摩市 236名 多摩市以外 130名）

3) 職 員

- 施設長 1名
医師 7名（非常勤）
生活相談員 5名
介護職員 80名（常勤 42名、嘱託 2名、非常勤 34名、派遣 2名）
看護職員 10名（常勤 6名、非常勤 4名）
介護支援専門員 5名（兼務）
事務員 5名（常勤 4名、非常勤 1名）
栄養士 2名
調理員 2名（常勤 2名、非常勤 0名）
機能訓練指導員 4名（常勤 1名、嘱託 0名、非常勤 3名）

- 4) 敷地 5,440.25㎡

- 5) 建物 R・C 8 階建地下 1 階付 10,287.93㎡
（5F、6F、7F 部分 4,836.25㎡）

2. 事業報告概要

施設の最終目標は、そこを利用するご利用者に「安全と安心」を実感していただくことに尽きる、と言っても過言ではない。その意味で職員の幅広い知識の習得という意味でも、「研修」や「会議」には力点を置いた。実施状況は以下のとおりである。

昨年度は「預かり金」の件に触れ、「一言で言えば『縦割りの弊害』とでも言うべきものと、部署ごとあるいは個人が『自分の仕事ではない』という視点でのみ動いた結果、杜撰な処理を許してしまった」「どんなシステムを構築しても、モラルで律することができなければ抜け道は容易に作るができる」と書かせていただいた。この骨子はこれからの事業展開やマネジメントの場でも引き継がれるべきものと考えている。

平成21年度はそれらのことを踏まえ職員の努力は傾注された。報告はそのことを検証する「場」でもあるので、詳細は種々の報告事項を見て、今後検討する課題も出てくるかと思う。そのことを踏まえ新たな転換が必要になってくるかもしれない。いずれにしても、「ご利用者」本位の観点は大切なことであり、この視点を見失うと全体の処遇の在り方や方針が迷走する危険性もある。現場を預かる我々に課せられた使命はその意味ではとても「重い」。今回の「事業報告」も最大限参考にしていただき今後活かしていきたい。

3. 研修報告

1) 外部研修

職員一人ひとりが経験年数や所属する委員会などに応じ、年間に1度は外部研修で学ぶことができるように調整を行い、ほぼ全員の職員が外部研修で学ぶことができた。また、昨年度は競争倍率が高く、申し込みを行っても研修を受けることができなかった「認知症実践者研修」に1名参加することができた。

主催	内容	人数	日数	延べ人数
全社協	国際福祉機器展	1名	1日	1
東社協	高齢者のシューティング～機能的座位の ススメ～研修	1名	1日	1
	「介護現場におけるスーパービジョン」研 修	3名	1日	3
	「介護現場におけるスーパービジョン・フ ォローアップ」研修	3名	1日	3
	東京都認知症実践者研修	1名	17日	17
	階層別研修「中堅職員研修」	3名	2日	6
	階層別研修「指導的職員研修」	2名	2日	4
	高齢者施設におけるリスクマネジメント 研修	1名	1日	1

	ソーシャルワーク研修会	1名	1日	1
	看取り介護を考える	1名	半日	1
	アクティブ福祉 IN 東京、聴講	1名	1日	1
	ボランティア・コーディネーター研修協議会研修	1名	1日	1
南多摩保健所	摂食・嚥下研修	3名	1日	3
	結核講演会	1名	半日	1
	感染症予防対策講習会	1名	半日	1
	摂食・嚥下事例検討会	5名	半日	5
	効果の上がる口腔ケア研修	3名	半日	3
	法律から見た医療研修	1名	半日	1
東京都福祉保険財 団	介護サービス事業管理者権利擁護研修	3名	1日	3
	施設リーダー研修（看護実務者）	2名	1日	1
	介護支援専門員更新研修	2名	3日	6
	介護支援専門員実務研修	1名	7日	7
Uビジョン研究所	介護現場のリスクマネジメントセミナー	4名	1日	4
	ケアの質を高める記録セミナー	3名	1日	3
	看取り介護（ターミナルケア）セミナー	3名	1日	3
	新人教育担当者セミナー	2名	1日	2
東京都保健福祉局	介護における事故防止研修	2名	半日	2
	人権研修	3名	半日	3
全国抑制廃止研究会	身体拘束廃止にいろいろな視点で取り組もう	3名	1日	3
多摩市高齢支援課	介護保険認定調査員（新任）研修	2名	1日	2
日本レクリエーション協会	認知症ケアのレクリエーション	1名	1日	1
日本社会福祉士会	社会福祉士実習指導講習会フォローアップ研修	1名	1日	1
東京都看護協会	フィッシュ哲学	1名	半日	1
	看護実践セミナー	1名	1日	1
東京都介護支援専門員研究協議会	施設ケアプランとターミナルケア研修	1名	1日	1
多摩市健康福祉部 高齢支援課	上級救命講習会	3名	1日	3
日本弁護士連合会	看取り介護と終末期医療に関する問題提起研修	1名	半日	1
厚生労働省	要介護認定調査員ブロック研修会	1名	1日	1
荘外研修		延べ人数		103

2) 内部研修

内部研修では外部から専門家を招いたり、各委員会や専門職が中心となり技術・知識の向上を図れる研修を行うことができた。技術については全職員が必ず1度は研修できるように月を通して行うことができた。また、外部研修で学んだことを伝達研修として外部研修に参加した職員自身に行ってもらった。その結果、研修に行っても終わりではなく職員が自身研修内容を振り返ることに繋がった。また、回を重ねるごとに伝達だけではなく、グループワークやアンケートなどを取り入れ、職員同士でスキルアップしているようなシステムの基盤を作ることができた。

月	開催者	内容	参加人数
4	医療介護連携委員会	バイタル測定	65
5	防火管理者	防災研修	24
7	聖和会Dr	口腔ケア	28
8	Nestle Nutrition	嚥下	25
9	施設ケアマネージャー	ケアプラン	20
10	看護課	感染症	21
10	看護課	手洗い	75
11	褥瘡予防委員会	褥瘡予防	31
12	研修参加職員	認知症介護	21
1	研修参加職員	リスクマネジメント	21
2	研修参加職員	看取り介護	27
3	研修参加職員	人権・身体拘束	21
		合計	379

4. 委員会・会議活動報告

1) リスクマネジメント委員会

【実施内容】

毎月1回、第3金曜日に開催。

サービス提供中の事故防止のため、事故報告内容を協議し、業務内容見直しや介護委員とも連携して入浴時等のマニュアル整備を実施した。

- ① 各フロアで頻発する事故、再発を繰り返すご利用者への対応策の検討。
- ② 事故報告書の記録から見る職員のリスクに対する意識の差異への対応。
- ③ 立ち上がりセンサーが新型に変更となった為、各フロアの職員に正しい取り付け

方と使用方法を指導。

- ④ 事故報告書、ヒヤリハット報告書を現状に即した書式に改定。
- ⑤ 各種センサー類にナンバリングを行い、管理を徹底。

⑥ アクセスコール対応者の増加に伴い、各フロアともベランダ等の外部へ至る場所

にセンサーを設置したり、エレベーターの使用法の検討等、離設事故防止への取り組み等。

⑦ 未薬・誤薬防止の為に、服薬マニュアルを改訂、施行。

【21年度事故及びヒヤリハット報告件数】

種別	5階 事故	5階 ヒヤリハット	6階 事故	6階 ヒヤリハット	7階 事故	7階 ヒヤリハット
転倒	25	10	28	20	38	6
転落	36	9	17	10	40	3
異食	3	0	9	7	2	0
誤嚥 誤飲	1	0	1	1	0	0
配薬ミス	4	3	1	2	2	1
自傷	0	1	0	0	0	0
外徘徊	2	1	24	4	10	2
紛失盗	0	0	2	0	0	0
車事故	0	0	0	0	0	0
傷等	74	0	36	1	26	0
その他	14	4	23	7	11	11
合計	159	28	141	52	129	23

2) 身体拘束廃止委員会

【実施内容】

入荘者、ショートステイご利用者の身体拘束をしている方の確認を行い、している場合は必要性の有無を検討。身体拘束のゼロへの取り組みを目指した。

毎月1回、リスクマネジメント委員会の時間内に実施。

平成22年3月31日現在 入荘者 拘束 ゼロ

3) 苦情相談委員会

【実施内容】

毎月1回、白楽荘主任副主任会議後に開催。

委員会にて、苦情の報告（解決済み）を行い、各フロアに周知を行った。また未解決の案件については、その後の対応について検討し、ご本人、ご家族に報告をおこなった。オンブズマンからの改善要望書についても、対応について検討を行った。

21年度苦情相談 9件

内訳)

ご利用者から : 3名

ご家族から : 5名 (内ショートステイ1名)
 オンブズマンから : 1名

4) ボランティア委員会

【実施内容】

毎月1回、第3火曜日に開催。

- ・ 委員会を通してボランティアさんと施設側の意見の交換や情報を共有することができ、21年度も安定してボランティアさんに来荘していただくことができた。
- ・ 4Fホールにご利用者にご御集り頂いて、演芸などを披露していただくことは、ご利用者のADLを考えると難しくなっている現状があり、新規のボランティアさんには各フロアを廻って披露していただく形で行った。結果、多くのご利用者負担なく楽しんでいただくことができた。
- ・ 中学生の職場体験ボランティアや夏体験ボランティアも数多く受け入れたが、21年度は全国的な新型インフルエンザの流行に伴い、感染症対策として冬季に予定していたボランティアさんをお断りしなければならない現状もあった。
- ・ 「ボランティア様に感謝する集い」は20年度に引き続き在宅サービスセンターと合同で開催した。今回はグループ毎ではない席の配置にしたり、ビンゴ大会を行うなど例年と内容を変えて行ってみたがボランティアさん同士の交流もでき、和やかな雰囲気の中で終わることができた。終了後、ボランティアさんからも好評だったとの声を多く頂くことができた。

平成21年度ボランティア活動状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
仲間の会(リネ、縫製、行事)	28	30	40	25	42	25	17	28	25	23	23	36	342
多摩男性ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12
話し相手、グループ活動	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食事介助、水分補給	25	21	25	25	22	22	26	20	21	22	20	21	270
洗濯たたみ	26	20	28	30	25	20	26	24	21	22	21	24	287
喫茶及び模擬店	16	16	18	16	18	18	18	16	18	16	16	18	204
喫茶	30	29	30	21	22	19	22	20	20	16	16	17	262
夏休体験ボラ	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4
手芸(永山教会)	5	6	0	5	5	6	8	9	9	8	0	5	66
詩吟(芦田武志)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
書道(引間幹夫)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

朗読	3	3	3	5	3	2	3	5	2	3	4	2	38
松が谷ボラ(楓会)	12	10	10	10	10	10	8	10	9	8	10	8	115
茶道、松が谷在ボラ、 誘導ボラ	6	5	5	6	5	6	7	5	5	5	6	4	65
お化粧	2	4	6	2	3	4	5	4	5	5	4	4	48
絵手紙	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
傾聴	9	10	10	11	11	9	8	10	11	10	11	10	120
中学生ボランティア体験	0	0	2	6	0	0	4	0	0	0	0	0	12
行事手伝い(個人)	0	0	5	0	0	0	0	7	0	0	5	0	17
演芸	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	22
児童民舞	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20
合計(延べ人数)	192	164	192	193	179	151	162	183	156	151	146	161	2023

5) 医療介護連携委員会

【実施内容】

毎月1回、第1金曜日に開催。

医療技術の基本となる項目について、カラー写真などを掲載した実用的で分かりやすいマニュアルを作成した。

バイタルサイン・酸素飽和度測定・酸素ボンベ交換・ガウンテクニック・吸引を作成したマニュアルを基に、フロアー単位で研修を行った。

マニュアルを分かりやすくしたことで統一した医療技術を提供する基礎ができた。しかし、作成したマニュアルのなかでも背部叩打法と救急処置については研修が行えていない。来年度は研修担当者と協力し実施できるように調整していく。

6) 感染症対策委員会

【実施内容】

毎月1回、第1金曜日に開催。

今年度は報告が必要な感染症の発生はなかった。現在の対応策・予防策が効果的であったと考える。秋には手洗い研修と感染に関する講義を行い、感染予防の知識を提供することができた。

感染に関するマニュアルは今年度作成していない。来年度は感染隔離対応時の方法や感染物の扱いなど視覚的にも分かりやすいマニュアルを作成し、周知徹底を行っていく。

7) 褥瘡防止委員会

【実施内容】

毎月1回、第1金曜日に開催。

9月にケアワーカー・看護師・理学療法士の3職種で褥創予防の研修を行った。褥創発生予防をマインドマップ化した資料を使用した講義と、体位交換や体位保持の方法の

実践を行うことにより、褥創の基本知識を提供することができた。今後は、日常業務のなかで各自が対策を考えていけるようなかわりが必要になってくる。

また、いままでは褥創発生後に対策をとっていたが、今後は予防策を徹底していけるようなシステムを確立していく必要がある。

8) 介護委員会

【実施内容】

毎月1回、第4木曜日に開催。

- ・ 月1回委員会を開き、入浴、排泄、食事について話し合った。
- ・ 他の委員会と連携し、必要な物品を購入した。
- ・ 陰部洗浄や入浴のマニュアルの見直しを行った。
- ・ 便尿表の記入方法を看護師の指示のもと変更を行なった。今までは、○、△、と記号で記入していたが、個々の排便量を確認する為鶏卵大で記入することとした。
- ・ 朝の申し送り時にオムツの当て方のデモンストレーションを行った。
- ・ 食事用おしぼりと入浴用タオルをリースへ変更した。

9) 機能訓練委員会

【実施内容】

3カ月毎に1回開催。

個別機能訓練実施計画書のモニタリング時期に合わせ、3カ月に1回、PT、機能訓練委員担当者、施設ケアマネジャーが集まり、書式や提出時の確認を行った。また日々の個別機能訓練実施状況について、各フロアごと記録しているが、その記載方法の統一を行った。

10) サービスマナー委員会

【実施内容】

毎月1回、第4月曜日に開催。

セルフチェック表を用いて、サービスマナーに対する再確認を行った。定期的に行う事ができなかったが、来年度からは定期的に行う事により、職員一人一人がサービスマナーに対する意識を常に向上させていきたい。また、荘内研修を行った事により、言葉使いや態度だけを見直すだけではなく、より温かい対応の必要性について認識を深めた。

2ヶ月に1回、養護課全員で白楽荘が目指す標語を定め、各フロアに配布して、掲示を行った。朝の申し送り時に、復唱して意識的に取り組んだ。

【活動内容】

- ① セルフチェック表の作成。
- ② 荘内研修の書類作成。
- ③ 標語のポスター制作。
- ④ 各フロアでのマナーに対する現状の話合い。

11) 看取り介護委員会

【実施内容】

毎月1回、第3木曜日に開催。

看取り介護の手順書の作成や見直し、加算要件のひとつである研修の実施、看取り介護実施者の経過報告等を主に行ってきた。また、今年度より看取り介護実施後に介護職員から聞き取りをし、看取りの振り返りを行って次の看取りがより良いものになるように事例の検討・分析を行った。

12) 会議

① 白楽荘主任・副主任会議

施設長、課長、各職種・フロアごとの主任、副主任が月1回集まり、サービスの向上、サービスの平準化を念頭に各フロア等の現状報告を行い、各セッション間の業務の連携、就業管理に関する事等について協議を行った。

② 白楽荘全体会議

法人の理念、楽友会及び白楽荘の21年度の方針、事業計画を職員全員に周知し全員が共通認識の下、業務を行う事等を目的に全体会議を行った。

5. 各フロア活動報告

1) 5F活動報告

今年度は日常生活におけるニーズと介護サービス計画書に基づいた個別対応に努め、日々の生活を穏やかに送っていただけるようなケアの提供を心掛けた。

ご利用者のご家族、多数のボランティアの協力をえて、毎週行う「歌の会」や「傾聴ボランティア」の活動などを通し、ご利用者が楽しい時間を過ごせるように努めた。

また、食事前には口腔体操、ラジオ体操を行い、体を動かし心身の低下、誤嚥の防止をはかった。天気の良い日には散歩、外気浴を行い季節の変化や気分転換をはかった。さらに、3月より入浴日を増やし、安全にゆとりをもって入浴していただけるような体制を整備した。

① グループ活動報告

化粧	年間12回実施	平均参加人数12人
絵手紙	年間12回実施	平均参加人数10人
生け花	年間12回実施	平均参加人数8人
ボランティア歌の会	年間42回実施	平均参加人数25人

② フロア行事

「10月 施設内散歩と風船バレーと茶話会」

10月7日に施設内散策を3班に分かれて行った。4階相談室→デイサービス→6階フロア→7階フロアと散策し、11時30分からは風船バレーを行った。午後はケーキとお茶で茶話会を行い、楽しい時間を過ごす事ができた。またフロア行事に参加され

なかった方には、別の日に散歩を行った。

ご利用者やご家族から他のフロアーに行けて良かった。風船バレーも面白くまたやりたいと意見が出た。

③ フロアー会議

年間2回フロアー会議を行い、ご利用者の個別対応や事故防止の話し合いを行った。フロアー会議の他、ミーティングの時間を使い、個別対応についての話し合いを、11月から毎日行った。

2) 6F活動報告

今年度は介護サービス計画書に基づき担当ケアワーカーを中心に個別対応に努めた。日々個々の日常生活を観察し、ニーズを把握し安全で安心して生活できるようにケアの提供を行い、あわせて事故防止に努めた。

個々に合った小グループ活動を毎日行い楽しくすごせるようにした。またご家族が面会に来られた際には日常の様子を説明して信頼関係を築けるように心がけた。

また、傾聴ボランティアの方などに協力していただき、歌の会を開き、その時々々の季節感を味わっていただけるような活動を行った。

① グループ活動報告

生け花	年間12回実施	平均参加人数 6人
化粧	年間 6回実施	平均参加人数 7人
外気浴	年間 6回実施	平均参加人数 7人
ボランティア歌の会	週1回実施	平均参加人数 10人
グループ活動(歌、ボール)	週5回実施	平均参加人数 5人
音楽鑑賞	毎日個別実施	平均参加人数 5人

② フロアー全体として

- ・ 昼食前の口腔体操を毎日行い、嚥下機能の低下を防いだ
- ・ 食後の口腔ケアをより一層徹底した
- ・ 昼食前のラジオ体操を実施し毎日の生活のメリハリをつけ、心身の機能低下を防いだ

③ フロアー行事

10月(桃太郎の寸劇)

- ・ ご利用者の方と職員で歌を交えた寸劇をおこなった。
- ・ 桃太郎の話と歌は皆さんが知っているものなのでご利用者の方と職員が一緒に楽しむ事ができた。

④ 個別買い物

- ・ 日程を調整し買い物希望者の方と外出した（年間3回）

⑤ フロアー会議

- ・ 年度末に1度フロアー会議を行い、ご利用者の心身の状態の確認や対応について、また、業務の点検や見直しを行った。フロアー会議のほかに毎日ミーティングの時間を取り、ご利用者の個別対応、安全対策等の話し合いを行った。

3) 7F 活動報告

今年度も個々のご利用者の日常生活におけるニーズと、ケアプランに沿った個別対応を重視し、穏やかで心豊かな日々を送って頂ける環境を作る事を目標に活動してきた。

昨年度と同様にご利用者の加齢も含めてのADLの低下、一人一人に対するケアの質、量共に増加している。

ご利用者が1人でぼつんとされている事の無いように音楽をかけたり、ビデオを観て頂いたり、話し掛けを心がけているが、職員のみでは充分といえず、お話を聞いて下さったり、一緒に歌を唄って下さるボランティアにご協力を頂いている。

生け花活動への参加者も年々減少傾向であるが、少しでも季節感を感じて頂ける様に継続している。また、少数ではあるが希望者には買い物や食事に多摩センターまで付き添い気分転換をはかった。

事故防止についても様々なリスクに対応出来る様に話し合い対策を取るよう努めた。

フロアー会議も2回開催し、意見交換をして業務内容の見直しを行った。

① グループ活動報告

生花	年間12回実施	平均参加人数5人
ボランティア歌の会	年間48回実施	平均参加人数12人
ラジオ、口腔体操	毎日昼食前に実施	ほぼ全員
散歩、外気浴	年間10回実施	平均参加人数7人

② フロアー行事

10月に開催。栗白玉ぜんざいとフルーチェをご利用者と一緒に作る。

調理に参加出来ないご利用者は外気浴をかねて散歩に出かけた。調理が終わった所で玉入れ等をして楽しんで頂き、出来上がったぜんざいとフルーチェは昼食時に配膳し職員も一緒に食べながら歓談し楽しい時間を過ごす事が出来た。

6. 実習生受け入れ

福祉専門学校、高校の福祉科、社会福祉士志望の大学生、通信教育の学生など幅広い実習生を受け入れたが、20年度実習生を受け入れる予定で承諾した学校でも学生数の

減少などで実際には配置がなく、昨年度より実習生の総数は減少した。一方で新規にヘルパー資格取得のための実習を1か所受けた。

実習生を受け入れることで、職員は福祉人材を育成することも業務の一環であるという認識をし、実習生に指導すると同時に職員自身の成長にも寄与している。

【21年度実習生受け入れ実績】

学校及び機関名	実習目的	人数	日数	延べ人数
東京福祉保育専門学校	介護福祉士	1	22	22
東京福祉保育通信課	社会福祉士	1	12	12
目白大学	社会福祉士	1	18	18
	社会福祉士	1	6	6
文京学院大学	社会福祉士	1	23	23
世田谷福祉専門学校	介護福祉士	1	11	11
	介護福祉士	2	13	26
貞静学園保育福祉専門学校	介護福祉士	1	7	7
大妻女子大学	介護福祉士	3	29	87
八王子技術専門学校	ヘルパ-1級	6	4	24
NHK 学園	介護福祉士	3	10	30
日本女子体育大学二階堂高校	ヘルパ-2級	2	3	6
	ヘルパ-2級	4	8	32
首都大学東京	社会福祉士	5	3	15
東京家政学院大学	介護福祉士	2	15	30
	介護福祉士	3	20	60
	介護福祉士	2	17	34
桜美林大学	社会福祉士	1	24	24
都立野津田高校	介護福祉士	2	10	20
ベネッセスタイルケア	ヘルパ-2級	3	2	6
合計				493

7. 21年度行事報告

月	行事名	場所	内容
4月	観桜会	バスハイク	マイクロバス・ワゴン車で乞田川沿い長池公園などのお花見
5月	おたのしみ会	4 F 多目的室ホール各階	体操やボールあて、職員出し物鑑賞 各階では紙芝居
6月	ホーム喫茶	4 F 多目的室ホール	テーマ 「あじさい」
7月	納涼会	白楽荘駐車場	盆踊り・花火
8月	ホーム喫茶	4 F 多目的室ホール	テーマ 「白楽庵」
	盆供養	4 F 多目的室ホール	住職による盆供養・法話、 迎え火・送り火
9月	敬老祝賀会	4 F 多目的ホール・各階	法人全体の祝賀会、フロアー行事
	彼岸法要	4 F 多目的室ホール	住職による法要・法話
10月	フロアー行事	各階	5 F 「施設内散策とバレーボール」 6 F 「ご利用者、職員による劇」 7 F 「外気浴・白玉ぜんざい作り」
11月	ホーム喫茶	4 F 多目的室ホール	テーマ 「七五三」
12月	クリスマス会	各階	歌、ハンドベル演奏など
1月	初詣	高幡不動・白山神社	高幡不動・白山神社にグループに分けて初詣
2月	ホーム喫茶	4 F 多目的室ホール	テーマ 「ふわふわオリンピック」
3月	彼岸法要	4 F 多目的室ホール	住職による法要・法話

8. クラブ活動報告

1) 書道クラブ

毎月第1火曜日、7～8種類のお手本の中から数種類を選び、先生の指導のもと練習を行った。練習後に作成した清書は各フロアーに掲示し、ご本人の達成感を高め、他の方々とのコミュニケーションに役立っている。また、新しく参加される方も増えている。

お手本どおり書けなくても、ご自分の好きな文字を書いて頂き楽しく参加して頂いている。ワーカーが手を添えて一緒に書いたり、声かけて筆を動かしていただけるよう援助している。無理強いせず、本人のペースで取り組んで頂いている。

1月には書初めを行い清々しい気持ちを味わい、仮巻きに表装して平素とは異なった雰囲気を共有し、各フロアーに展示してクラブ員以外の方々にも楽しんで頂けた。

9月には色紙書きを行い、いつもとは違った書道を楽しんで頂けた。

毎月の写真撮影は実施できなかったが、6月には活動中の写真を撮影しフロアーに掲示した。10月には個人写真を撮影し掲示方法に工夫を加え、集合写真を作成した。

来年度は1つの作品を参加者全員で協力して作りあげることにも挑戦してみたい。また、写真撮影は随時行い、ご家族や他のご利用者にも書道クラブの様子を知って頂く。

平成21年度購入物品

品目	単価	数	小計	合計
色紙掛	¥750	30	¥22,500	
仮巻き	¥300	10	¥3,000	
小筆	¥240	10	¥2,400	
その他			¥19,488	
写真現像代	¥1,752		¥1752	
計			¥49,140	¥49,140
御車代	¥4,500	12	¥54,000	¥54,000
合計				¥103,140

平均参加人数 23名

2) 詩吟クラブ

毎月第二土曜日、講師の指導のもとに詩吟の練習を行った。講師の選んだ詩吟とご利用者の好きな詩吟を独吟または合吟した。休憩中には、お茶を飲みながら、講師及び職員とご利用者で談笑した。

実施日	参加人数	活動内容
4月12日	7名	「春暁」「江南春」etc
5月10日	7名	「春暁」「太田道灌蓑を借るの図に題す」「偶成」「富士山」
6月14日	7名	「川中島」 静夜思 etc
7月12日	7名	「名槍日本号」「金州城下の作」「偶成」「川中島」

8月09日	8名	「九月十日」「名槍日本号」「城山」「偶成」 「富士山」「川中島」「四十七士」「白虎隊」
9月13日	8名	「九月十日」「偶成」 etc
10月11日	8名	「名槍日本号」「金州城下の作」「九月十日」「偶成」 「太田道灌蓑を借るの図に題す」「富士山」
11月08日	9名	「静夜思」「偶成」「富士山」
12月13日	9名	「名槍日本号」「静夜思」「四十七士」「富士山」「偶成」
1月12日	8名	「名槍日本号」「寒梅」「富士山」「金州城下の作」 「太田道灌蓑を借るの図に題す」「江南春」
2月9日	8名	「寒梅」合吟 独吟 「春暁」合吟 独吟
3月14日	8名	「名槍日本号」「春暁」「富士山」「九月十日」

費用：講師お車代 5,000円×12 計 60,000円

3) レクリエーションクラブ

毎月第2金曜日に4階多目的ホールにて、様々なゲーム、紙芝居、外気浴、季節にあった歌を歌うなどの活動を行った。

レクリエーションに参加していただくことにより、達成感や、活動する喜びを感じていただき、他のフロアのご利用者や職員と交流することなどで少しでも他者との交流を持って頂けるように努めた。また、5月に多目的ホールにて開催したお楽しみ会は、大規模なゲームや職員の出し物を楽しんでいただき、ご家族にも参加していただくなど、全体行事として大変な盛り上がりを見せた。

12月にはクリスマス会を行い各フロアに担当職員が行き、ハンドベルの演奏を行った。ご利用者にも参加していただき、ハンドベルで職員と共に演奏を楽しんでいただいた。

お楽しみ会参加人数 52名
毎月の平均参加人数 15名

平成21年度購入物品

- ① お楽しみ会用具材料費 30,000円（風船、折り紙、ジュースなど）
おやつ代等 42,000円（イチゴのムース 300個×140円）
- ② クリスマス会用具材料費、装飾費 30,000円
利用者食事費 300,000円（2,000円×150人）

4) 朗読クラブ

毎月第3金曜日に地域のボランティアグループの方々を招き、紙芝居や絵本の朗読等を行った。ときには、歌をうたい楽しんで頂いたり、今年から新たに取り入れた太極拳などで、参加ご利用者の笑顔も溢れ楽しい時間を過ごしていただいた。

参加ボランティアグループ： 朗友座・もりもり亭・ひなの会

活動内容

実施月日	活動内容	参加人数
4月17日 ひなの会	紙芝居「したきりすずめ」 絵本「ねずみのすもう」「いつも一緒に」 お話「おじいさんのコート」 うた「青い山脈」「りんご追分」	12名
6月20日 ろうゆう座	紙芝居「しりやのめいじん」「いったんもんめん」 絵本「ねずみのすもう」 お話「かさの話」	11名
7月17日 ひなの会	紙芝居「てんぐとかっぱとかみなりどん」 絵本「どうぞのいす」 うた「青い山脈」鉄道唱歌 歌と絵本「南国土佐を後にして」	19名
9月18日 もりもり亭	紙芝居「めがねやどろぼう」「くわず女房」 「ぬすびととこひつじ」 うた「里の秋」「もみじ」「かもめの水兵さん」 太極拳で手遊び	19名
10月16日 ろうゆう座	紙芝居「子そだてゆうれい」「あかんぼばあさん」 絵本「テンパタン テンパタン」「きつね女房」 うた「村まつり」	16名
12月18日 もりもり亭	紙芝居「ふるやのもり」「ものまねじいさん」 「わらべちょうじ」 うた「たきび」「かわいい魚やさん」「お正月」 太極拳で手遊び	20名
1月14日 ろうゆう座	紙芝居「空とぶ千里のくつ」 お話「おにはうち」あとかくしの雪」 うた「いっすんぼうし」	8名
2月19日 ひなの会	紙芝居「お嫁さんに化けたきつね」「みいちゃんの春」 お話「浪曲」の話し・歌の紹介 「山の手線」の数え歌 「甘酒」のお話 うた「春よこい」「ひなまつり」「梅の小枝でうぐいすが」 「春の小川」「鉄道きょうか」	18名
3月19日 もりもり亭	紙芝居「へこきよめさま」「多摩市の民話」「おしゃもじさま」 うた「ふるさと」「春よこい」「歌のまち」「どこかで春が」 太極拳「腹式呼吸に合わせて」	15名

5)手芸クラブ

毎月第4火曜日に、永山教会のボランティアの方（毎月約10名程度）のご指導のもと、楽しみながらきめ細やかな活動を行うことができた。

8月と12月には、ボランティアの方々と交流を図る為に、ケーキとお茶で茶話会を行った。ご利用者のエレクトーンとボランティアの方の三味線の演奏等で、昔の歌や童謡を歌い、なごやかな雰囲気の中でとても喜んで頂けた。

実施月	活動内容	支出	
4月	フラワーアレンジメント	材料費	642円
		お車代	5000円
6月	ふくろう	材料費	2499円
		お車代	5000円
7月	ステンシル	材料費	3570円
		お車代	5000円
8月	茶話会	ケーキ代	12180円
		お車代	5000円
9月	ハンカチでウサギの人形	材料費	2919円
		お車代	5000円
10月	フラワーアレンジメント	材料費	10675円
		お車代	5000円
11月	サンタクロース	材料費	627円
		お車代	5000円
12月	茶話会	ケーキ代	12180円
		お車代	5000円
1月	節分の壁掛け	材料費	630円
		お車代	5000円
2月	ティッシュケース	材料費	5670円
		お車代	5000円
3月	匂い袋	材料費	840円
		お車代	5000円

平均参加人数 22名

6) 茶道クラブ

6階の畳のある場所にて、ボランティアの皆様が点てて下さったお抹茶を、和菓子を食べながら美味しく頂いた。21年度もお茶を点てて下さるボランティアさんと、誘導のボランティアさんがコーディネーターの仲立ちで協力し合い、6F以外のフロアのご利用者にも大勢参加していただいた。

<参加者数>

4月1日	26名	10月7日	38名
5月13日	38名	11月4日	32名
6月9日	35名	12月2日	32名
7月2日	33名	1月6日	30名
8月	休み	2月3日	30名
9月2日	32名	3月4日	30名

9. 保健、看護実施状況

1) ご利用者健康診断

胸部X-P撮影 141名 (1回/年 10月実施)

2) 職員健康診断

全職員 (1回/年 10月実施)

夜勤ケアワーカー (2回/年 7月と3月実施)

調理員検便 (1回/月 実施)

全職員 腰痛検査 問診 (2回/年 10月と3月実施)

3) ご利用者入退院等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	7	4	4	6	5	8	4	5	3	7	4	2	59
退院(帰荘)	4	3	4	1	2	1	8	5	3	2	3	4	40
病院死亡	4	3	1	1	2	0	0	2	0	1	1	1	16
看取介護	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	2	1	7
荘内死亡	0	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	6

4) 病院別入院状況(延べ人数)

病院名	人数	病院名	人数
多摩丘陵病院	32	町田市市民病院	1
多摩南部地域病院	5	桜ヶ丘記念病院	1
厚生荘病院	7	府中病院	1
日医大多摩永山病院	4	新天本病院	1
恵仁会病院	6	都立神経病院	1

5) 外来受診状況(延べ人数)

診療科	人数	診療科	人数	診療科	人数	診療科	人数
内科	60	泌尿器科	2	眼科	11	形成外科	2
胃瘻交換	51	婦人科	16	口腔外科	1	救急外来	27
整形外科	42	耳鼻科	3	嚥下外来	12		
リウマチ	8	外科	10	ペースメーカー (往診含む)	3		
脳外科	19	皮膚科	13	精神科	6		

6) 往診利用状況

皮膚科 (2回/月) 517名
 神経科 (2回/月) 474名
 歯科 (3回/週) 3098名
 内科 (3回/週) 3625名

7) インフルエンザ予防接種人数

	季節型インフルエンザ		新型インフルエンザ	
	ご利用者数	職員数	ご利用者数	職員数
偕楽荘	44	10	28	9
在宅	-	88	-	16
白楽荘	143	87	68	77
パンプキン	-	20	-	-

8) 施設内医療処置実施状況 (延べ件数) (年間の人数)

輸液療法	46件	膀胱洗浄	2名
輸液療法 (ショート)	1件	人工膀胱	1名
軟膏処置	844件	人工肛門	2名
定期血液検査	415件	バルーンカテーテル留置	3件
酸素吸入	32件	ペースメーカー	3名
心電図測定	160件		
インフルエンザ検査	10件		

9) 胃瘻 (経管栄養) 月別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入荘者	15	16	17	17	17	19	19	21	21	20	21	22	225
ショートステイ	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	2	3	13
合計	15	17	18	18	17	20	20	22	22	21	23	25	238

10. リハビリテーション(機能訓練) 実施状況

- 1) 職員：理学療法士、マッサージ師 (3名)、
各フロアー機能訓練担当ケアワーカー
- 2) 実施場所：リハビリテーションルーム及び各フロアー (居室・デイルーム)
- 3) 対象者：入所者及び希望があれば短期入所者 (要処方箋)

4) 実施状況(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
件数	538	575	616	696	650	634	624	564	585	533	521	561	7097	591

5) 実施項目

温熱療法(ホットパック・マイクロウェーブ)
 マッサージ
 関節可動域訓練
 立ち上がり訓練
 歩行訓練(平行棒内・杖・歩行器等)
 パソコン操作訓練(希望時)
 ご本人及びご家族、関係職種への指導・助言・提案

6) 使用訓練器具

平行棒・歩行訓練用階段・T字杖・四点杖・歩行器・車椅子・訓練用ベッド
 上肢交互運動器・姿勢矯正用鏡・重錘バンド・砂のう
 湿式ホットパック・マイクロウェーブ・エアマッサージ器・パソコン
 ウレタンチップクッション

7) 実施内容

- ① 関係職種間(医師・看護師・ケアワーカー・相談員・理学療法士・マッサージ師)での情報交換を密に行なって情報の共有化を図ると共に、毎月各フロアのケアマネジメント会議に出席し、機能訓練委員会を3ヶ月毎に実施した。
- ② 関係職種間で共同して、ご利用者毎に機能訓練の目標、実施方法を決定し個別機能訓練計画書を作成した。
- ③ 定期的(3ヶ月に一度)にモニタリングを行ない訓練の効果、実施方法について評価した。
- ④ ご利用者(短期入所者も含む)の身体機能及び精神機能の維持増進、日常活動の自立あるいは介助量の軽減を目指し、機能訓練を実施した。
- ⑤ ケアワーカーへの指導、助言、資料の提供等を行ない、リハビリテーション概念及び技術の普及にあたった。随時、移乗介助方法、安楽な姿勢保持(ベッド上および車椅子座位時)の工夫を行った。必要に応じて、ご家族に車椅子や杖等の福祉機器を紹介し、また新しく補装具の作り換えを勧めるなど最新の情報を提示した。

8) 認知症ご利用者対応プログラム

〈音楽療法〉

月2回火曜日は5F、7Fの対象者、月2回土曜日は6Fの対象者が参加し、4F多目的室において、平均参加者15名程度で毎月合計4回の頻度で行なった。

対象者は認知症状が中・重度の方、音への反応が良い方、他活動への参加機会がない方とし、発声練習や座ってできる簡単な体操、季節感が感じられる歌や懐かしい歌を歌い、楽器(タンバリンや鈴等)も取り入れ、身体面や精神面の両面での維持向上を目的として、音楽療法士2名と介護スタッフ2名がサポートし行った。

回想法や口腔体操を取り入れ、「視覚・聴覚・触覚」への刺激や安心感をもてるようなコミュニケーションを意識し実施された。普段見ることのできないような、積極的な明

るい表情なども見られるご利用者が多くいらっしゃった。

11. 相談員活動報告

1) 入荘調整

今年度の状況として、昨年度同様 30 名以上の退荘があった。そのため、ベッド稼働率を上げるため、速やかに新規の入荘者が入居できるよう以下の事を行った。

- ①新入荘受け入れマニュアルの作成
- ②入荘判定会議（毎月 1 回開催）にて情報の共有と入荘順位の確認を行った。またベッド稼働率を上げるために、臨時に判定会議を開催し、稼働率を上げるよう努力した。
- ③入荘待機者の方たちには、入荘継続意志確認と状況確認の為、11 月に手紙を送付、返信して頂き、最新の情報収集に努めた。（今年から返信封筒と切手の同封を行った）
- ④地域連携として、市役所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院とも連携し虐待ケース（多摩市の福祉的配慮として）入荘調整を行った。
- ⑤軽介護者で、長期期間の入荘待機者の方の受け入れをフローア状況を見ながら行った。
- ⑥今年度新規特養申し込み相談者 176 名（来荘者、書類郵送者数）

2) 施設ケアプラン作成業務

今年度は、施設ケアマネージャー（相談員兼務）、フローアケアマネージャーと、居室担当者、他職種の役割について職員に周知を図るとともに、居室担当者ごとのケースを中心にサービス担当者会議を開催した。

- ①荘内研修「ケアプラン研修」を 2 回行いケアプラン作成からモニタリングに至る一連の流れと役割分担について職員の周知に努めた。
- ②居室担当者作成の介護サービス実施計画書（ADL 表）、看護課作成の医療情報提供書、機能訓練委員作成の機能訓練実施計画書、栄養課作成の栄養ケアプラン作成の定期見直し
- ③居室担当者によるケアプランモニタリングの記録、リハビリ実地状況の記録確認
- ④退院後の状態の変化、または看取り期におけるケアプラン作成
- ⑤身体拘束者のケアプラン定期見直し

3) 介護支援専門員市区町村委託業務

施設ケアマネージャー、フローアケアマネージャーによる介護保険認定調査をおこなった。

4) 家族連携

- ① 2 カ月に 1 回開催される、家族交流会への参加を行い、ご家族間で出た質問に対する回答や、ご意見を伺うことができた。
- ② サービス担当者会議にできるだけご家族にも参加していただき、ご本人やご家族の意向確認や各職種からの話を行うことができた。

- ③ ご利用者の生活状況、介護状況を伝え、状態にあった介護度の説明を行うとともに、介護度区分変更を行った。
- ④ 個別の対応となる特殊福祉用具の利用について、ご家族に説明を行い、適宜購入やレンタルを行った。
- ⑤ 敬老会后、施設主催の家族懇談会を開催し、認定調査変更についてと介護保険外サービスについて施設より説明を行った。

5) 代行業務

- ・介護保険認定更新申請、区分変更申請
- ・定額給付金申請
- ・障害者手帳、自立支援更新申請
- ・介護保険利用料負担限度額認定更新
- ・各種保険料支払い
- ・年金受給者現況届
- ・難病指定更新
- ・入院者医療費減免申請
- ・住民税、市民税申告
- ・インフルエンザ助成申請

6) 広報活動

- ①多摩市介護保険サービス事業者名簿への登録
- ②施設活動等掲載した会報を毎月発行
- ③ホームページに毎月の会報とショートステイ空き情報をアップ
- ④地域の民生委員に、特養の施設見学と入居者や待機者等現状の説明を行った。

7) 外部調査

- ① 「東京都第三者評価」受審
評価実施機関：株式会社 福祉企画総合研究所
評価実施期間：2010年9月24日～2020年3月13日
- ② 「介護サービス情報の公表」受審
調査日：平成21年11月20日

8) 夜間・休日緊急時出動

9件（内ショートステイ2件）

9) 金銭管理状況

今年度、介護保険外サービス利用における負担金見直しに伴い、施設における金銭管理見直しを行った。その結果、小口現金や通帳管理を行っている方たちで、金銭の動きが見られない方に関して、個別で相談しご家族等へ随時引き渡しを行った。尚、10月からホーム喫茶飲食代については、その場で現金のやり取りを行わない方たちには、毎月の利用料請求書にて請求するように変更した。

《通帳管理状況》

- ・新規通帳管理者 1人（経済的虐待防止の為）
- ・H21年4月時点 通帳管理者 51人

- ・ H22 年 3 月時点 通帳管理者 40 人
(内訳)
- 退荘者返却 7 人
- 在籍者途中返却 4 人

《小口現金預かり状況》

	5 F 人数	6 F 人数	7 F 人数	計	新規	引き渡し
4 月	43	43	36	122	0	7
5 月	43	42	36	121	0	1
6 月	44	41	37	122	3	2
7 月	43	40	36	119	0	3
8 月	42	40	35	117	0	2
9 月	37	35	33	105	0	12
10 月	35	34	32	101	0	4
11 月	35	34	32	101	0	0
12 月	33	32	31	96	0	5
1 月	33	31	28	92	0	4
2 月	31	30	27	88	0	4
3 月	30	29	26	85	0	3

12. 短期入所生活介護事業

平成 21 年度短期入所生活事業（以下ショート）では、従来どおり介護保険法の規定に基づく被保険者で、在宅で生活されている要介護者及び要支援を介護者の事由（冠婚葬祭・介護疲れ・介護者の疾病など）により、一時的に特別養護老人ホームに入所して頂き、介護サービスを提供する事を目的に実施してきた。

- ・ 緊急性を要する事案については、多摩市や地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の要請に対して積極的に受け入れを行ってきた。
- ・ 運営面では平成 21 年 4 月（疥癬）平成 22 年 2 月（風邪）に感染症が発生した為、一部のフロアでショートの受け入れを停止する事態があったが、他のフロアへ振替え等を行い、キャンセル等は一部の利用者で抑える事が出来ている。その結果、感染症が発生の中でも、稼働率の大きな低下は起きていない。
- ・ 平成 21 年度は新規利用者の開拓に努めた結果、年間 73 人（内 3 名再契約者）の新規利用者の受け入れを行い、その大半がリピーターとしてその後の定期的な利用に繋がり、安定した稼働率を確保出来ている

13. 各種実績及び統計資料

共用日用品支給															
品名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	合計金額
口腔用スポンジ	1ケース 33,000	0	0	0	0	0	7	0	7	7	0	0	7	28	924,000
耳用綿棒	2パック 189	0	0	0	0	0	5	0	5	0	5	5	0	20	3,780
クリンソケットアイ	1箱 180	0	0	0	120	0	0	0	120	0	0	0	120	360	64,800
ハローワーク	1ケース 2,780	12	12	12	12	12	12	10	10	13	10	10	8	133	369,740
ボディソープ	10リットル 13,440	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	40,320
リンスインシャンプー	12リットル 18,560	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18,560
全身シャンプー	15,000	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	6	90,000
トレットハンパー	1ケース 3,520	8	4	5	5	5	5	5	4	6	4	6	7	64	225,280
小計															1,736,480
共用衣類支給															
品名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	合計金額
食事前掛け	1枚 910	0	0	0	0	0	0	0	0	150	210	0	0	360	327,600
清拭用タオル	1枚 90	0	0	0	1,200	0	0	0	1,200	0	0	0	0	2,400	216,000
ホムカハ-L~LL	1枚 2,795	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	139,750
ホムカハ-4L	1枚 3,600	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	108,000
小計															791,350

紙オムツ															
品名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	合計金額
フラットタイプオムツ	1ケース 4,460	22	40	20	0	0	0	0	0	54	22	29	27	82	365,720
	1ケース 3,780	0	0	25	35	34	27	33	26	0	0	0	0	312	1,179,360
サブリット	1ケース 2,592	18	24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	119,232
	1ケース 3,168	0	0	10	22	23	16	12	18	23	14	25	19	182	576,576
ワイドパットα	1ケース 4,725	34	40	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	368,550
	1ケース 3,420	0	0	22	63	45	39	46	53	55	33	36	36	428	1,463,760

紙パンツM	1ケース	6,000																	2	12,000
	1ケース	5,760							2										2	11,520
	1ケース	3,072												9	4	3	2	6	4	28
紙パナソニック	1ケース	6,000	1	3															4	24,000
	1ケース	5,724						5	2										7	40,068
	1ケース	2,968											15	5	4	2	4	4	34	100,912
尿多量用パッド	1ケース	4,050	12	18	8														38	153,900
	1ケース	6,300			5	18	12	9						12	18	12	9	8	103	648,900
	1ケース	5,589	15	14	9														38	212,382
夜用大容量パッド	1ケース	5,478			7	24	12	12						15	17	15	13	16	143	783,354
	1ケース	3,780	4	3	4														11	41,580
	1ケース	4,560			3	7	5	5					4	5	7	5	9	12	62	282,720
小計																				6,470,550
21度日用品総合計																				8,998,380

寝具類リース代		ベッドマットリース代、褥瘡予防用マットレス				税込金額	
品名	単価	枚数	回数	合計	品名	単価	年
リース代	一組 29	167	365	1,856,079	ベッドマットリース代	月 80,360	964,320
予備費	200,000	1	1	200,000			
合計				1,967,695			

平成 21 年度理美容サービス実績

月	5 F (人)	6 F (人)	7 F (人)	計(人)
4 月	39	34	31	104
5 月	30	35	16	81
6 月	35	43	26	104
7 月	38	40	34	112
8 月	37	45	33	115
9 月	32	36	27	95
10 月	36	32	34	102
11 月	39	46	32	117
12 月	33	39	18	90
1 月	14	15	20	49
2 月	0	0	0	0
3 月	41	19	42	102
計	374	384	313	1071

平成21年度利用者入退荘状況

月	入荘者										合計
	在宅		病院		老健		療養型		有料、G.H		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月		1									1
5月				1		1					2
6月		2			1	4					7
7月						3					3
8月		1			1	2					4
9月											0
10月						2					2
11月					1	1				1	3
12月				1							1
1月						1					1
2月						2			1		3
3月		1		1	3	1					6
小計		5		3	6	17	0	0	1	1	33
合計		5		3	23		0		2		33

月	退荘者										合計
	施設内死亡		病院死亡		在宅		長期入院		他施設入所		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月				2							2
5月		1		1					1		3
6月			1					1			2
7月		1		1					1		3
8月			1	1							2
9月											0
10月		2							1		3
11月			1	1				1	1		4
12月			1					1			2
1月		1		1							2
2月	1	2		1					2		6
3月		1						1			2
小計	1	8	4	8	0	0	4	6	0	0	31
合計	9		12		0		10		0		31

※施設内死亡者のうち7名看取り介護実施

保険者別入荘者数

保険者	男	女	全体
多摩市	15名	95名	110名
台東区	2名	13名	15名
調布市	1名	2名	3名
三鷹市	1名	0名	1名
江東区	1名	0名	1名
足立区	0名	0名	0名
日野市	0名	1名	1名
八王子市	0名	8名	8名
稲城市	0名	3名	3名
川崎市	0名	1名	1名
杉並区	0名	0名	0名
北区	0名	1名	1名
練馬区	1名	0名	1名
中野区	0名	1名	1名
武蔵野市	0名	0名	0名
小金井市	0名	1名	1名
昭島市	0名	1名	1名
合計	21名	127名	148名

平均介護度

実績分			
提供年月	旧措置	契約	平均
4月	3.79	4.03	3.98
5月	3.83	4.05	4.01
6月	3.86	4.07	4.03
7月	3.86	4.08	4.04
8月	3.81	4.09	4.04
9月	3.81	4.06	4.01
10月	3.85	4.03	3.99
11月	3.88	4.05	4.02
12月	3.88	4.07	4.04
11月	3.84	4.07	4.03
2月	3.84	4.07	4.03
3月	3.83	4.001	3.97
平均値	3.84	4.06	4.02

在所者の介護度及び在所期間

出力日：平成22年03月31日現在

サービス種類：老福施設 フロア：全て

区分	要支援1		要支援2		要支援		要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5	
	6ヶ月未満	12ヶ月以上														
年齢																
40歳～																
64歳～																
65歳～																
74歳～																
75歳～																
合計																
性別																
男性																
女性																
合計																
【合計】																

※ 要介護認定情報が設定されていない利用者は対象外です。

区分	入所合計				認知症である老人判定基準				
	ランク無	ランクI	ランクII	ランクIII	ランクIV	ランクM	未設定		
ランク無									
ランクJ									
ランクA	36	2	1	4	15	12	2		
ランクB	55	2	4	11	26	10	2		
ランクC	55			1	2	46	6		
未設定	2						2		
【合計】	148	4	5	16	43	68	10	2	2

※3月31日時点で、入院の方は未設定

平均在所日数(要介護度別)						
要支援1	要支援2	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4
0日	0日	0日	4201.3日	1487.3日	1924.9日	1144.1日
						1980.6日
						平均在所日数
						1782.4日

平均年齢(男女別)		平均年齢
男性	83歳	86.6歳
女性	86.1歳	86.1歳

	最年長	最年少
男性	95歳	71歳
女性	103歳	56歳

平成21年度入荘者実績

提供年月		旧要介護1		旧要介護2		旧要介護3		旧要介護4		旧要介護5		実人数合計	日数合計
		実人数	延日数										
04月	2	60	2	60	8	240	5	150	12	321	29	831	
05月	2	62	2	62	8	233	4	124	13	386	29	867	
06月	2	60	2	60	7	208	4	120	13	374	28	822	
07月	2	62	2	62	7	217	4	90	13	390	28	821	
08月	2	62	2	62	7	217	3	87	12	372	26	800	
09月	2	60	2	60	7	195	3	90	12	360	26	765	
10月	2	62	1	31	8	217	4	124	12	372	27	806	
11月	2	60	1	30	7	190	4	120	12	360	26	760	
12月	2	62	1	31	7	203	3	93	12	393	25	782	
01月	3	93	0	0	7	214	3	93	12	372	25	772	
02月	3	84	0	0	7	196	3	75	12	333	25	688	
03月	2	62	1	31	7	215	3	82	11	341	24	731	
計	26	789	16	489	87	2,545	43	1,248	146	4,374	318	9,445	

特養契約

提 供 年 月	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実人数合計	日数合計	実人数総計	ベッド 利用率	旧措置者割合
	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数					
04月	2	60	5	150	26	781	37	1,091	45	1,288	115	3,370	144	93.4%	20.1%
05月	1	31	5	155	26	804	37	1,147	45	1,269	114	3,406	143	91.9%	20.3%
06月	1	30	5	150	26	769	41	1,135	47	1,377	120	3,461	148	95.2%	18.9%
07月	1	31	5	155	26	763	41	1,217	49	1,482	122	3,648	150	96.1%	18.7%
08月	1	31	5	155	25	752	42	1,285	49	1,401	122	3,624	148	95.1%	17.6%
09月	1	30	5	150	25	750	42	1,235	45	1,288	118	3,453	144	93.7%	18.1%
10月	1	31	7	187	24	744	42	1,225	44	1,299	118	3,486	145	92.3%	18.6%
11月	1	30	7	210	25	706	41	1,158	48	1,374	122	3,478	148	94.2%	17.6%
12月	1	31	6	186	27	820	38	1,167	51	1,511	123	3,715	148	96.7%	16.9%
01月	1	31	7	189	27	771	34	973	53	1,643	122	3,607	147	94.2%	17.0%
02月	1	28	9	246	27	739	28	742	56	1,497	121	3,252	146	93.8%	17.1%
03月	1	31	11	215	29	864	28	828	55	1,653	124	3,591	148	92.9%	16.2%
計	13	395	77	2,148	313	9,263	451	13,203	587	17,082	1,441	42,091	146	94.1%	18.5%

シヨーステイ

提供 年月	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実人数 合計	日数 合計	ベッド稼働率
	人数	日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数			
04月	0	0	0	0	2	16	9	60	17	96	15	89	12	97	55	358	119.3%
05月	0	0	0	0	4	29	10	62	13	78	16	91	11	98	54	358	115.5%
06月	0	0	2	7	4	24	10	41	19	108	14	82	9	90	58	352	117.3%
07月	0	0	2	8	3	17	7	41	16	110	15	90	12	97	55	363	117.1%
08月	0	0	1	7	4	23	8	40	15	105	14	90	12	115	54	380	122.6%
09月	0	0	1	3	4	22	8	34	17	108	13	80	12	114	55	361	120.3%
10月	0	0	2	8	4	15	5	21	16	117	11	85	13	142	51	388	125.2%
11月	0	0	2	8	7	26	2	8	17	106	12	87	12	106	52	341	113.7%
12月	0	0	0	0	3	11	7	24	14	93	13	83	11	95	48	306	98.7%
01月	0	0	0	0	2	5	8	52	15	88	13	90	13	117	51	352	117.3%
02月	0	0	1	3	4	19	8	50	15	82	12	71	15	109	55	334	119.3%
03月	0	0	0	0	5	20	8	42	18	100	15	84	13	114	59	360	116.1%
計	0	0	11	44	46	227	90	475	192	1191	163	1,022	145	1,294	636	4,209	116.6%

全体合計日数・稼働率

サービス提供月	特養延日数	ショート延日数	全延日数	ベッド稼働率
4月	4,201	358	4,559	94.98%
5月	4,273	358	4,631	93.37%
6月	4,273	352	4,625	96.35%
7月	4,469	363	4,832	97.42%
8月	4,424	380	4,804	96.85%
9月	4,218	361	4,579	95.40%
10月	4,292	388	4,680	94.35%
11月	4,238	341	4,579	95.40%
12月	4,497	306	4,803	96.83%
1月	4,379	352	4,731	95.38%
2月	3,940	334	4,274	95.40%
3月	4,431	360	4,791	96.59%
平均値	4,664	385	4,658	95.71%

給食処遇

《1》 行 事

年月日	行 事	献立内容
21/4/3	観桜会	にぎり寿司（外注） 吸い物 桜餅 甘酒（間食）
21/5/6	食事会	竹の子ごはん かつおのたたき・若竹の木の芽和え 炊き合わせ（わらびまき、しいたけ、にんじん、海老饅頭） 茶碗蒸し 和菓子（ねりきり）吸い物（ゆば、みつば）
21/6/4	食事会	にぎり寿司（外注） 炊き合わせ（エビサンド、ふき、しいたけ、にんじん） 茶碗蒸し 吸い物（三つ葉、花豆腐）・和菓子（ねりきり）
21/7/30	納涼会	助六寿司、すいか、焼きそば、焼きとうもろこし、焼き鳥、 たこ焼き、 枝豆、豚汁、
21/7/19	土用丑	鰻蒲焼、お浸し、漬物、味噌汁（なす・ねぎ）
21/8/4	食事会	赤飯 お刺身（まぐろ） 炊き合わせ（はも、里芋、椎茸、おくら・ひじきサンド）・ 冬瓜の田楽 吸い物（やわらかかまぼこ、みつば）・和菓子（ねりきり）
21/9/13	敬老会	にぎり寿司（外注） 前菜（二色シュウマイ、ごま豆腐、巨峰）・茶碗蒸し 吸い物（花豆腐、みつば）・和菓子（ねりきり）
21/10/7	食事会	松茸ごはん お刺身（まぐろ、かんぱち、甘エビ） 炊き合せ（えび団子、里芋、しいたけ、きぬさや、にんじん） 茶碗蒸し、 吸い物（花豆腐・三つ葉）・和菓子（ねりきり）
21/11/5	食事会	赤飯 お刺身（まぐろ、ぶり、甘エビ） 炊き合わせ（おくら、にんじん、しいたけ、えび饅頭） 柿なます、茶碗蒸し 吸い物（花豆腐・みつば）・和菓子（ねりきり）

21/12/16	クリスマス会	にぎり寿司 (外注) 吸い物 (湯葉) ケーキ (間食)
22/1/1	新年祝賀会	雑煮 炊き合わせ (六角里芋、海老サンド、椎茸、花形人参、絹さや・おくら) 重箱 (黒豆、いちご、栗きんとん、伊達巻、海老若草、ゆりね、市松テリーヌ、サーモンフラワー・手まり百合根 鯛の塩焼き、数の子、松風焼、ゆず釜)
22/2/4	食事会	赤飯 お刺身、(まぐろ、かんぱち、甘えび) 炊き合わせ (海老団子、ふき、六角里芋、菜の花・椎茸) 茶碗蒸し・蟹の黄身酢がけ 清汁 (湯葉) 和菓子 (ねりきり)
22/3/2	食事会	赤飯 お刺身 (まぐろ、ぶり、甘えび) ほたるいかの酢味噌がけ、いちご 天ぷら (たらのめ、海老、茄子、まいたけ) 吸い物 (はまぐり) 和菓子 (ねりきり)

《2》活動及び改善報告

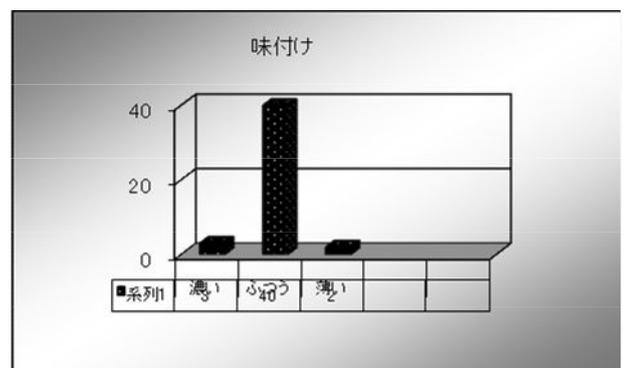
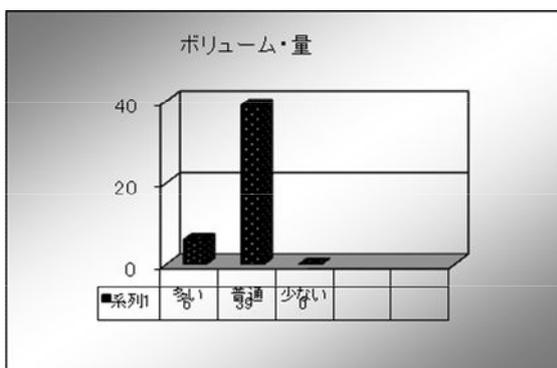
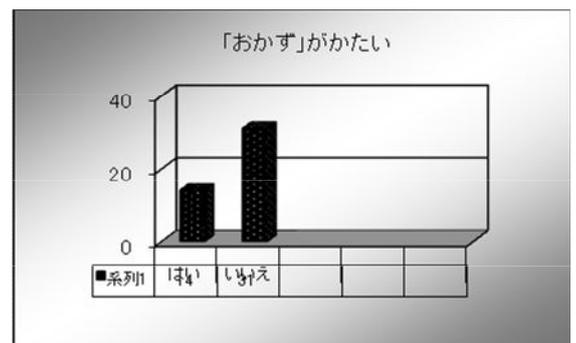
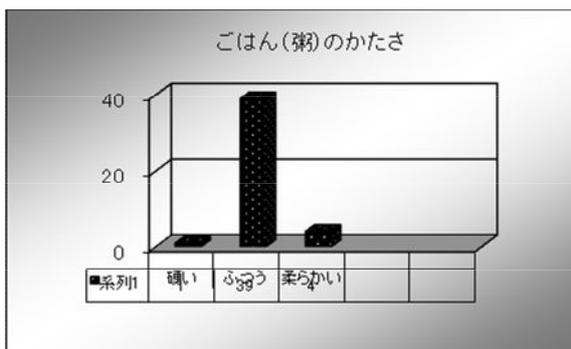
○嗜好調査

- 平成21年8月に実施

テーマ 「食事の満足度について」

対象 簡単な受け答えの出来る利用者対象45名

【主食やおかずのかたさ】・【味付け】・【量】・についてのアンケートを行い利用者が現在食事についてどのような感想をもっているか、聞き取りを行った。



嗜好調査は現在栄養ケアマネジメントの一部として行なわれている。役割は、個別とは別に全体的な食事への満足度や献立内容の把握・調整を行なう為の資料としておこなった。この調査は今後も実施していく方針。

○残菜調査

- 各フロアに食事摂取表があり、個別に食事摂取量を記入し栄養ケアマネジメントの中に組み込まれ管理を行なっている。(これにより 19 年度より期間を特定して行なう残菜調査は終了)

《3》 給食会議 メンバー構成 (栄養士・相談員・各フロア担当職員・看護師)

会議は月 1 回 (第一木曜日) のペースで行われた。

今年度は主にミキサー食関係の討議が多く、食事形態の見直しなどが行われた。食中毒に関連する衛生管理についてもかなりの時間を割いた。厨房以外でのフロア配膳室・食堂などにおける食品衛生管理についても毎年繰り返し話を出すことにしている。又咀嚼・嚥下にかかわる献立・調理・食材の選択・調整などを行い、ご利用者の栄養状態・喫食状態また食種や形態内容、食器の選定についても議論された。

日 時	内 容
4 月	<ul style="list-style-type: none"> 彼岸法要について 観桜会の食事について 停電時の食事について 5 月の食事会について 「ごはんのかたさ」について
5 月	<ul style="list-style-type: none"> 食事記録表について 間食時間について ミキサー利用者に対しての「納豆」「パン」提供について
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 「6 月食事会」について…出張寿司提供 間食のジュース「内容変更」について 味噌汁の具について
7 月	<ul style="list-style-type: none"> 日曜朝食『バナナ⇒フルーツ缶』変更について (利用者 ADL 低下に伴う) 保健所視察時の指摘事項 (掲示献立栄養量記載) フロアでの「おやつ管理」について 食事変更について 実習生受け入れの件 粥の固さについて (水っぽい粥を提供)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 「敬老会の食事」について 「彼岸法要」食事提供について ミキサー食、朝食パン提供中止について (利用者 ADL 低下に伴う)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検食簿記載漏れが多い点について ・ 「盆供養」について
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「非常食」使用について ・ 「10月食事会」について ・ 夕食時の下膳について（下膳が早い時があると指摘有）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事についての対応変更（10月より5月まで） ・ 「夕食時の下膳時間」について ・ 新年祝賀会の食事内容検討 ・ 献立について（フロアーより意見3件）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年祝賀会の食事内容検討 ・ 「牛乳パック」下膳について ・ 配膳車下膳時の注意（義歯・食器類が降りてくる） ・ フロアーの配膳順の変更について ・ 献立について（フロアーより意見4件）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマス会の食事内容について ・ ・年末年始の献立について ・ 「年末年始利用者外泊」について ・ 手付きコップの洗浄について（汚いと指摘有）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ おせち料理等・雑煮の気づいた点について ・ 七草について ・ 節分について ・ 食器洗浄について ・ フロアー管理の醤油差しについて（使用状況報告） ・ ミキサー食の汁代替ゼリー提供について（再確認） ・ 献立について（フロアーより意見4件）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分「めざし提供」について ・ 「彼岸法要」食事提供について ・ 「ひなまつりケーキ」について
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観桜会食事会内容について ・ 食事会時の「アルコール提供」について ・ 週末の食事変更について ・ 各フロアー「配膳室管理」について ・ 配膳車下膳時の注意（義歯・食器類が降りてくる） ・ 4月からの朝食について（全員に粥提供）

《4》給食業務委託について

介護保険改正により基本食事サービス費が廃止になり、給食業務に於いては、コストの削減を図るため平成20年4月より給食は全面業務委託としている。指名競争入札により業者の選定をしているが、平成20年度の委託業者が優良であったことから、特命により平成21年度も引き続き同じ業者と契約した。

決定までの経緯

平成22年

3月26日 (金) 特命起案提出

3月下旬 業務委託契約締結

4月1日 給食業務委託開始

《5》給食実績

H21	Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	VA μ/g	VB1 mg	VB2 mg	VC mg	塩分 g
4月	1480	61.2	37	640	10.6	543	0.87	1.0	77	8.99
5月	1479	61.9	37.4	660	10.8	550	0.9	1.01	83	9.02
6月	1465	60.3	37.5	639	10.9	565	0.86	0.97	82	8.98
7月	1450	60.5	32.1	630	11.1	546	0.85	0.96	80	8.85
8月	1463	60.9	37.5	633	10.8	584	0.92	0.98	80	9.08
9月	1455	60.6	36.5	647	11	543	0.79	0.94	77	9.06
10月	1482	61	38.7	632	11.1	559	0.86	0.96	80	9.17
11月	1447	60.2	32.8	628	10.6	564	0.87	0.95	81	8.93
12月	1470	61.9	33.1	635	10.9	568	0.85	0.98	78	9.23
H22 1月	1490	63.9	37.2	660	11.2	541	0.85	1.0	87	9.03
2月	1453	60.1	36.3	642	11.8	594	0.78	0.96	78	9.33
3月	1479	61.6	37.4	647	11.2	539	0.89	0.96	83	9.18
合計	17613	734.1	433.5	7693	132	6696	10.29	11.67	966	108.85
年間平均	1468	61.1	36.1	641	11	558	0.85	0.97	80.5	9.07

今年度は、厚生労働省から出た「日本人食事摂取基準」の最後の年となった。目標は、健康の維持増進、エネルギー、栄養素欠乏症の予防を目的としてきた。しかしながらこの食事摂取基準は、70歳以上は年齢区分が無く栄養ケアマネジメントからBMIを指標とし、モニタリングは体重を指標しそれに基づき栄養所要量を策定した。独自で作成しなければならぬ作業があり、かなりの検討を必要とし平均年齢も月ごとに変化し、どのくらいで平均を取るかが難しかった。上記の結果は給与目標量をほぼ満たしたが、VB1など微量元素などを目標値まで上げる事はかなり困難である。

(これはあくまで数字上のことである。)

《6》 栄養課 個別対応（処遇改善）への取り組み

食事形態	5F	6F	7F	計
常食	10	12	11	33
常食キザミ	5	4	4	13
全粥	4	0	3	7
全粥キザミ	6	6	4	16
超キザミ	5	9	9	23
ミキサー食	9	14	10	33
経管栄養	6	6	5	17
入院	4	0	2	6

148名：H22.4/30 現在)

上記の表（入院者は除く）より食形態は、利用者のADLの状態に合わせ常食～経管栄養の7形態に分かれている。この事から見て21年度の状況は、常食で全体の22%に下がり、刻み、ミキサー食系は57%を占めた。経管栄養は11%にまで達している。

このことから見ても施設利用者の状態が重度化しているのが伺える。

献立の内容は粥主体となる安全で食べ易い食材の見直しを中心に咀嚼・嚥下も考慮し、利用者が安全に美味しく食べやすい献立になるよう調整を行なっている。ミキサー食に関しては、見直しを図りよりいっそうで食べやすい形状に変更を行い安全を図っている。

このほかに個別対応として、身体的や嗜好的における、代替食、選択食等も随時行い、摂取量に合わせた食事量の調整、補助食品の使用や、個人のニーズにあった食事の提供を行なった。

経管栄養の対応

経管栄養利用者は、その対応も変化し往來の1ml/kcal に対し逆流性食道炎などの対象者が増えた為、増粘剤を使い濃度を付け少量で高カロリー・高たんぱくな1ml/1.5kcal を使用し対応している。このタイプの対象者は今後増えていく傾向があると考える。

《7》 栄養ケアマネジメント

介護保険法改正にあわせ高齢者の低栄養状態等の予防・改善の為に個別の高齢者の栄養状態に着目し、そのプランを行なう。

栄養ケアマネジメントは、ヘルスケアサービスの一環として、個々人に最適な栄養ケアを行い、その実務遂行上の機能や方法手順を効率的に行なう為の体制として行なう。

- ① 栄養スクリーニングの実施
- ② アセスメントの実施
- ③ ケア計画の作成

- ④ 利用者・家族への説明
- ⑤ 栄養ケアマネジメントの実施
- ⑥ 問題点の把握
- ⑦ モニタリングの実施
- ⑧ 再栄養スクリーニングの実施

栄養ケアマネジメント会議（カンファレンス）

メンバー構成 栄養士・相談員・看護師・ケアワーカー・理学療法士

<<年間カンファレンス内容>>

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…21名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」…1名 ・内容変更者のケア計画書作成 …5名
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…18名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」…2名 ・内容変更者のケア計画書作成 …11名
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…23名 ・3カ月毎、全利用者のスクリーニング実施 5F 低リスク：15名 中リスク：19名 高リスク：13名 6F 低リスク：24名 中リスク：16名 高リスク：8名 7F 低リスク：20名 中リスク：21名 高リスク：7名 ・アセスメント回覧（ケアワーカー・看護師・相談員） ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」…7名 ・内容変更者のケア計画書作成 …45名
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…25名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」…3名 ・内容変更者のケア計画書作成 …11名
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…26名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケアプラン作成」…3名 ・内容変更者のケア計画書作成 …3名
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…22名 ・3カ月毎、全利用者のスクリーニング実施 5F 低リスク：16名 中リスク：20名 高リスク：12名 6F 低リスク：22名 中リスク：20名 高リスク：8名 7F 低リスク：19名 中リスク：24名 高リスク：3名 ・体重計測・モニタリング ・アセスメント回覧（ケアワーカー・看護師・相談員） ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」…0名 ・内容変更者のケア計画書作成 …2名
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数…16名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケアプラン作成」…2名

	<ul style="list-style-type: none"> ・内容変更者のケア計画書作成 … 21名
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数… 22名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケアプラン作成」… 4名 ・内容変更者のケア計画書作成 … 9名
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数… 20名 ・3カ月毎、全利用者のスクリーニング実施 5F 低リスク：20名 中リスク：19名 高リスク：10名 6F 低リスク：23名 中リスク：19名 高リスク：6名 7F 低リスク：21名 中リスク：22名 高リスク：7名 ・体重計測・モニタリング ・アセスメント回覧（ケアワーカー・看護師・相談員） ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」… 1名 ・内容変更者のケア計画書作成 … 10名
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数… 18名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケアプラン作成」… 1名 ・内容変更者のケア計画書作成 … 3名
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数… 23名 ・体重計測・モニタリング ・新規利用者への「新規ケアプラン作成」… 2名 ・内容変更者のケア計画書作成 … 7名
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス実施人数… 19名 ・3カ月毎、全利用者のスクリーニング実施 5F 低リスク：20名 中リスク：18名 高リスク：10名 6F 低リスク：24名 中リスク：19名 高リスク：5名 7F 低リスク：25名 中リスク：19名 高リスク：6名 ・体重計測・モニタリング ・アセスメント回覧（ケアワーカー・看護師・相談員） ・新規利用者への「新規ケア計画書作成」… 5名 ・内容変更者のケア計画書作成 … 0名

《8》 衛生管理

近隣施設での食中毒発生に伴い細菌検査を強化

細菌検査（赤痢、サルモネラ菌、O-157、腸炎ビブリオ）

対象者・・・常勤職員、委託職員全員及び給食納入業者 月1回実施

- ▲生鮮物扱い業者 検査都度自主提出
- ▲食中毒対策マニュアル作成
- ▲相互支援対策のシミュレーション参加
- ▲ノロウイルス対策と職員への教育

<衛生環境整備の実施>

- ▲手洗い場所・納品検品場所に強酸性電解水の設置（ノロ対策の一環）

- ▲衛生キャップ・マスク（ディスポ）の使用
- ▲調理温度記録の徹底
- ▲衛生管理自己チェック表の記入
- ▲感染症対策の一環でアルコール除菌スプレーの使用
- ▲フード・ダクト清掃（委託業者による清掃年3回）の強化
- ▲厨房内清掃の強化
- ▲ノロウイルス対策として強酸性電解水使用（温冷配膳車の消毒）
- ▲側溝の改修工事

《9》（社）東京都施設給食協会の活動

これからの栄養改善法に基づく施設利用者の食生活栄養改善普及、衛生管理、食中毒などの情報収集、集団給食の資質向上発展と栄養士、調理師の質の向上を目的に加入

<活動内容>

- ・ 集団給食施設衛生講習会
- ・ 栄養展への参加
- ・ 保健所の委託を受けての食品衛生指導員による食品衛生巡回指導
- ・ 相互支援対策として近隣施設との総合支援
- ・ 相互支援対策シミュレーション訓練実施（食中毒を想定した近隣施設の協力体制の訓練）
- ・ 給食関連施設見学（大東京総合卸売センター）

《10》各種研修参加の実績

H 2 1

5月	給食施設における衛生管理	東京都南多摩保健所
6月	食事管理とカーボカウント	東京都南多摩保健所
6月	自治指導員講習会	食品衛生協会
6月	栄養研修会	東社協南多摩ブロック
7月	相互支援対策	東京都施設給食協会
8月	栄養ケアマネジメント研修	老人福祉施設協議会
9月	栄養士部会	東京都施設給食協会
9月	食事摂取基準 2010 度版	東京都南多摩保健所
10月	ノロウイルス対策	東京都南多摩保健所
11月	栄養研修会	東社協南多摩ブロック
11月	食事摂取基準 2010 度版 II	東京都南多摩保健所

H 2 2

2月	栄養研修会	東社協南多摩ブロック
3月	事業所見学	東京都施設給食協会

《1 1》実習生受け入れ実績

実習生は、大学・専門学校等から受けており 8 月から 1 2 月の期間で行なった。

H 2 1

8 月 3 日から 7 日 実践女子短期大学 2 名

8 月 1 7 日から 2 1 日 実践女子短期大学 2 名

1 2 月 3 日から 4 日 東京多摩調理製菓専門学校 1 名

《1 2》多摩市食事バランスガイドの取り組み

ガイド作成に当たり、食育に取り組む推進体制の機関として、市内の栄養関係者による「多摩市栄養連絡会」を多摩市健康推進課で設置。

市民の心身の健康の増進と豊かな人間性を育むため市内の栄養関係者による食育の増進と食育の普及啓発を図る事を目的とする

高齢福祉の分野で出席を求められ協力を行なった。

H 2 1

9 月 多摩市栄養連絡会

多摩市

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

通所介護

平成21年度 白楽荘在宅サービスセンター事業報告

指定居宅通所介護事業

1. 通所介護事業概要

(1) 利用者定員・登録者数 平成22年3月31日現在

	基本通所介護	認知症対応型通所介護
1日定員	40名	12名
登録者数	106名	22名

(2) 動向

- ・ 平成21年度
 - 新規・再開利用者 83名
 - 中止者 64名
- ・ 年間平均稼働率
 - 基本通所介護 80.2%
 - 認知症対応型通所介護 77.9%
 - 全体 79.7%
- ・ 男女平均年齢 72.8歳

(3) 職員体制 平成22年3月31日現在

	常勤	非常勤
在宅課長	1名	
相談員	2名	
介護職員	4名 (2名)	22名 (5名)
看護師		5名
事務員	1名 ※1	
管理栄養士	1名 ※1	
調理員		1名 ※1
運転手	非常勤7名・契約2名	

※ () 内はいきがいデイ兼務

※1 特養と兼務

(4) 敷地 5,440.25 m²

(5) 建物 10,287.93 m² (4階部分 2,316.75 m²)

2. 運営状況

平成21年度に実施された介護報酬改正の動きの中で、通所介護（デイサービス）は全国的にみて、経営状態が他の介護事業に比し最も優秀であるゆえに「単価」を引き下げることになってしまった。幸い心配したような減収にもならず、まずは安定した収支状況が続いたことは幸いであった。デイサービスの中で、大きなカテゴリーでいうと、一般的な「デイサービス」通常型と地域密着型と呼ばれる「認知症対応型のデイサービス」があり、多摩市にはこれに加え、介護度がついていない方のための「いきがいデイサービス」というものがある。本来はそれぞれのデイサービスにも、どちらとも言えないような、いわば「境界」にいらっしゃるような方も多く、担当者の悩むところである。

人間をある指標で分けようとするところどこかに無理が出てくることは経験上「介護事業」に携わるものはよく知っていることで、サービス提供と「安全・安心」の確保の両立を困難にさせている原因でもある。通所介護の減収を避けられた原因には、相談員達の地道ないわゆる「営業活動」も少なからず貢献していると思うが、やがてこのような努力はそのことの是非は別にしても当法人の全介護事業にも必要なものとなるかもしれない。

通所サービスの目標について

21年度も「通所サービスの目標」を作成し、ご利用者が通所された際に自然と目に触れやすい場所に目標の掲示を行った。21年度は以下の4つの目標を設定した。

「ニーズにあった個別機能訓練を実施する」という目標について、21年度より介護報酬の改定により、通所介護の個別機能訓練加算の単位数が増加した。そのためご利用者ひとりひとりのニーズをより反映し、個別性をさらに重視することが必要となった。そこで、マッサージ師による個別のサービス提供や機能訓練専属看護職員による機能訓練の提供を行った。しかし、ハード面から提供できる機能訓練の範囲に限界もあることもあり、機能訓練の実施内容などについては次年度以降の課題ともなった。

「安全安心のサービス提供に努める」という目標について、通所介護での介護事故の発生件数は20年度と比較して約半数に減らすことができた。しかし、発生した事故の内容を振り返ると、21年度は送迎における車両事故が目立った1年であった。そこで、22年度は運転手の教育を徹底し、より安全に送迎が行えるように周知をはかっていくことが必要である。

「感染症対策」という目標について、幸いに21年度はご利用者のインフルエンザ等の感染症発症例は確認されなかった。しかし、職員が媒介者となり感染症の蔓延を引き起こす可能性は十分に考えられることである。今後も車両やフロア内の消毒を引き続き継続する。

「地域に開かれたデイサービス」という目標について、21年度にご利用者に実施したアンケートの集計結果から、ご家族が通所されている間のご利用者の様子や、どういった活動を提供しているのかなど、日々のデイサービスの状況について、より知りたいと思われていることがわかった。そこで、祝日等をデイサービス開放日として設定し、ご家族がいつでも見学できるようにした。

3. 通所介護事業報告

(1) 通所介護計画作成・実施

- ・ 各居宅介護支援事業所の担当ケアマネージャーが作成した居宅サービス計画書に基づき作成を行った。ケアマネージャーや本人・家族との事前面接時、利用時等にニーズを把握することに努めた。
- ・ 新規・再開・定期見直し（6ヶ月程度）・随時見直し（状態変化・入院等の長期欠席後等の必要時）等年間約200件の通所介護計画作成を行った。
- ・ 作成した通所介護計画は本人や家族に説明し署名をいただいた。計画書はコピーをとり、原本はサービスセンターで保管し、一部はご利用者にお渡しした。
- ・ 本人や家族に了承いただいた通所介護計画書は、担当のケアマネージャーに送付し、内容について確認を依頼した。
- ・ ミーティング・職員会議・職員間の連絡帳・非常勤職員研修等にてご利用者個々の介護計画を確認し、ケア内容の統一を図るよう努めた。常時120名前後の最新の介護計画を全職員が正しく把握することができるよう、計画書はいつでも確認しやすいように各ケースファイルおよびワーカー室の2ヶ所に設置保管し、情報の周知に努めた。

(2) 付加サービス

- ・ 平成20年1月から個別機能訓練加算、運動機能向上加算を開始した。ご利用者の多様なニーズに応えるため、看護師を増員配置し、職員研修を行う等サービス提供体制を整備した。また21年度は介護福祉士の配置による提供体制加算の算定を開始したことで、専門的なクオリティの高いサービス提供にご利用者、ご家族からも期待の声が寄せられている。

(3) 健康チェック・看護

- ・ バイタルチェックや様子観察、入浴時の身体観察等により、ご利用者の状態変化を見逃さないよう努めた。熱発や皮膚疾患等の変化が見られた場合は、緊急度によっては早急にご家族や担当のケアマネージャーへ連絡を取り、ご自宅への送りを早めるとともに、連絡帳に状況を記入し受診を勧める等対応をおこなった。
- ・ 胃ろうやカテーテル等医療的なケアニーズがある場合においても、全身状態が安定して在宅生活をしている方の受け入れはスムーズに出来るよう努めた。
- ・ 風邪やインフルエンザの予防・拡大を防ぐために、12月～3月末までご利用者に施設到着時のうがい・手洗いの実施を行った。また、大型の加湿器を3台設置して室内の湿度を適切な状態に保てるように努めた。さらに、各送迎車においては手指消毒を実施した。なお、ポスターや連絡帳等でご自宅での感染症予防についても呼びかけを行った。
- ・ 皮膚疾患に関する処置（入浴後の軟膏塗布等）にも対応し、必要があればご家族への状態報告等を行った。

(4) 食事・おやつ

① 栄養課・在宅会議

- ・ 毎月1回、翌月の食事献立予定を栄養課より受け取り、ご利用者配布用として見やすく食事が楽しみと思っただけのようなメニュー表を作成することに努めた。
- ・ ご利用者の反応やメニューの希望、変更、行事食の内容等を検討した。
- ・ 21年度は麺類の提供を開始した。今後も継続して新メニューの導入を検討する。

② デイサービス特別メニュー

- ・ ご利用者は各曜日ごとで登録利用しているため、併設されている特別養護老人ホームと同一のメニューでは月曜日は麺の提供日、金曜日はパンの提供日といったように曜日ごとのメニューでは偏りが出てしまう。そこで、偏りを解消するために基本的に御飯が主食のメニュー構成で提供している。
- ・ 選択の機会を持ってもらうため月1回選択食を実施した。

4月	シューマイ、鮭の粕漬	10月	豚角煮、鯖の味噌煮
5月	八宝菜、カジキ鮪の味噌煮	11月	松風焼、カレーの梅醤油焼き
6月	豚肉柳川風、カジキ鮪もろみ漬	12月	なし
7月	マーボー豆腐、鰹の生姜漬焼き	1月	豚肉の柳川風、鯖の有庵焼き
8月	親子煮、ほっけの塩焼き	2月	煮かつ、鯖の文化干し
9月	なし	3月	松風焼、焼き魚

- ・ 敬老週間行事食 9月7日（月）～9日（水）
 昼食：ちらし寿司（火） 赤飯（月・水）
 おやつ：ねりきり
- ・ 年忘れ週間行事食 12月17日（木）～19日（土）
 昼食：ちらし寿司（金・土） 赤飯（木）
 おやつ：ケーキ

③ 食事対応内容

毎朝9時までに当日の食数（食事形態毎の食数・合計数）や嗜好やアレルギー等の理由による品止めを記載し「食事注文書」を栄養課へ提出する。提出後の利用者の休みや、品止めの数の変更等があった場合は11時までに連絡し注文書を訂正する。

食事提供時にはミスがないよう当日の配膳責任者を中心に相談員が準備した食事表と食札通りに配膳し、個々の利用者に合った食事形態で召し上がれるよう調整している。希望や必要に応じて粥やキザミ、ミキサー食への対応、水分にトロミを付ける、補助具を準備することも対応している。その際、食事表や食札も変更する。

④ ご家族との連携

ご利用者により、食事や水分摂取量、摂取の様子等を連絡帳に記載し家族との連携を図れるようにした。また、脱水防止のため多めの水分補給（お茶や白湯が苦手な利

利用者にはレモンティーを提供)、食事摂取量の確保が困難な場合は高栄養剤を持参していただき対応する等、個々の状況になるべく合うような対応に努めた。

⑤ 口腔ケア

ご利用者から個人の歯ブラシをお預かりし、昼食後に看護職員が中心となり口腔ケアを行った。自力で可能なご利用者にはブラッシングや義歯の洗浄等を支援し、困難なご利用者には介助を行った。口腔ケアにより口腔の疾病予防、健康の保持増進が可能となるように取り組んだ。また、21年度から使用後の歯ブラシを殺菌庫へ入れ保管する方法へ変更し、より衛生面に配慮するよう努めた。

⑥ 嗜好調査・残菜調査

食事に関して希望を汲み取る試みは実施出来ていない。食事は在宅サービスの選択肢の1つとして重要であり、利用者の楽しみである。メニューの広がりは今後の課題である。事前にリサーチし導入までに万全の体制でのぞみたい。

参考) 食事メニュー表配布例 (A4判)

3月 デイサービス食事メニュー

月	火	水	木	金	土
1日(559kcal)	2日(609kcal)	3日(471kcal)	4日(587kcal)	5日(503kcal)	6日(433kcal)
ご飯 かれのい梅醤油焼き キャベツの磯辺和え 田楽(豆腐・オクラ) 味噌汁(なす・ねぎ) 雑あられ・甘酒	赤飯 刺身 天ぷら(ナス・エビ・タラノメ・マイタケ) 酢味噌和え(ホタルイカ・胡瓜) 吸い物・いちご ねりきり	ご飯 ぶりの照り焼き チンゲン菜炒め 漬物(たくあん) 味噌汁(かぶ・わかめ) 雑あられ・甘酒	いなり寿司 大根とほたての薄くず煮 うずら豆の甘煮 清汁(ねぎ・とろろ昆布) 吸い物 抹茶のムース	ご飯 クリームシチュー サラダ(ツナ・トマト・レタス) 漬物(葉唐辛子) キウイフルーツ 抹茶のムース	ご飯 焼き魚(しまほっけ) 辛子和え(菜の花) 漬物(桜漬) 豚汁 抹茶のムース
8日(448kcal)	9日(570kcal)	10日(459kcal)	11日(635kcal)	12日(523kcal)	13日(436kcal)
ご飯 鮭の蒲焼き チンゲン菜と油揚げの炒り煮 白菜漬 味噌汁(キャベツ・玉葱) 六社まんじゅう	わかめご飯 さば文化干し 炒り豆腐 漬物(桜漬) 清汁(かき卵・みつば) 六社まんじゅう	ご飯 鮭の塩焼き かぼちゃのいとこ煮 漬物(赤かつば) 吉野汁 六社まんじゅう	ポークカレー 薬味 ほうれん草サラダ フルーツ缶(白桃) 和菓子(どら焼き)	ご飯 肉団子(テリヤキ) 卵の花 漬物(胡瓜) きのこ汁 和菓子(どら焼き)	ご飯 煮魚(金目鯛) ゴマ醤油和え(白菜) もずく酢 味噌汁(大根・油揚げ) 和菓子(どら焼き)
15日(403kcal)	16日(516kcal)	17日(475kcal)	18日(551kcal)	19日(519kcal)	20日(564kcal)
ご飯 ホタテフライ&椎茸肉詰めフ すき昆布の炒め煮 しば漬 コンソメ(白菜) きんつば	五穀ご飯 アジの塩焼き ぜんまいの炒め煮 すいとん きんつば	ご飯 松風焼き VS 焼き魚 ごま和え(菜花) 漬物(きゅうり) 味噌汁(豆腐・みつば) きんつば	ご飯 ビーフシチュー 連根の炒め煮 サラダ(アスパラ・トマト) 漬物(野沢菜) プリンタルト	ご飯 タラの西京焼 肉じゃが 漬物(たくあん) 清汁(かき卵・みつば) プリンタルト	焼飯 ふきのごま和え しば漬 味噌汁(ほうれん草・わかめ) いちご プリンタルト
22日(517kcal)	23日(457kcal)	24日(486kcal)	25日(556kcal)	26日(509kcal)	27日(616kcal)
ご飯 鯛の味噌煮 えびシュウマイ 漬物(野沢菜) すいとん きなこプリン	ご飯 凍り豆腐の炊き合わせ 漬物(たくあん) 味噌汁(里芋・小松菜) いちご きなこプリン	ご飯 ヒレカツ 大根とほたての薄くず煮 漬物(赤かつば) 味噌汁(豆腐・わかめ) きなこプリン	チキンライス サラダ(南瓜・胡瓜) 漬物(たかな) ポターージュ(コーン) キウイフルーツ むさしの(チョコ)	ご飯 天ぷら(茄子・芋・穴子・カニ) ずいき煮 酢の物(胡瓜・錦糸卵) 味噌汁(キャベツ・玉葱) むさしの(チョコ)	ご飯 豚の角煮 玉子豆腐 漬物(桜漬) 味噌汁(里芋・あさつき) むさしの(チョコ)
29日(495kcal)	30日(569kcal)	31日(555kcal)	★仕入れ具合によりメニューが変更になる場合があります。 ご了承ください。 ★()内のカロリーにおやつは含まれません。 ★行事食は2日(火)、選択食は17(水)です。		
ご飯 八宝菜 長芋の含め煮 しそこんぶの佃煮 雷汁 抹茶のムース	ご飯 鶏肉のから揚げ 蟹のみぞえ和え 漬物(たくあん) 味噌汁(ほうれん草・油揚げ) 抹茶のムース	ご飯 豚肉の味噌漬焼き くるみ掛け(オクラ) 漬物(桜漬) 味噌汁(わかめ・ねぎ) 紅茶のムース			

(5) 入浴

- 入浴を希望するご利用者は多く、1日の対応可能人数を超えての登録でも出来る限り受け入れ、当日に欠席者が出た場合には、他の希望者が利用出来るようその都度調整するように努めた。
- 午前や午後の入浴時間の希望、下着やオムツ類の取り替えの必要の有無、定期的に体重測定を行いご家族に報告する等対応した。衣類の取り替え忘れがないよう、チ

ェック表を作成する等工夫した。

- ・ 当日入浴予定のご利用者の連絡帳は、入浴担当者が必ず家族等からの伝言を確認し、体調により入浴中止の希望などがあつた場合などの連絡事項を確実に把握するように努めた。

(6) 排泄

- ・ 個々の通所介護計画に従い状態に合つた介助を行い、介助方法の変化などがあつた場合に柔軟に対応できるよう努めた。
- ・ 排便・排尿の有無をチェックする必要のあるご利用者は、記載漏れのないように留意し、利用者連絡帳に記入し、ご家族や介護者に報告を行った。
- ・ 定時や随時トイレへの声かけを行い、排泄リズムの回復・維持を図るように努めた。
- ・ 立位保持が困難なご利用者の場合は、トイレでの排泄についてスタッフ二人介助にて安全に介助を行えるようにした。
- ・ 通所介護においてはリハビリパンツ等のご利用者が個々に持参いただくことになっているが、その他必要があつた場合には施設の備品で都度対応した。後日、連絡帳等でご家族に使用したことを伝え、次回利用日にご持参いただくようにした。

(7) 整容

サイ企画（代表：斎藤氏）の協力のもと、施設内での理・美容を実施した。ヘアカット・パーマ・ヘアカラー等を月3日程度行った。ご自身で美容院等に行くことが困難なご利用者も多く、楽しみにされている方も多いため、今後も継続して調整していきたい。

4月	3回	15人	10月	3回	17人
5月	3回	11人	11月	3回	10人
6月	3回	13人	12月	3回	16人
7月	3回	10人	1月	3回	11人
8月	3回	18人	2月	3回	12人
9月	3回	11人	3月	3回	19人

合計 36回実施 延べ163人

(8) 送迎

- ・ 送迎表は月1回程度変更し、各車両の送迎表、ワーカー室掲示用は常に最新情報として職員に徹底を図り、送迎の配車等のミスを防止できるように取り組んだ。
- ・ 新規のご利用者の加入や既存ご利用者の曜日追加、中止者、送迎1便2便の変更の希望等、送迎時間の変更は頻繁にあり、その都度配車表の変更が必要となるため、ご利用者への事前連絡が必要不可欠であつた。送迎時間変更のお知らせをご利用者等にお渡ししたり、事前に電話でお知らせを行うなど、情報の伝達には漏れがないように留意し、配車トラブルがないよう努めた。
- ・ 1便・2便等の送迎時間や片道のみ送迎、玄関・ベッドまでの送迎、到着前に連

絡を入れる等の個々の希望に可能な限り対応した。

- ・各送迎車とは携帯電話で連絡を取り合い、急な欠席や連絡事項等にも対応した。
- ・送迎時間に遅れないよう時間に正確な送迎を心がけ、遅れる場合（10分以上）には随時利用者宅へ連絡を入れ、室外でお待たせする時間になるべく少なくすむように対応した。
- ・自宅玄関からの送迎をご希望される方は増加している。そういったケースにおいては、1件あたりの送迎に要する時間が他のケースに比べると長い。同じバスで同乗している他のご利用者を長く待たせることがないように、可能な限りスムーズな送迎ができるよう努めた。
- ・送迎時のご利用者の急変等緊急事態は考えられるため、「送迎事故対応マニュアル」を車両に積み緊急時に即対応出来るようにした。

(9) 苦情解決

21年度は3件の苦情報告があった。苦情を改善の機会として捉え、報告書におこすよう努めた結果も含まれている。下記に内容の分析と考察を記す。

苦情内容	件数
活動中の対応について	0
職員の対応について	3

「活動中の対応…」について。

- ① 5月28日受付…デイサービス利用中、持参した銀行袋の中から10万円が盗難されたと話があった。しかし、ご本人の話されていることがころころと変わり詳細はわからない状況であった。
- ② 12月3日受付…書道の活動時、講師から家で書いてきてほしいと話があり見本をもらった。しかし、ご本人は認知症のため墨汁などの購入が行えず書けないと言い泣き出してしまった。書道講師と話し合いを行い、お手本を持ち帰らないよう見守りを行うとともに、そのようなことをしないことを確認した。
- ③ 3月5日受付…帰りの送迎待ちの際、ご本人を含め他利用者が飽きないように職員が炭坑節を歌ったところ、馬鹿にされて不愉快な気分になったと話があった。その利用者は現在もデイサービス欠席中である。

(10) リスクマネジメント

① 介護事故・ヒヤリハット報告書

21年度は介護事故・ヒヤリハット報告が16件あった。昨年度は31件である。

事故・ヒヤリハット内容	件数
転倒（ヒヤリ含む）	7
けが（ヒヤリ含む）	1
車両事故（傷・へこみ等）	4
徘徊	2
その他	2

平成21年度は利用者の離脱事故が発生した。平成22年3月8日（月）認知症対応型通所介護利用のご利用者が、施設から電車を乗り継ぎ深夜に武蔵境駅で発見された。今回の事故について、再発防止のため職員でマニュアル見直しや事故発生時の体制作りなど見直しを行った。また、ハードの面に関してセンサーを平成22年度早々に設置するなどの体制作りにつとめた。

今回の事故で、幸いにご利用者に大きなけがはなかったが、各職員間で大きく考えさせられる出来事であった。また、通所介護のみでなく、短期入所をはじめとする法人全体でも再発防止の対策を早急に行うこととなった。

他の事故に関して、転倒が例年を通じて一番発生している。すぐに事故報告書を作成し回覧することで周知徹底、再発防止に努めている。また、車両事故が頻発して発生している。22度は再度運転手への研修を行う予定である。

② 救急車要請記録

ご利用者の状態変化や事故等で救急搬送の事態に至ったケースは「事故・ヒヤリハット報告書」とは別に「救急車要請記録」として報告書を作成している。21年度の救急要請は4件であった。

救急車要請理由	件数
意識消失	3
酸素不足による意識低下	1

③ 防災避難訓練

月～土のご利用者全員が訓練に参加出来るよう、2ヶ月に1回実施した。「防災訓練手順」に基づいて行い、実際にご利用者の方々にも訓練に参加していただき、職員も通報システムや消化器の使用方法等再確認を行った。実施後、総務課長より講評を行った。

実施日： 5月15日（金） 7月13日（月） 9月16日（水）
11月26日（木） 1月25日（月）

④ 情報収集

ご利用者の通所介護計画の見直し時に緊急連絡先やかかりつけ医、服薬内容の確認を行い救急搬送等の緊急時に備えた。個別ケースファイルの他、「緊急連絡先・医療情報」のファイルにも変更事項を記入し管理した。

(11) 受け入れ

① 見学

21年度は28件の見学希望に随時相談員が応じ、施設内の案内やデイサービスのパンフレット、スケジュール、料金表等説明を行った。その見学された方の内19件は後の利用につながった。

② 一日体験

21年度は31人の体験希望者の受け入れを行った。体験希望者には送迎・食事

等も体験していただき、後に24人は利用につながった。

③面接

新規・再開のご利用者を合わせ、72名の方に利用開始の事前面接を行った。基本的には相談員1名・ケアワーカーまたは看護職員1名でご自宅等へ訪問しご家族等を交えてご本人と面接を行うが、ご本人が独居であったり入院などのために自宅での面接が困難な場合等は、担当ケアマネージャーの同席を求めたり、ご自宅以外の場所で面接を行うこともあった。

(12) 連絡調整・他職種との連携

- ・ ご利用者やご家族のその日のニーズを把握し対応出来るよう、連絡帳や送迎時に把握した内容はワーカー室のホワイトボードやデイサービス連絡帳を活用し全職員への情報の周知をはかった。
- ・ ご利用者の緊急時にはスムーズに家族等と連絡が取れるよう、利用開始時や通所介護計画書の説明時等に緊急連絡先の確認を行った。
- ・ 他の曜日への振替利用や臨時利用の希望には可能な限り対応し、入浴・送迎等の調整を行った。
- ・ ご利用者のデイサービス利用時の状況等を担当ケアマネージャーへ報告するとともに、利用実績と毎月発行しているデイサービス広報誌を各事業所を訪問して直接お渡しするように努めた。各事業所のケアマネージャーと直接会う機会を毎月作ることで、各ケアマネージャーと顔の見える関係づくりを目指した。その結果、各事業所からの新規相談件数も増え、新規契約の件数も上昇している。

(13) 情報の共有化

- ・ 1ヶ月に10ケース以上の新規・再開・中止等があり、通所介護計画の見直しも定期的に行うことから、全職員が同じ情報を確実に共有するように努めた。
- ・ 朝のミーティング、午後ミーティング、入浴ミーティング、職員会議、デイサービス内部研修等の他、デイサービス連絡帳、入浴（一般浴・特別浴）連絡帳、ホワイトボード、回覧板の活用等にて情報の共有化を図った。
- ・ 主任会議や運営会議、在宅職員会議等議事録が作成されるとデイサービス連絡帳に記載し、各職員が議事録確認後サインをすることで情報伝達の漏れを防ぐように工夫した。しかしまだ確実に伝達できていないことなどもあり、今後の課題として取り組む必要がある。
- ・ 様々な情報の集約と分析を相談員が中心に行い、各職員に必要な情報を伝えた。

(14) 業務の標準化

サービスの質を保ち、業務を安全に効率的に勧めていくためには業務の標準化が不可欠である。業務マニュアルの見直しや新たな項目についての作成を行った。今後も継続して作成していく。

4. アクティビティ実施報告

- ・ 毎月下旬に翌月の活動や食事メニューを載せた「デイサービススケジュール」を連絡帳に挟んで渡している。ご利用者、ご家族、他事業所等に様子がわかるよう、写真や絵を入れて理解しやすいように努めているが、個人情報保護法等の観点から写真は顔がなるべく映らないよう撮影し、個人が特定しづらいものを活用した。
- ・ 生活リハビリの視点から、毎日行う午前・午後の体操やゲームの中で、楽しく体を動かす機会を確保している。誤嚥予防体操、脳活性化体操等、効果を伝えながら行うと目的意識を持つことにつながった。

(1) 音楽療法

月4回（火・土2回ずつ）実施。音楽療法士の吉山先生・駒田先生を中心に行われた。年間の実施回数は48回、1回の参加人数は30～40名程度。

五感への刺激を与える、季節を感じる、信頼関係を築く、感情表現・ストレス発散を促す、連帯感・心地よい雰囲気味わうこと等を目的としている。

主な使用曲一覧

4月	春が来た 仲良し小道 花 はなさかじじい ちゅうりっぷ 霞か雲か 森の水車 美しき天然 春の歌 背くらべ
5月	バラが咲いた 茶摘み みかんの花咲く丘 バラが咲いた 肩たたき 桜 井の訣別 ブラブラ 丘を越えて 誰か故郷を想わざる さくら貝のうた
6月	汽車 うめぼしの歌 瀬戸の花嫁 かたつむり 牧場の朝 二人は若い 夏は来ぬ たなばたさま
7月	我は海の子 夏の思い出 カモメの水兵さん あこがれのハワイ航路 赤 い帽子白い帽子 出船の港 山男のうた あざみの歌 知床旅情
8月	花火 東京音頭 お祭りマンボ 長崎の鐘 海(松原遠く～) ラジオ体操 の歌 いわしのひらき 港町十三番地 お祭りマンボ ここに幸あり
9月	炭坑節 虫の声 金色夜叉 ずいずいずころばし 月の砂漠 勘太郎月夜 唄 王将 浜千鳥
10月	故郷の空 村祭り 会津磐梯山 ほたる げんこつ山のたぬきさん 証城 寺の狸囃子 高原列車は行く 北上夜曲 荒城の月
11月	もみじ 花笠踊り 夕焼け小焼け りんごのうた 湖畔の宿 隣組 植生 の宿 船頭小唄
12月	たき火 草津節 リンゴのひとりごと お正月 蛍の光 四季の歌 喜び のうた さざんかの宿
1月	一月一日 富士山 黒田節 雪 新雪 箱根八里 たこのうた 喜びも悲 しみも幾年月 出船 名月赤城山 水色のワルツ
2月	冬の夜 ソーラン節 鬼のパンツはいいパンツ 湯島の白梅 人生の並木 道 春よ来い うぐいす トロイカ うれしいひなまつり
3月	春の小川 さくらさくら 蘇州夜曲 仰げば尊し お山の杉の子 高校三 年生 港が見える丘 叱られて

共通曲 : 開始 (土)「白楽荘でこんにちは」「故郷」 終了「ふるさと」
 開始 (火)「高原列車は行く」「ごあいさつの歌」 終了「星影のワルツ」

(2) 絵手紙

毎月末(月)～(木)の月4回実施。絵手紙サークルの4～5名のボランティアより指導を受けている。楽しみにしているご利用者は多く、当日に題材として季節の花を持参するご利用者もいる。仕上がった作品はデイサービスの掲示板に展示した。

題材例

4月	金太郎 鯉のぼり ボタン かぶと カーネーション ハナミズキ 五月人形 かきつばた	10月	ザクロ マリーゴールド ほととぎす さざんか こぶし 花水木 けすり あけび ききょう
5月	アプチロン 山ボウシ ラン 富士山 昼顔 月見草 つりがね草 どくだみ ほたる袋 さつき つゆ草	11月	紅葉 枯葉 イチョウ 山茶花 アプチロン ポインセチア 菊 ボケ アブチカン アメリカフヨウ クリスマスグッズ
6月	紫陽花 びわ ほたる袋 コスモス 昼顔 ザクロ ピーマン	12月	コマ 羽根 犬 獅子舞 ダルマ 山茶花 千両 ゆず 招き猫
7月	ほおずき 芙蓉 つゆ草 ザクロ おしろい花 むくげ アプチロン	1月	鬼の面 セラニウム 山茶花 椿 シクラメン 雪だるま 紙風船 猫柳 水仙 千両 アプチン
8月	ゆり かえる みょうが こぶしの実 ふよう ひまわり ほおずき ガーベラ かぼちゃ	2月	菜の花 桜草 お雛様 ひし餅 梟 桃 ふきのとう 椿 ポリアンサス 日向夏 人形
9月	黄花 ななかまど 百日草 花見月の実 もっこく唐辛子 かぼちゃ こぶし キバナ コスモス アプチロン菊 芙蓉	3月	カーネーション ちんちようげ ブンタン チューリップ 桜 パンジー ガーベラ 椿 彼岸桜 フリージア スイセン

年間実施回数 48回 参加者数858名(デイ516名・いきがい342名)
 1回平均参加者数 約19名

(3) 書道

(月・火・金)は米谷講師、(水・木・土)は佐藤講師を招き、書道を月6回実施したが、22年1月より米谷講師の都合により月曜が無くなった為、新しい講師を検討中。

書道に参加することを決めているご利用者は多く、季節に合った言葉のお手本の中からご利用者自身が好きな言葉を選んで練習。仕上がった作品はダイルーム内に掲示している。

年間実施回数 64回 参加者数 914名(デイ658名・いきがい256名)
 1回平均参加者数 14名

題材例

4月	桜吹雪 日和 早春 すいせん 記念写真 さくら 花まつり 春の海 名残り雪 さくらの花	10月	赤い羽根 銀杏 赤とんぼ 芸 術 尾花 いちじく 虫の声 紅葉 夕焼け空
5月	新緑 あやめ こどもの日 芝 桜 立夏 端午の節句	11月	西の市 花鳥風月 霜降 きく 勤労感謝 文化の日 霜月 火 災予防
6月	あじさい 青い空 夏至 入梅 雨蛙 北斗七星 宇宙開発	12月	雪月花 冬至 寒椿 もちつき クリスマス 師走 初冬 御用 納め 除夜の鐘
7月	星まつり ほうづき 夏休み 水泳 かい 海山川 日々是好 日	1月	冬至 羽つき 羽子板 寒椿 もちつき すいせん 初春 松 竹梅 凧揚げ 寒の入り
8月	相互扶助 盛夏 盆踊り 白い 砂浜 ひまわり 睡蓮 葉月 夏祭り 立秋	2月	福寿草 はつうま 立春 雨水
9月	秋風 豊年 梨もぎ 秋十五夜 つき見 月夜 秋の星空 はぎ すすき野	3月	山野草 紅梅 行雲流れ 春風 木蓮 やよい お水とり

(4) 裁縫

毎月（水）で月に2回程度、栗田講師を招き実施。継続して参加し、作品を仕上げることを楽しむご利用者が多い。かわいらしい作品が多いため創作意欲を刺激され、集中した時間を持つことができている。1回の参加者はいきがいを含め5名前後である。

参加延べ人数 60名（いきがいデイ利用者を含む）

* いきがい資料参照

(5) 詩吟

毎月（土）に月1回、芦田講師を招き実施している。腹からの声を力一杯出すことで、健康作りにつながっている。

曲名例

月	内 容	参加人数	月	内 容	参加人数
4月	名槍日本号 江南春	5名	10月	名槍日本号 九月十日 金州城下の作	6名
5月	名槍日本号 遇成 川中島	5名	11月	名槍日本号 遇成 九月十日 川中島	4名

6月	名槍日本号 陣中の作 川中島 金州城下の作	5名	12月	名槍日本号 陣中の作 遇成	6名
7月	名槍日本号 九月十日 川中島 金州城下の作	4名	1月	名槍日本号 川中島 遇成	6名
8月	名槍日本号 川中島 金州城下の作 九月十日	6名	2月	名槍日本号 遇成	5名
9月	名槍日本号 九月十日 川中島	6名	3月	名槍日本号 金州城下の作	4名

参加延べ人数 62名

(6) 持ち帰り製作

月に一度、職員1名が担当者となり、1回で終了出来る持ち帰り作品を考案し、提供している。1回平均15名前後が参加出来るよう準備をしての実施となった。

21年12月より費用を200円前後頂き申し込み制とするが変わらず好評である。作品は持ち帰った後、自宅で飾ってご家族で楽しまれている様子も見受けられた。来年度も、引き続き継続出来るようにして行く。

月	作品	参加人数	月	作品	参加人数
5月	きんちゃく	12名	11月	まゆどんぐり	17名
6月	写真立て	14名	12月	クリスマスツリー	10名
7月	朝顔のうちわ	14名	1月	癒し犬	17名
8月	リース	13名	2月	ミニ小物入れ	9名
9月	ミニバスケット	12名	3月	キラキラミラー	10名
10月	オーナメント	3名	4月	乙女のブーケ	13名

参加延べ人数 144名

(7) レクリエーション体操

毎月2回、中川講師を招き行った。ご利用者が目的意識を持って参加出来るよう、運動の効果を説明しながら身体を動かし、季節の歌やリズムカルな曲に合わせ楽しみながら心身機能の活性化を促した。特に最後の布ボールでのキャッチボールはいつも好評である。21年度は敬老週間、年忘れの年間行事にも参加して頂き好評であった。

年間実施回数 36回 1回参加人数 45名前後 (いきがいデイ利用者を含む)

(8) リハビリ体操

毎月2回(水)(金)にひばり会・岡田講師他数名を迎えて行った。使用用具はラップの芯、ストッキングを使い、歌いながら身体や指先を動かし、運動の効果を説明しながら体操を行い心身機能の活性化を促した。

年間実施回数 36回 1回参加人数 45名前後 (いきがいデイ利用者を含む)

(9) さわやか気功

毎月2回(金)に尾崎講師を招き行った。気功の効果を説明しながらゆっくりと流れる音楽に合わせ、気功特有の呼吸方で利用者にも無理の無い体操は毎回好評である。

年間実施回数 36回 1回参加人数 45名前後(いきがいデイ利用者を含む)

(10) 社交ダンス

19年度5月より、月1回、曜日は不定期で車椅子レクダンス普及会の平井講師を招き実施していたが、講師が高齢の為、車の運転に不安を感じ来荘をするのが困難になった為、21年11月で終了となる。

年間実施回数 8回 1回参加人数 30名前後(いきがいデイ利用者を含む)

(11) 中国気功体操

月に2回(月)新原講師を招き行った。ゆっくりと行う気功と共に、懐かしい歌を歌うなど心身機能の活性化を促した。又新原講師には介護者教室の講師として御協力頂き、ご家族からも好評を得た。

年間実施回数 36回 1回参加人数 45名前後(いきがいデイ利用者を含む)

(12) リフレッシュ体操

21年9月より、ボランティアセンターの紹介で月に2回、小西講師を招き行った。昔懐かしい曲を流しゆっくりと体をほぐし、長刀の師範でもある講師特有の気合の入る掛け声などを行い、心身機能の活性化を促した。

年間実施回数 16回 1回参加人数 45名前後(いきがいデイ利用者を含む)

(13) 制作活動

季節を感じつつ皆でひとつの作品を作る楽しみを味わえるよう工夫し、手先を動かす機会の確保につなげている。作品は毎月ダイルーム、廊下の壁に飾っている。持ち帰り作品は好評で、塗り絵用カレンダーは毎月楽しみにしているご利用者が多い。

月	カレンダー	誕生表	壁面
4月	たけのこ	桜	桜
5月	こいのぼり	かぶと	こいのぼり
6月	あじさい	梅雨の景色	田植え
7月	七夕	七夕	祭り
8月	ひまわり	海	夏休み
9月	秋祭り	お月見	お月見

10月	菊	きのこ	柿の木
11月	コスモス	もみじ	紅葉
12月	クリスマス	お正月	クリスマス
1月	ねずみ	富士山	
2月	節分	鬼と豆	気球
3月	雛人形	雛人形	

(14) ゲーム

午後のアクティビティとして、30人規模で楽しめる内容を考えながら実施した。新たにクラゲゲーム、投げ込み合戦など座りながらではあるが、集中力を高めチームでの連帯感、達成感を味わえるよう配慮したゲームも取り入れた。来年度も引き続き新しいゲームの導入を図っていきたい。

【ゲーム例】 風船バレー 風船バスケ うちわ玉送り 卓上ピンポン
魚釣りゲーム ボトルボーリング ドッチボール 玉入れ
シーツバレー 輪投げ クラゲゲーム 投げ込み合戦

(15) 学習療法

本年度も引き続き、計算・漢字・音読・書き取りの教材を用いて認知症（進行）予防を図っている。脳の働きを活性化し、達成感を得ることにより喜びや自信などが生まれ、ADLの向上やコミュニケーション能力等を引き出すことを目的とする。参加者は一回につき10名前後で、希望者のみ行っている。21年度は、間違い探しを取り入れ新しい題材選びも実施した。

(16) 外出活動

自宅では外出が困難なご利用者が多く外出活動は好評である。行事での観桜や紅葉のバスハイク以外はあまり行えていない状況ではあるが、ご利用者の希望も多く、天気の良い日は、山王下遊歩道など散歩を実施、臨機応変に可能な限り行った。

(17) 特別活動

21年度も多くのボランティアさんを招聘し特別活動を実施した。ご利用者により好みがあるため無理強いする事のないようご希望を確認して参加していただいた。賛否両論分れる活動もあったが多くの活動で大変好評をいただいた。22年度も力を入れて実施していきたい。

実施日	活動名	参加人数	内容
5/28	越中おわら節	36名	利用者の方の要望も多かった為、職員が所属する、踊りの会より12名来荘して頂きました。30分間披露して頂きました。

7/23	ハッピー スマイル	44名	歌い手と交流を持ちながらのスタイルで歌詞を渡さず一緒に歌を歌って楽しませていただきました。
8/1	フラダンス	40名	フラロゼラニの5名で全5曲を入れ替わりで踊っていただきました。ゆっくりと進行してくれ全員参加でのコンサートでした。
8/3	松が谷高校 和太鼓部	41名	松が谷高校から、6名和太鼓部に来荘頂き30分間演奏を披露して頂きました。
8/5	寿太鼓	38名	ことぶき太鼓の会より、3名来荘され、演奏を披露して頂きました。
9/7 12/18	リラの会	約40名	国立音大付属高校より、コーラスの会から学生13名に来荘頂き、合唱を1時間披露して頂きました。大変好評でした。
9/8	かたばみ会	42名	敬老週間の行事の中で宇賀神先生のご紹介から、霞会4名・かたばみ会7名の方に来荘頂き、演技を披露して頂きました。
10/17 2/6	お話を語る会	約40名	恵泉女子大学から学生5名が詩の朗読、わらべ歌を歌って下さいました。ご利用者と手遊びをおこなった。
12/19	ベルブ ブラスバンド	41名	敬老週間、年忘れ週間に多摩市で活動されている小学生～大学生を中心に構成されたブラスバンドの団体に20名来荘頂き、演技・曲を1時間披露して頂きました。

5. 行事報告

行事の実施は、日常プログラムとは異なる趣向を凝らした内容（ボランティア・学校関係・サークル団体等の催し物・演奏会などの実施）が特徴である。一方、観桜や紅葉のバスハイクは日常閉じこもりがちな利用者の心身の機能訓練へとつながった。

(1) 観桜バスハイク・紅葉バスハイク

午後のアクティビティの一環として、心身の機能向上を図る為、見頃の3日間ぐらいを目途に実施した。桜、モミジバフウの見所をマイクロバス等で回り実施した。ご利用者には大変好評であった。

(2) ミニ盆踊り

日程	場所	参加人数	内容
8月1日(土)	デイルーム 多目的	40名	会場(デイルーム)に提灯を飾り付けしハッピーを用意し、寿太鼓、松が谷高校(愛宕

8月3日(月)	ホール	41名	太鼓)フラダンスに来て頂き、「東京音頭」「炭坑節」「桜音頭」の曲を使用し、利用者も輪の中に入って踊りました。フラダンスなどもとても喜んでいただきました。
8月5日(水)		38名	

参加延べ人数 119名

(3) 敬老会

9月7日(月)	ダイルーム 多目的 ホール	44名	90歳以上の利用者様をお祝いし、メッセージカードをプレゼントした。食事もお刺身の盛り合わせをはじめ、赤飯やちらし寿司をご用意し喜んで頂いた。催し物としてはリラの会、かたばみ会などに来荘していただき、楽しんで頂いた。
8日(火)		44名	
9日(水)		38名	

参加延べ人数126名

(5) 年忘れ会

12月17日(木)	ダイルーム 多目的 ホール	42名	クリスマスツリー等を飾り、昼食は特別メニュー、おやつにケーキを提供した。コーラス、大正琴、ブラスバンドの演奏、職員による出し物等を企画し実施した。クリスマスプレゼントは来年度の干支の土鈴プレゼントし好評だった。
18日(金)		36名	
19日(土)		41名	

参加延べ人数 119名

(6) お正月

年始のご挨拶に年賀状を利用者・他事業所へ送付した。1月4日(月)～1週間程、ダイルームに鏡餅や凧等お正月飾りで雰囲気演出し、アクティビティにお正月ゲーム(カルタ、羽根つき、コマ回し、福笑い等)を取り入れ新年の楽しみを味わって頂いた。

(7) 節分

2月1日(月)	ダイルーム	43名	職員が鬼を演じて、利用者が鬼に節分豆を投げる役となった。豆を投げるという動作を楽しみながら運動機能向上の一助ともなっている。転倒事故防止等の為、確実な除去作業も行った。
2日(火)		39名	
3日(水)		42名	

参加延べ人数 124名

(8) 誕生者へのお祝い

各月の担当者がバースデイカードを作成・郵送し、ご利用者やご家族からも喜びの声も聞かれており好評だった。毎月デイルームに誕生者の名前を掲示すると同時に、帰りの挨拶時に誕生日に近い利用者がある場合は「Happy Birthday To You」を歌いお祝いし、皆様から祝ってもらえる機会を提供した。

6. 各種会議

(1) 施設内会議の実施

- ① 通所介護部門職員会議（第2・4（木） 計24回実施）
- ② 通所介護計画作成カンファレンス（年間200回以上実地）
- ③ 栄養課在宅会議（月1回実施）
- ④ アクティビティ会議（月1回実施）
- ⑤ ケースカンファレンス（必要時随時）
- ⑥ 午後ミーティング（営業日毎）

(2) 外部会議への参加

- ① サービス担当者会議
- ② 多摩市事業者連絡協議会
- ③ 多摩市デイサービス連絡会

7. 研修

(1) 外部研修

職員の資質向上を目的に下記の外部研修に参加した。また、研修報告を作成し全職員が閲覧出来るように回覧を行い、職員会議にて各自研修報告を行った。

研修名	日程	参加人数
普通救命講習会	6月25日	1名
介護従事者のリスクマネジメント	10月15日 2月2日	1名
福祉従事者スキルアップ研修	2月4日～6日	1名
福祉レクリエーション実技セミナー	2月21日	1名

(2) デイサービス内部研修

非常勤職員のみでなく常勤職員も可能な限り参加し、業務の標準化、情報の共有化の機会とした。全職員が参加できるように1週間程度同じテーマで毎日実施した。

日程	テーマ	講師
5月11日～	平成21年度介護保険改正に伴う通所介護での変更点と留意点	生活相談員

7月 6日～	食事介助と緊急時の対応	在宅職員
2月 3日～	車椅子昇降練習	在宅職員
3月18日～	離設事故対応策と予防策	生活相談員

8. 地域交流

(1) 介護者教室

21年度は下記の通り3回実施した。多摩市広報に開催のお知らせを掲載し、広く参加者を募った。また、施設玄関外やロビーの掲示板、ご利用者の方々にお知らせを配布する等のPRを行った。

	開催日時	テーマ	講師	出席者数
第1回	平成21年6月16日(火)	「いつでも美味しい食事を！」	東京多摩調理製菓専門学校 井上翠氏	5名
第2回	平成21年10月20日(火)	「紙おむつの効果的な使い方」	カミ商事株式会社 三木恭氏	8名
第3回	平成22年2月15日(月)	「中国四千年の歴史癒しとリフレッシュ」	全日本導引養生功連盟理事 新原英子氏	12名

- ・ 「いつでも美味しい食事を！」
咀嚼低下にともない、食事形態や内容も変化してくる。高齢者特有の食事に対する嗜好の変化についての講義と自宅でも簡単に出来る治療食などの紹介。
- ・ 「紙おむつの効果的な使い方」
日々進化している福祉用具。その中でも、一番身近な紙オムツに焦点をつけて効果的な使用方法や介護者への負担軽減方法の紹介。
- ・ 「中国四千年の歴史 癒しとリフレッシュ」
気功体操とは、頭からつま先まで気を流し、心身ともに健康になっていく体操である。介護で疲れた体を気功体操によってリフレッシュしていただく目的で開催。

各回開催後にはアンケートを実施した。今後取り上げてほしいテーマについては「認知症について」が複数名いた。その他介護体験者の話を聞きたい、新情報を聞きたい、高齢になっても健康で暮らせるような勉強会等が挙げた。これらの意見を参考に今後実施していきたい。

(2) ボランティアの受け入れ

21年度に新たに受け入れを行ったボランティアは傾聴ボランティアとサックス演奏があった。アクティビティ講師のボランティアとしては新たに3名の登録があった。また、行事等のボランティアは17団体の皆様にご協力いただいた。

3月には特養と合同で「ボランティア様に感謝する集い」を実施。在宅からは9名の方が出席した。今後も地域に開かれた施設を目指すためにも、ボランティアの受け

入れは積極的に行っていきたい。

【主な活動内容】 到着時の出迎え お茶出し 傾聴（話し相手） 簡単な移乗介助
アクティビティの手伝い 入浴後のドライヤー 昼休みの見守り
陶芸 車椅子ダンス 麻雀相手 サックス演奏

【講師】 レクリエーション体操 リハビリ体操 書道 絵手紙 詩吟 裁縫
パッチワーク さわやか気功体操 中国気功体操

9. 実習生受け入れ

(1) 在宅サービスセンター主体での受け入れ

21年度は3団体の実習を受け入れた。理論や技術の伝授、実習生からの質問等によって、職員側も日々の介護等自分たちの行っている内容を再確認し、学び直す良い機会となっている。初めての实習という実習生については、初日の朝に相談員よりオリエンテーション（デイサービスの概要・併設施設の説明・守秘義務について・施設案内等）を行っている。資料として在宅部門のパンフレットや「実習にあたってのお願い」、実習日課を渡し、一日の流れがスムーズに把握出来るようにしている。

学校名	実習目的	日数	延べ人数
ベネッセコーポレーション	ヘルパー2級	1日	45名
野津田高校	介護福祉士	3日	2名
多摩職業能力開発センター	ヘルパー1級	2日	17名

(2) 特別養護老人ホーム主体での受け入れ

併設されている特別養護老人ホームで受け入れを行った実習生についても、特養各フロアの実習担当者等と日程を調整し、実習期間中の数日間を在宅サービスセンターでも受け入れを行っている。

実習目的	延べ人数
介護福祉士	21名
社会福祉士	8名

平成21年度 白楽荘通所サービス統計

1. 新規/再開利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	11	9	4	7	6	5	4	13	4	7	7	6	83

2. 中止者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中止	10	4	4	2	9	4	6	5	5	6	2	7	64

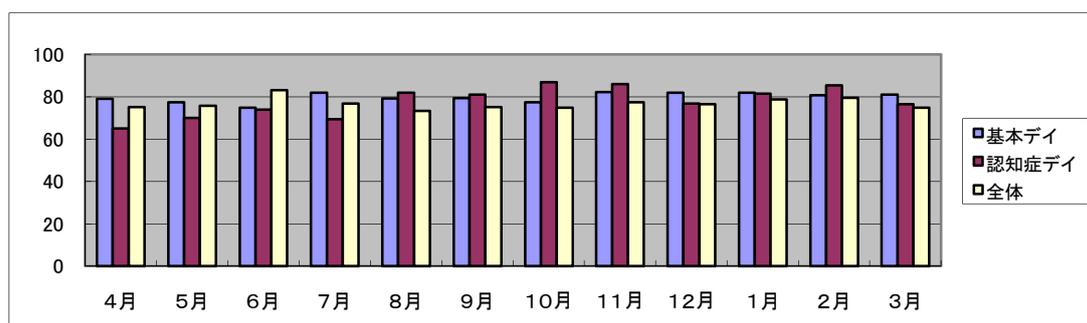
3. 利用者延べ利用回数/稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309
基本	823	807	831	884	825	831	836	822	852	788	776	848	9923
(稼働率%)	79.1	77.5	74.9	81.9	79.3	79.4	77.5	82.2	81.9	82	80.8	81	80.2
認知症	203	222	231	225	256	253	282	258	240	235	246	239	2890
(稼働率%)	65.1	70.1	74	69.4	82	81	87	86	76.9	81.5	85.4	76.6	77.9
全体	1016	1064	1033	1080	991	1015	1050	1007	1034	983	993	1087	12813
(稼働率%)	75.9	76.1	78.6	79	79.9	80.1	79.7	83	80.7	81.9	81.8	80.3	79.7

4. 平均利用率

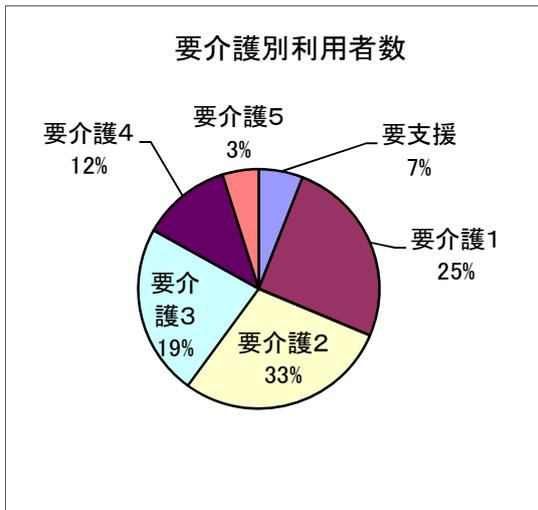
(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
基本デイ	79.1	77.5	74.9	81.9	79.3	79.4	77.5	82.2	81.9	82	80.8	81	80.2
認知症デイ	65.1	70.1	74	69.4	82	81	87	86	76.9	81.5	85.4	76.6	77.9
全体	75.1	75.8	83.1	76.9	73.3	75.1	74.8	77.5	76.5	78.8	79.6	74.9	79.7



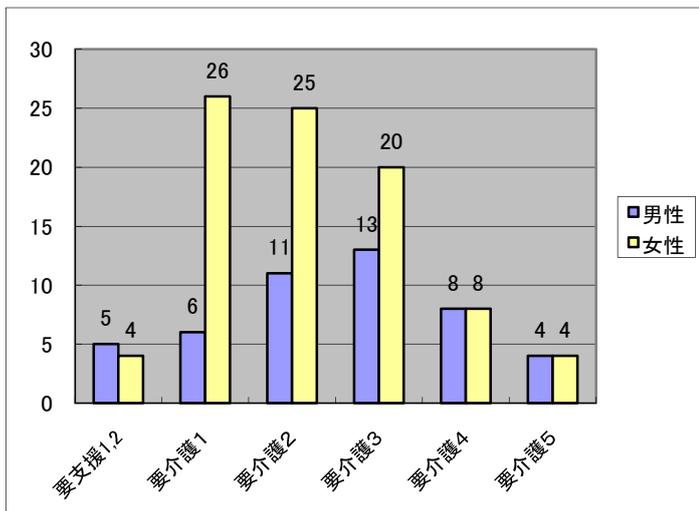
5. 介護度別年間延べ利用者数

要介護区分	基本デイ	認知症デイ	合計
要支援1,2	763	0	763
要介護1	2642	624	3266
要介護2	2842	840	3682
要介護3	2234	733	2967
要介護4	1060	484	1544
要介護5	245	378	623
合計	9786	3059	12845



6. 介護度別登録者数 (平成22年3月末時点)

要介護区分	男性	女性	合計	%
要支援1,2	5	4	16	13%
要介護1	6	26	31	24%
要介護2	11	25	27	21%
要介護3	13	20	31	24%
要介護4	8	8	19	15%
要介護5	4	4	4	3%
合計	47	87	134	



7. 男女比

(平成22年3月末時点)

女性実利用者	91
男性実利用者	53

8. サービス中止者理由別

◆入所内訳

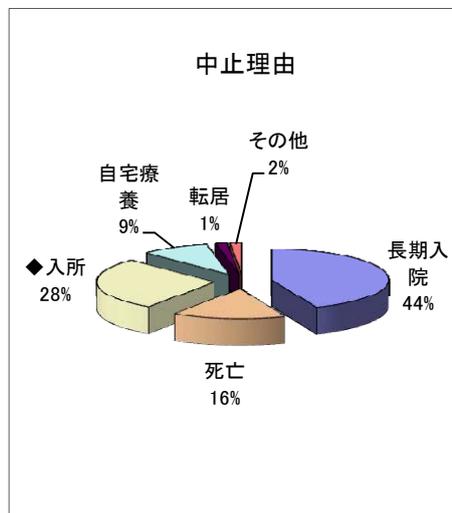
老健	5
特養	4
グループホーム	1
有料ホーム	8
合計	18

9. 平均年齢

(平成22年3月末時点)

女性実利用者	82.07歳
男性実利用者	75.36歳

中止理由	
長期入院	28
死亡	10
◆入所	18
自宅療養	6
転居	1
その他	1
合計	64



平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

食事サービス

平成21年度 食事サービス事業報告（多摩市委託事業）

- ・ 食事メニューを月末から月初めに弁当と一緒に配布した。
- ・ 新規利用者や曜日変更希望の調整、欠席者の対応、配達不在時に支援センターやケアマネ等と連携を取り合い、安否確認を行った。
- ・ 新規利用希望の依頼には早急に対応し、翌日からの配達も調整した。
- ・ なお、平成21年度をもって食事サービスの契約が終了となった。

食事サービス実績

月	合計食数	1日平均	月	合計食数	1日平均
4月	155	7.3	10月	133	6.3
5月	139	7.2	11月	113	5.9
6月	158	7.1	12月	116	5.5
7月	155	7	1月	113	5.9
8月	147	7	2月	113	5.9
9月	118	6.2	3月	123	6.4

参考) 食事サービスメニュー配布例（A4判）

3月 食事サービスメニュー

月	火	水	木	金	土
1日(559kcal)	2日(609kcal)	3日(471kcal)	4日(587kcal)	5日(503kcal)	6日
ご飯 かれいの梅醬油焼き キャベツの磯辺和え 田楽(豆腐・オクラ) 味噌汁(なす・ねぎ)	赤飯 もう一品 天ぷら(ナス・エビ・タラノメ・マイタケ) 酢味噌和え(ホタルイカ・胡瓜) 吸い物・いちご	ご飯 ぶりの照り焼き チンゲン菜炒め 漬物(たくあん) 味噌汁(かぶ・わかめ)	いなり寿司 大根とぼたての薄くず煮 うずら豆の甘煮 清汁(ねぎ・とろろ昆布) 吸い物	ご飯 クリームシチュー サラダ(ツナ・トマト・レタス) 漬物(葉唐辛子) キウイフルーツ	休み
8日(448kcal)	9日(570kcal)	10日(459kcal)	11日(635kcal)	12日(523kcal)	13日
ご飯 鮭の蒲焼き チンゲン菜と油揚げの炒り煮 白菜漬 味噌汁(キャベツ・玉葱)	わかめご飯 さば文化干し 炒り豆腐 漬物(桜漬) 清汁(かき卵・みつば)	ご飯 鮭の塩焼き かぼちゃのいとこ煮 漬物(赤かつば) 吉野汁	ポークカレー 薬味 ほうれん草サラダ フルーツ缶(白桃)	ご飯 肉団子(テリヤキ) 卵の花 漬物(胡瓜) きのこ汁	休み
15日(403kcal)	16日(516kcal)	17日(475kcal)	18日(551kcal)	19日(519kcal)	20日
ご飯 ホタテフライ&椎茸肉詰めフラ すき昆布の炒め煮 しば漬 コンソメ(白菜)	五穀ご飯 アジの塩焼き ぜんまいの炒め煮 ずいとん	ご飯 松風焼き ごま和え(菜花) 漬物(きゅうり) 味噌汁(豆腐・みつば)	ご飯 ビーフシチュー 蓮根の炒め煮 サラダ(アスパラ・トマト) 漬物(野沢菜)	ご飯 タラの西京焼 肉じゃが 漬物(たくあん) 清汁(かき卵・みつば)	休み
22日	23日(457kcal)	24日(486kcal)	25日(556kcal)	26日(509kcal)	27日
振替休日	ご飯 凍り豆腐の炊き合わせ 漬物(たくあん) 味噌汁(里芋・小松菜) いちご	ご飯 ヒレカツ 大根とぼたての薄くず煮 漬物(赤かつば) 味噌汁(豆腐・わかめ)	チキンライス サラダ(南瓜・胡瓜) 漬物(たかな) ポタージュ(コーン) キウイフルーツ	ご飯 天ぷら(茄子・芋・穴子・カニ) ずいき煮 酢の物(胡瓜・錦糸卵) 味噌汁(キャベツ・玉葱)	休み
29日(495kcal)	30日(569kcal)	31日(555kcal)	★仕入れ具合によりメニューが変更になる場合があります。 ご了承ください。		
ご飯 八宝菜 長芋の含め煮 しそこんぶの佃煮 雷汁	ご飯 鶏肉のから揚げ 蟹のみぞえ和え 漬物(たくあん) 味噌汁(ほうれん草・油揚げ)	ご飯 豚肉の味噌漬け焼き くすみ掛け(オクラ) 漬物(桜漬) 味噌汁(わかめ・ねぎ)			

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

いきがいデイサービス

平成21年度 白楽荘在宅サービスセンター事業報告 いきがいデイサービス事業（多摩市委託事業）

1. 概要

統計

- 登録者数（平成22年3月現在）
男性 14名 女性 28名 合計 42名
- 新規登録者 14名（昨年度13名）
- 中止者 7名（昨年度15名）
（中止の内訳：介護保険申請7名、）
- 平均年齢（平成22年3月末現在） 84.3歳（20年度83.6歳）

2. 事業報告

（1）サービス概要

担当地域包括支援センター（多摩センター 西部 中部 南部）と連携を取り、見学者・体験利用者・新規利用者を受け入れ、状況把握を行った。

近年はいきがいデイサービスでは介護認定を申請すれば該当されるであろうご利用者が多く見受けられる。また新規で申し込みをされる方の中にも要支援、要介護度1程度の方が見られ、介護保険をお勧めする場合もあった。しかしながら、ご利用者のなかには介護保険利用に関して少なからず抵抗を感じている方が多い。そのため少しでも抵抗を少なくするため、ご本人にあった適切なサービス利用が開始されるために、サービスセンター職員が介護保険デイサービスといきがいデイサービス間でローテーション勤務を行い、介護保険デイサービスを利用する際に職員が違うことの抵抗をなくすように工夫をした。

ご利用者間では、ADL的に自立度の高い方とそうではない方との差は大きく、活動内容に幅を持たせる事が引き続きの課題となっている。

活動においても直接的な援助が必要な方の数が増加しており、逆に自立度の高い方に満足していただける活動との折衷点が模索される。

多摩市デイサービス連絡会に定期的に参加した。そこでの情報交換から多摩市全体のいきがいデイサービスの利用登録人数は減少気味であり、21年度には和光園、22年度には桜ヶ丘のいきがいデイサービスが廃止となる予定であるとのことであった。

（2）健康増進

① 健康管理

センター到着後、バイタルチェックや様子観察を行い、状態変化を見逃さないように努めた。また、風邪の流行る冬季には朝の到着時に、うがい・手洗いを実施した。

② 体操

午前又は午後のうち一回は可能な限り体操を行い、体を動かし利用者の健康維持を図った。人数に応じていきがいデイルーム又は多目的室にて行った。

③ ゲーム

体を楽しく動かすゲームを取り入れ、心身機能の活発化を図った。

[内容] ホールインワンゲーム・輪投げ・グランドゴルフ・カーリング
風船バレー・卓上ピンポン・風船クラゲ・シーツバレー

④ 手先の運動

手先を使った運動やゲームも日々の体操や活動の中に取り入れ、脳の活性化・他者との交流を図った。

[内容] 指遊び、トランプ、ジェンガ、等

⑤ 学習

計算、間違い探しなどの活動を取り入れ脳の活性化を図った。

(3) 趣味活動・アクティビティ

ご利用者それぞれの希望や能力に合った趣味活動が提供出来るよう、活動内容を検討した。

① 制作活動

(個別作品)

個々にレベルに合うものをそれぞれのペースで作成できるよう援助した。

[内容] 小物入れ 六角形小箱 七夕飾り 折り紙 アンデルセン 大人のぬりえ 六角ペン立て 卓上ゴミ箱 折り紙人形 クッションカバー 巾着袋 ティッシュボックスケース ひょうたん押し絵など

(共同作品)

共同制作で壁面飾りなどを行い、個人制作だけでなく、ご利用者同士で協力して完成させる楽しみも取り入れた、又個人製作を行わないご利用者には積極的に参加して頂き、達成感を感じられる様な支援を行った。

[内容] 紅葉した大通りの風景・ひな祭り・桜・兜・仙台七夕飾り など

② 陶芸

毎月、月～木の4日間実施した。非常勤職員が講師を務め行った。

[作品] 小さめの器 湯のみ 花器 お皿 丑の置物 花器 自由作品 等々

月	作品・内容	参加人数
---	-------	------

4月	小鉢などの成形	33名
5月	小鉢などの釉薬がけ	27名
6月	湯のみ、お茶碗などの成形	29名
7月	湯のみ、お茶碗などの釉薬がけ	25名
8月	お皿の成形	28名
9月	お皿の釉薬がけ	28名
10月	丑の置物・その他の成形	27名
11月	丑の置物・その他の釉薬がけ	32名
12月	花器の成形	34名
1月	花器の釉薬がけ	36名
2月	作りたい物の成形	35名
3月	作りたい物の釉薬がけ	36名

延べ参加人数 370名

③ お針箱

月に2回、非常勤職員が講師を務め実施。利用者と話し合っ
て作品を決めて製作を行っ
た。

月	主 な 作 品	参加人数
4月	手さげバック、布花、ひょうたん	14名
5月	手さげバック、布花、ひょうたん	17名
6月	手さげバック、布花、ひょうたん、張子	27名
7月	手さげバック、布花、ひょうたん、巾着	31名
8月	手さげバック、布花、ひょうたん、巾着	26名
9月	手さげバック、ひょうたん、巾着	20名
10月	手さげバック、巾着	26名
11月	手さげバック、巾着、クリスマスタペストリー、クッションカバー	27名
12月	手さげバック、巾着、クリスマスタペストリー、クッションカバー	31名
1月	手さげバック、クッションカバー、コースター	5名
2月	手さげバック、クッションカバー、コースター、雛人形	44名
3月	布花・、クッションカバー、コースター、ボンボンウサギ	26名

参加延べ人数 294名

④ 裁縫

原則として毎月第1・3水曜日に実施。例年どおり、栗田講師の指導の下で作品作りを

行った。

月	主な作品	参加人数
4月	お手玉&巾着	10名
5月	お手玉&巾着	10名
6月	手さげ袋	9名
7月	手さげ袋	10名
8月	手さげ袋	8名
9月	手さげ袋	10名
10月	クリスマスツリー	10名
11月	クリスマスツリー	7名
12月	クリスマスツリー	7名
1月	松ぼっくり飾り	10名
2月	松ぼっくり飾り	10名
3月	松ぼっくり飾り	8名

参加延べ人数 109名

(4) 外出

自宅から一人での外出が困難な利用者が多い為、外出機会のニーズは変わらず高い。外出でリフレッシュしていただくと共に、心身の活性化につなげた。

①散歩・外出

気候が良い日には気分転換や運動を兼ねて散歩や外出の機会を持ち、体力作りや気分転換をした。

散歩・外出先：中沢池公園・東中野公園・山王下緑地・高幡不動尊・薬師池公園
グリーンライブセンター・野津田公園ばら園・かんでん茶房「遊夢」
貝取山（バラ栽培）・蘭のお店・パルテノン多摩歴史ミュージアム
白樺（喫茶店）

②ショッピング

サミット東寺方店へショッピングに出かけた。

21年度は計24回実施、延べ197名参加された。

日程	人数	日程	人数
4月7, 15	12名	10月23, 26	16名
5月25, 27	13名	11月4, 19	18名
6月19, 30	14名	12月1, 28	12名
7月2, 7	17名	1月21, 25	20名
8月4, 13	16名	2月3, 23	18名
9月2, 17	17名	3月11, 31	24名

③ 季節のドライブ・特別プログラム

普段と異なる外出の機会はリフレッシュとなるため、可能な範囲で行った。

日程	内容	外出先	参加人数
3月23日～ 4月10日	観桜バスハイク	乞田川沿い・貝取～永山さくら通り・一本杉公園～唐木田しだれ桜・長池公園	延べ 60名
12月5日	特別プログラム 食事会	桜ヶ丘「旭鮎」にて食事会	25名
10月21日～ 11月5日	紅葉バスハイク	ケヤキ通り～上の根大通り～永山銀杏通り～寒桜～山王下の銀杏, 東中野市役所前の銀杏	43名
3月23日～ 4月12日	観桜ドライブ	乞田川、永山桜通り、一本杉公園、川井家のしだれ桜、唐木田、長池ひがん桜	64名
3月5日	特別プログラム 「郷土の森と 食事会」	南野「サンマルク」にて昼食後、府中の郷土の森で観梅	28名

(5) その他

① 喫茶・図書コーナー

希望者は楽友会の喫茶コーナーや図書コーナーを利用し、主に昼休みの時間に団欒・読書等を楽しんでいる。

② 介護保険デイサービスとの活動

レクリエーション体操・音楽療法・書道・など、介護保険デイサービスで行われる活動へ、希望により参加している。ボランティアによる特別プログラム（発表会）等が基本ダイルームで行われる時には合同で参加した。

[内容] ・コーラス銀の鳥鑑賞会・松が谷高校太鼓演奏・フラ・ロゼラニ
越中おわら節・かたばみの会踊り・リラの会コンサートなど

③ 防災避難訓練

2ヶ月に一度介護保険デイサービスと合同で実施した。

(6) 施設内行事

① 敬老週間

期間中は介護保険デイサービスの行事に参加した。

また、ご長寿のお祝いとして匂い袋をプレゼントした。さらに期間中は行事食やねりきりのおやつで楽しんでいただいた。

② 年忘れ週間

期間中は介護保険デイサービスの行事に参加した。

クリスマスの飾りつけや行事食・おやつ（クリスマスケーキ）で雰囲気を楽しんでいた。

3. 多摩市いきがいデイサービス全体の動き

- ・ 隔月に開催された多摩市デイサービス・いきがいデイサービス連絡会に参加し、市内にある各団体と情報交換を行った。22年度はデイサービスといきがいが2分化される予定。

【資料1】

平成21年度いきがいデイサービス月別統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ()内は前年度
実施日数	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	19	22	242(250)
登録者	38	36	37	37	37	36	37	38	40	42	42	43	平均38.58名 (36.66名)
利用実人数	36	31	32	31	33	33	34	34	36	38	38	40	平均34.66名 (33.03名)
利用延人数	176	150	187	176	155	154	175	157	185	172	169	236	2092名 (2223名)
1日平均 人数	8.3	8.3	8.5	8	7.3	8.1	8.3	8.2	9.7	9.0	8.8	10.7	8.6名 (8.8名)

【資料2】 月間スケジュール配布例

3月 いきがいデイサービス予定表					
月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日
中国健康体操	ゲーム	裁縫	ゲーム	特別プログラム (書道)	リフレッシュ体操
製作	音楽療法	ゲーム	書道		
8日	9日	10日	11日	12日	13日
製作	ゲーム	リハビリ体操	ショッピング	お針箱	音楽療法 詩吟
ゲーム	製作	製作	新レク体操	さわやか気功	
15日	16日	17日	18日	19日	20日
中国健康体操	製作	裁縫	リハビリ体操	陶芸	書道
製作	新レク体操	書道	製作	リフレッシュ体操	
22日	23日	24日	25日	26日	27日
振替休日	絵手紙	絵手紙	絵手紙	お針箱	音楽療法
	音楽療法	陶芸	陶芸	さわやか気功	
29日	30日	31日			
絵手紙	陶芸	製作			
陶芸	書道	ショッピング			

【資料3】平成21年度 白楽荘いきがいデイサービス アンケート集計結果

40配布

未回収 5

男性

11

女性

24

1 白楽荘いきがいデイサービスにどんな事を期待していますか？

該当するもの全てに○をお付け下さい。(複数回答)

- ・友達を作りたい 18
- ・製作等が楽しみ 23
- ・食事が楽しみ 20
- ・会話が楽しみ 25
- ・体操が楽しみ 18
- ・身体を動かしたい 17

- ・その他
(今ので十分です、色々あり感謝しています。)
(散歩。市内外の観光。)

2 活動内容について

- ① 今までに行った活動で良かった活動、今後も続けたい活動は何ですか？
該当するもの全てに○をお付け下さい。 (複数回答)

・裁縫(パッチワーク含む)	11	・音楽療法	9
・色々な製作	14	・ショッピング	14
・健康体操(気功など)	23	・ドライブ	18
・陶芸	13	・散歩	11
・絵手紙	11		
・運動系ゲーム	21		

- ② 本年度も色々な所に外出活動を行いました、今後も行きたい、又は行ってみたい所はありますか？
該当するもの全てに○をお付け下さい。 (複数回答)

・ 散歩(徒歩での公園などの外出)	22
・ ショッピング	15
・ ドライブ(桜、梅など)	24
・ 喫茶店(お茶を飲みに)	14
・ パルテノンなどの教養施設など	13
・ 野津田のバラ園、薬師池など	19
・ その他(気候の良い日は外出をしたい。何でもやりたい。)	

- ③ 製作活動(作品作り)を行っていますが、今後作ってみたい物がありましたらご記入をお願い致します。

今ので十分です。

3 特別プログラムについて

- ① 本年度は食事会を中心に行いましたが、今後特別プログラムについてご希望等ございましたら ご記入をお願い致します。

- ・あちこち見学したい。
- ・食事会を希望。
- ・食事をしながら色々な事が出来るので楽しかった。
- ・食事会は楽しみ。
- ・梅見とサンタマルクの食事会はとても良かったです、ありがとうございました。

② 外食など、実費負担が必要となるものについて、
利用料を越す部分でいくらまでなら負担してもかまわない
と思われますか？

- ・ あくまでも利用料の範囲内でやってほしい 3
- ・ 500 円 ~ 1000 円 2
- ・ 1000 円 ~ 2000 円 11
- ・ 2000 円 ~ 3000 円 5
- ・ 3000 円以上 1

4 いきがいデイで出される 食事、おやつについて

① 通常の食事、おやつについて

- ・ 満足 13 ・ ほぼ満足 15 ・ やや不満 0 ・ 不満 0

② ①で不満とお答えになった方、どんな点が具体的にお願いいたします。

- ・ 量() ・ 味() ・ 硬さ()
- ・ 献立() ・ その他()

記入なし

③ 食べてみたい献立はございますか？具体的にあれば
御記入お願い致します。

- ・ 満足
- ・ 炊き込みご飯 2名
- ・ うなぎ
- ・ 親子丼
- ・ オムライス
- ・ 散らし寿司
- ・ パエリヤ
- ・ ブイヤベース
- ・ ステーキ
- ・ イカ飯
- ・ 釜飯
- ・ 和洋中の会席

5 白楽荘いきがいデイサービスは
介護予防を目的のひとつにしています。

① 御利用になってからの体調やご気分はいかがですか？

・良くなった	14	・あまり変わらない	13
・悪くなった所もある	0	・その他	0

② 日常生活の中で最近 ご自分の体調や気分でご心配な事がありますか？

・特に何もない	19
・心配な事がある(具体的に)	4
* 腰痛が治らない。	* 足元がふらつく
* 耳が遠いので会話が苦手	* 喘息の咳が気になる
* 足腰が弱くなり痛い時あり	
* 足が弱いので倒れそうになる事	

6 その他の御意見

職員の対応、活動内容等で お気付きの点、御意見等
遠慮なくお書き下さい。

- ・職員の対応に満足です。
- ・大変良くして頂き感謝しております。
- ・皆さん一生懸命やって頂き感謝してます。
- ・職員の方、皆さん親切なので感謝しています、楽しく過ごさせて頂いています。
- ・職員の方々に感謝しています。
- ・いつも笑顔を絶やさず、優しく親切に職員の皆様は接して下さいます。
ありがたい事です。
- ・とても満足しています。本人も帰ってからは少し精神的に元気になっています。
やはりデイに参加の皆さんやスタッフの皆さんとお話出来る事が1番だと感じて
おります。
- ・とても良く親切にして頂いております、いつも有難うございます。とても楽しく
させて頂いております。

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

多摩センター地域包括支援センター

平成 21年度 多摩市多摩センター地域包括支援センター事業報告

地域包括支援センターでは昨年度に引き続き、担当地域の介護予防、介護、一般福祉サービスの相談、また、高齢者虐待、成年後見制度などの相談、各関係機関との協働による地域ネットワークづくりなど、包括支援センターに求められる、保健福祉の総合相談窓口としての取り組み、また、地域の各種団体へのアプローチのなかでは、介護予防、認知症サポーター養成など、包括支援センターが管轄する地域との連携を深めることに取り組んだ。

1. 総合相談業務について

地域の高齢者に関する総合相談窓口として、様々な相談に対し、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3職種が協働で対応をおこなった。

包括支援センターへの相談依頼は、本人、家族、関係機関、医療機関などから多岐にわたり寄せられ、訪問による相談を主体として、様々な相談内容に対応をした。時には緊急対応を必要とすることもあり、その都度、臨機応変に対応できるように努めた。また、虐待に関する相談や支援も平成20年度に比べ約3.4倍に増加している。そうした相談の多くは地域のケアマネジャーやサービス提供事業者から寄せられた。そのことから高齢者の虐待に関する意識が関連機関を中心に浸透してきていることが伺える。相談件数は平成20年度に比べ、実件数は391件、延件数は1099件増加している。以下に相談業務に関する件数など年間での集計結果を掲載する。

月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	112	99	139	150	127	130	114	116	141	119	100	140	1487
延件数	185	187	298	293	266	154	237	213	239	216	184	267	2869

月別相談者内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	136	116	181	173	157	177	134	139	145	120	112	166	1756
配偶者	41	32	81	88	70	49	65	50	61	38	38	62	675
子・孫・親族	54	50	74	56	64	77	55	32	48	50	49	54	663
介護支援専門員	15	21	39	63	39	40	44	38	37	36	26	23	421
医療機関	0	2	4	2	5	4	6	4	2	3	6	5	43
民生委員	1	5	1	2	0	2	0	2	0	0	1	3	17
地域住民	1	2	7	6	4	3	3	1	1	1	1	4	34
行政	7	20	15	5	7	20	7	7	6	1	2	7	104
関係機関	59	36	79	56	54	52	52	41	47	45	39	53	613
官公庁	2	3	7	0	2	3	0	1	0	0	0	1	19
その他	1	3	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	8

登録済み相談者年齢層別

～64	34 3.6%
65～69	102 10.9%
70～74	162 17.3%
75～79	194 20.7%
80～84	207 22.1%
85～	238 25.4%
合計	937

年間相談件数対象別

種別	件数
介護給付対象者	453
予防給付対象者	1426
特定高齢者	213
一般高齢者	777
合計	2869

年間相談内容別

相談内容	件数
総合相談	1879
制度・サービス説明	800
サービス調整	554
社会資源の紹介	405
医療連携	22
虐待予防	78
成年後見制度	2
ケアマネ支援	67
サービス担当者会議	150
見守り活動	70
その他	165
計	4192

年間相談方法別

種別	件数
電話	1176
来所	134
訪問	1397
その他	162
計	2869

年間地区別相談実績

地区	唐木田	落合	鶴牧	中沢	山王下	不明	合計
実件数	52	193	150	23	12	4	434
延件数	451	1,299	877	128	56	58	2,869

2. 介護予防支援給付管理について

要支援1および要支援2の認定を受けた方に対し、予防サービス計画の作成を行った。予防サービス計画の作成にあたっては、アセスメントや担当者会議を行い、本人、家族の意向を取り入れた計画作りに努めた。作成した計画に対する3ヶ月に1度のモニタリングは訪問により行い、サービス計画の目標達成状況や本人状況の変化について確認を行った。また、モニタリングの結果、必要に応じて計画の変更など適時行った。

給付管理件数の平均は平成19年度が60件、平成20年度は80件、平成21年度は94件と年々増加している傾向にある。

以下に年間の給付管理件数を掲載する。

介護予防支援給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	91	92	98	95	98	97	96	97	95	93	91	87	1130
(委託件数)	15	15	16	16	17	17	16	16	19	18	18	17	200

3. 介護予防事業について

多摩市が事業主体として行う、介護予防一般高齢者向け事業として、いきいき健康体操教室等の介護予防事業への参加呼びかけを行った。また、虚弱高齢者に対しては、いきがいデイサービスや生活支援ヘルプサービス、食事サービスといった介護保険外の一般福祉

サービス利用について、介護予防プラン作成やモニタリングを実施した。

4. 特定高齢者事業について

特定健診の実施により、地域の医療機関から特定高齢者事業への参加が望ましいと判断された高齢者に対し、包括支援センターから「総合型介護予防事業(全部アップ教室)」や「低栄養予防(楽笑栄養教室)」「マシン筋トレ(元気アップ教室)」「転倒予防(転倒予防教室)教室」「口腔機能向上(健口倶楽部)」といった各介護予防事業への参加を呼びかけるため、個別にアプローチを行った。

今年度は特定該当者宛にチラシを送付したこともあり、事業への誘いかけに対しても違和感なく受け入れられることが多かった。前年度からの継続者4名を含め合計119名が特定高齢者としてリストアップされ、そのなかでも包括への情報提供に同意されている102名に対し、個別にアプローチを行った。しかし、各事業の開催時期や開催場所が、参加するには不都合であったり、各事業や介護予防についての認識がまだまだ浸透されていないなどから、事業への参加者は14名にとどまった。

以下に特定高齢者への対応に関する集計結果を掲載する。

特定高齢者への対応実施状況

(重複利用含む)

教室参加	10名
いきがいデイ利用	6名
訪問したが利用なし	13名
電話のみ	64名
電話連絡とれず	10名
終了者	90名
継続者	12名

通所介護予防事業の実施状況

(複数の教室への利用含む)

介護予防プログラム	実施箇所数	参加人数
マシン筋トレ・転倒予防	7カ所	9人
口腔機能向上	3カ所	2人
総合型介護予防	4カ所	3人
計	14カ所	14人

5. 地区活動について

多摩センター地域包括支援センターが担当する地域に自らかかわりを持ち、地域住民への地域包括支援センターの周知、地域のネットワークづくり、介護予防や認知症についての啓蒙活動など、地区活動を展開した。

日時	会名	対応件数	内容
4/4(土)	トムハウス事業部会	8名	トムハウスでの活動計画等
4/15(水)	なんでも相談	5名	個別相談・見守り活動
4/22(水)	さくらんぼの会	4名	血圧測定等
5/2(土)	トムハウス事業部会	8名	5月トムハウスでの活動予定等
5/20(水)	何でも相談	2名	見守り活動・就労相談

5/20 (水)	いーち相談会	14名	地域権利擁護・成年後見・独居のサービス利用・介護保険全般等
5/27 (水)	さくらんぼの会	12名	血圧測定・総合相談等
6/6 (土)	トムハウス事業部会	10名	6月トムハウスでの活動予定等
6/17 (水)	なんでも相談	6名	血圧測定等
6/28 (日)	唐木田すもも会	21名	地域包括支援センター案内
7/4 (土)	トムハウス事業部会	11名	7月トムハウスでの活動予定等
7/15 (水)	なんでも相談	1名	見守り活動
7/11 (土)	鶴牧・落合・南野地区懇談会	35名	地域ネットワーク等
7/22 (水)	さくらんぼの会	2名	血圧測定・体調についての相談
9/3 (木)	環の会	10名	白百合配布・講演会案内・見守り活動
9/5 (土)	トムハウス事業部会	14名	9・10月トムハウスでの活動予定等
9/13 (日)	落合3-2敬老のつどい	35名	包括案内、食事と運動について
9/16 (水)	NPO いーち	18名	地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について
9/16 (水)	ブリリアシニアの会	21名	介護予防について
10/3 (土)	トムまつり	65名	いつもと違う輪投げ
10/6 (火)	山王下老人会	11名	包括案内、食事と運動の講座
10/15 (木)	認知症サポーター養成講座(トムハウス)	15名	サポーター養成
10/20 (火)	プロムナードサロン	10名	介護予防について・包括案内
10/24 (土)	鶴牧・落合・南野地区懇談会	25名	地域ネットワーク等
10/28 (水)	さくらんぼの会	32名	講座・認知症サポーター養成
11/7 (土)	トムハウス事業部会	8名	トムまつり報告等
11/18 (水)	なんでも相談	4名	血圧測定・個別相談
11/19 (木)	落合星寿会	26名	包括案内、市の一般福祉サービス等
12/3 (木)	地区連絡会	13名	21年の地区活動報告・相談件数状況報告・地域状況報告

12/4 (金)	鶴牧・落合・南野地区懇談会 世話人会	12名	12月14日懇談会打ち合わせ
12/14 (月)	鶴牧・落合・南野地区懇談会	27名	地域ネットワーク等
1/9 (土)	トムハウス事業部会	7名	1月トムハウスでの活動予定等
1/21 (水)	なんでも相談	3名	血圧測定・個別相談
1/26 (火)	鶴牧・落合・南野地区懇談会 世話人会	11名	2月21日懇談会打ち合わせ
2/3 (水)	多摩モデル地区地域連絡会	13名	インフォーマルサービス連携について
2/4 (木)	多摩市・楽しく生活したら委員会	6名	暮らし応援団落合鶴牧南野地域マップ作成
2/15 (月)	サロン交流会	32団体	サロン関係者とのグループワーク
2/17 (水)	多摩市・楽しく生活したら委員会	7名	暮らし応援団落合鶴牧南野地域マップ作成
2/17 (水)	NPO いーち	14名	包括支援センターの相談業務の実際から
2/21 (日)	鶴牧・落合・南野地区懇談会	21名	地域ネットワーク等
2/22 (月)	多摩市・楽しく生活したら委員会	6名	暮らし応援団落合鶴牧南野地域マップ作成
3/25 (木)	環の会	9名	包括案内

6. 多摩市高齢支援課及び他地区担当地域包括支援センターとの協働について

【他地区包括支援センターとの取り組み】

多摩市の他の地域包括支援センターと合同で、3職種がそれぞれの専門職会議を開催した。各会議ではそれぞれの専門性から、現状の課題や今後の取り組みについての検討を行った。

① 地域包括支援センター医療職会議

各地域包括支援センターの保健師、看護師が集まり、特定高齢者事業への取り組み、予防介護サービス計画の作成方法、事例などについて、検討を行った。

② 主任ケアマネージャー会議

各地域包括支援センターの主任ケアマネージャーが集まり、地域の居宅介護支援事業所に所属するケアマネージャーへの支援についての検討や事例検討会の開催、包括支援センター担当地区内の連絡会の開催、新人ケアマネージャーへの研修会開催などを行った。

③ 社会福祉士会議

権利擁護事業や虐待への対応についての事例研究を行い、今後の包括支援センターと

しての取り組み方を検討した。また、多摩市虐待対応マニュアルの見直し案や緊急対応事例をもとにした緊急時対応における今後の課題などを話し合い、多摩市職員、包括支援センター職員が虐待対応に関する問題点の整理とスキルアップについて検討した。

【多摩市高齢支援課との取り組み】

多摩市高齢支援課主催の事業などについて、高齢支援課からの参加要請や協力要請を受け活動を行った。

① 見守りネットワークウィーク

平成21年10月19日～平成21年10月23日までを高齢者見守りネットワークウィークとし、包括支援センター担当地区内の個人商店、スーパー、美容院、商店街など、主に高齢者が普段から立ち寄りそうな店舗、また高齢者宅に配達で訪問をする新聞配達店や商店に、包括支援センターの案内と高齢者見守りの依頼を行った。見守りウィーク間に合計91箇所を訪ねをおこなった。

② 長寿を祝う会でのおたっしや健診

平成21年9月19日にパルテノン多摩で行われた多摩市の長寿を祝う会会場において、来場者のなかで希望者について「おたっしや健診」を実施した。

③ たまたま箱スポーツまつり

平成22年3月13日に総合体育館にて行われた多摩市(文化スポーツ課・高齢支援課・健康推進課)主催のたまたま箱スポーツまつり会場にて「おたっしや健診」を実施した。

7. 実習生の受け入れについて

桜美林大学、目白大学、文京学院大学の社会福祉士実習生を受け入れ、包括支援センターの業務内容の説明や同行訪問などの指導を行った。

8. 各種研修会議への参加について

定期的に行われる多摩市包括支援センター連絡会や各職種会議へ参加した。また医師や多摩市及び多摩市近隣のMSWとケアマネとの交流が図れるよう、医療連携会議を主催した。その他、職員の資質向上や制度上必要な各種研修への参加を適宜行った。

会議及び研修名	月 日	参加職員数
包括支援センター連絡会	4/7 5/12 6/2 7/7 8/4 9/9 10/6 11/4 12/1 1/5 2/2 3/2	3名
包括支援センター医療職会議	4/13 5/22 6/12 6/25 7/17 8/28 9/16 10/14 11/20 12/18 1/15 2/12 3/19	1名
主任ケアマネージャー会議	4/15 6/10 7/2 8/4 12/9	1名
社会福祉士会議	6/9 7/14 8/18 9/29 11/17 1/12 2/9 3/9	1名
地域ケア会議	4/21	1名
落合地区ケアマネ会議	4/20 6/16 7/15 8/5 9/3 11/11 1/13 2/3 3/3	1名
社会福祉協議会連絡調整会議	4/13 6/22 12/4	1名

介護支援専門員連絡会	4/15 5/20 7/22 9/12 11/18 1/20 2/17 3/17	1名
住宅改修説明会	4/10	3名
主任ケアマネ主催事例検討会	6/17 8/19 12/11	1名
課題別スキルアップ講座	6/25 7/10 8/7	3名
医療連携会議	8/17 8/27 12/14 12/28 1/4 1/7 1/13 1/22 1/29 2/1	1名
医療との情報交換会	9/11 2/2	3名
あしたの会	9/29 1/20 2/17 3/17	1名
慢性呼吸器機能障害研修	10/1	1名
マップ作成打ち合わせ	10/24 11/24	1名
ゲートキーパー研修	10/26	1名
主任ケアマネフォローアップ研修	10/29	1名
運営協議会	11/9 11/24	1名
介護支援専門員研修会	11/16 12/1	3名
アルコール依存症研修	11/26	3名
ゲートキーパーフォローアップ研修	12/4	1名
成年後見制度専門研修	12/10	1名
さくらんぼの会打ち合わせ	12/11	2名
介護支援専門員専門研修	12/12 1/22 2/13 2/21 3/11	1名
包括事例検討会	12/25	2名
福祉用具研修	12/16	1名
介護予防ケアマネジメント研修	1/15	1名
難病地域関係者連絡会	1/25	1名
包括支援センター研修会	1/29 2/5 2/19 3/5	2名
福祉用具サービス業務従事者研修	2/3	1名
多摩モデル地区地域連絡会	2/3	1名
包括支援センター現任研修	2/25	1名
介護支援専門員活動支援事業研修	2/26	1名
基幹型地域包括支援センターモデル事業報告会	3/11	1名
介護予防事業参加者決定会議	3/25	1名

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

訪問介護

平成 21 年度 白楽荘在宅サービスセンター 事業報告書 (訪問介護部門)

1. 訪問介護事業概要

(1) 登録利用者数 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

・訪問介護	21名	
・予防訪問介護	12名	合計 33名

(2) 動向

・新規	訪問介護	4名	
	予防訪問介護	3名	合計 7名
・中止者		6名	

(入所 2 名・他事業所移管 1 名・家族同居 2 名・逝去 1 名)

(3) 職員体制

・管理者	1名	
・サービス提供責任者	2名	(常勤 2名)
・登録訪問介護員	18名	(女性 18名・男性 0名)
・資格	介護福祉士	4名
	ヘルパー 1 級	2名
	ヘルパー 2 級	12名

2. 運営状況

平成 18 年度に行われた介護保険制度の改正により、訪問介護サービスにおける介護報酬の体系も大きく変化した。その結果、生活支援サービスの利用制限が大きく影響した。平成 21 年度においても、独居高齢者以外の生活支援サービス利用は適用に様々な実態との整合性が求められている。居宅介護支援事業所等の介護支援専門員によるアセスメントと作成されるケアプランは大きな比重を占めているが、その反面、あいまいな判断基準も存在し、事業所としてもその判断には十分な見識を持って意見を求められる状況が続いている。また、そういった事情から、同居のご家族がいる方について、多くのご利用者は介護保険外(自費サービス)のサービスを選択することが増えてきている。例えば、週 1 回程度の掃除など家事支援には社会福祉協議会の有償助け合いサービスやシルバー人材センターなどが大きな受け皿となっている。さらに、介護保険サービスでは提供が困難な大掃除や庭の手入れなど、不定期な家事サービスにつ

いても、民間事業者もしくは介護保険サービス事業所での自費サービス利用もご利用者や介護支援専門員の選択としては一般的な傾向となってきた。そのため、自費サービスの提供も行っている訪問介護事業所を選択する介護支援専門員やご利用者が増加している傾向もみられる。

そうした傾向もあり、平成21年度において当事業所では新規開拓が難しい状況が見られた。ただし、既存のご利用者については、長年の継続したご利用者が多く、そのなかでも年を追うごとに身体的に機能が低下されてきている方が増え、サービス内容の変更や派遣回数が増加などが多くみられるようになってきている。

3. サービス提供状況

(1) 訪問介護計画について

- ・居宅サービス計画書を基に必要性や時間調整などを行い、自立支援に基づく具体的な訪問介護計画書を作成。
- ・新規利用者については、事前面接や担当者会議など訪問によるアセスメントを行いヘルパー派遣の計画を作成。

(2) 予防訪問介護計画について

- ・利用者の体調に留意しながら残存機能の維持、向上を念頭におき自立を支援できるように計画を作成。
- ・行える事がより一層増えるように予防訪問計画書を作成。
- ・利用者の意欲を引き出す事が出来るように留意した。

(3) 登録ヘルパー派遣業務について

- ・ケアマネージャーからの居宅サービス計画書を基に、登録ヘルパーを派遣し、計画に沿った援助を行なう。
- ・利用者のニーズに合わせケアマネージャーと連携をとり、担当者会議を行い、内容の見直しや訪問日・訪問時間の変更を行う。
- ・登録ヘルパーからの情報をケアマネージャーに連絡し、情報の共有化を図る。
- ・職員、登録ヘルパーの健康診断、インフルエンザの予防注射・腰痛健康問診表を提出してもらい、健康保持を行う。
- ・ヘルパー登録数は前年度と変更なく、既存の方が継続されているが配偶者控除などの税制上の理由から年間収入を制限されている方が半数以上の為、新規依頼については調整がかなり必要となっている。

(4) 連絡調整

- ・利用者宅に「連絡ノート」を置き、利用者・家族・ヘルパー間での連携が密になるよう努めた。
- ・利用者の体調変化等は早めに関係機関と連携をとることにより病気の予防、重篤化の防止に努めた。

(5) 苦情

21年度は2件の苦情があった。2件とも訪問を忘れたという訪問介護としてしてはならない事だった。2件とも代行依頼のケースであった為、事前に再度連絡を入れ再確認する事と、各ヘルパーに予定表の前日確認をして対応することを徹底することとした。

4. 研修

様々な意見や情報を得られる事から、外部研修への参加を今年度も行った。また研修参加者からの報告書を事業所内で回覧し共有した。

(1) 登録ヘルパー向け研修

6月25日	介護保険制度について 普通救命講習 いつでも美味しい食事を！元気の源 講座
7月2日	認知症対応
8月5日	口腔ケアについて
9月17日	記録の書き方
10月15日	介護職員として留意すべき事
10月6日	手洗い研修
2月10日	階段昇降

(2) 外部研修

5月14日	介護保険改正と事業所の運営マネジメント研修会
-------	------------------------

9月17日	記録の書き方・介護職員として留意すべき事
2月18日	コミュニケーション能力を磨く
3月16日	口腔ケアのすすめ

(3) 多摩市保険福祉部介護保険課 ヘルパー部会

5月21日	活動内容について
7月23日	歯科医・歯科診療所について 福祉用具研修について 市民からの苦情について その他の連絡事項 認知症についての事例検討会
11月13日	新型インフルエンザ等 感染症の対策について
1月21日	リスクマネジメントについて アクティブ福祉 in t o k y o '09に参加して
3月18日	来年度に向けて

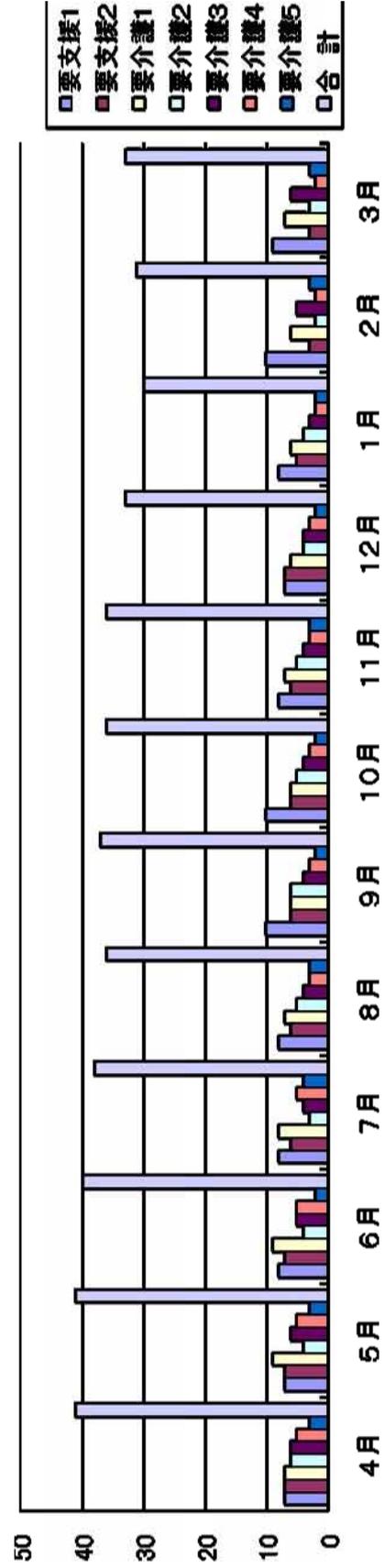
5. 実習生受け入れについて

実習生を受け入れてくれるご家庭がなく、今年は受け入れる事は出来なかった。新規ご利用者をお願いをしたが、知らない人を入れる事の拒否感は多くの人が抱いており実施できなかった。

6. 訪問介護 介護度別利用者数

平成22年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	7	7	8	8	8	10	10	8	7	8	10	9
要支援2	7	7	7	6	6	6	6	6	7	5	3	3
要介護1	7	9	9	8	7	6	6	7	6	6	6	7
要介護2	6	4	4	3	5	6	5	5	4	4	2	3
要介護3	6	6	5	4	4	4	4	4	4	3	5	6
要介護4	5	5	5	5	3	3	3	3	3	2	2	2
要介護5	3	3	2	4	3	2	2	3	2	2	3	3
合計	41	41	40	38	36	37	36	36	33	30	31	33



7. 訪問介護 介護度別のべ利用者数

平成 22 年 3 月 31 日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
介護度1	42	48	52	53	42	47	54	43	42	40	42	57	562
介護度2	67	56	57	55	77	72	51	51	52	45	9	11	603
介護度3	65	61	58	53	45	54	52	51	58	40	79	93	709
介護度4	34	36	37	32	18	19	19	17	17	13	11	11	264
介護度5	50	39	40	48	43	39	44	37	40	38	38	46	502
合 計	258	240	244	241	225	231	220	199	209	176	179	218	2640

8. 介護予防訪問介護 介護度別のべ利用者数

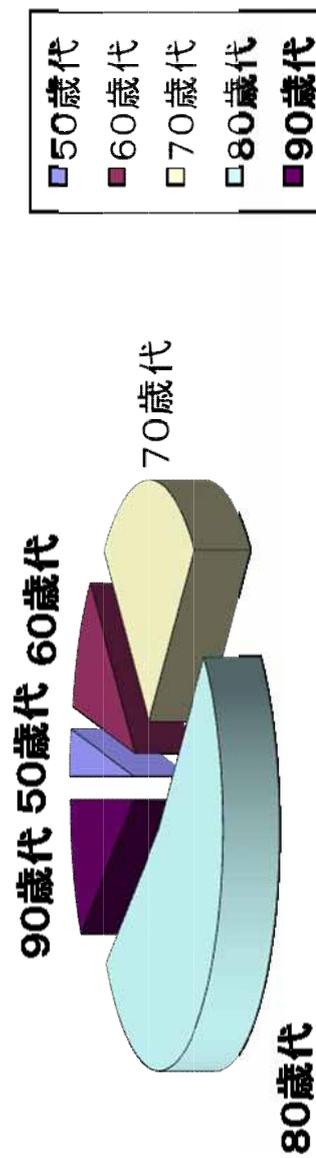
平成 22 年 3 月 31 日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
要支援1	38	38	46	49	42	48	52	37	30	36	43	48	100
要支援2	52	50	49	51	46	46	48	46	58	43	28	31	548

9. 訪問介護・介護予防訪問介護 年代別利用者数

平成 22 年 3 月 3 1 日現在

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計(人)
訪問介護・予防 訪問介護	1	3	8	17	3	32



平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

居宅介護支援

平成21年度 白楽荘居宅介護支援事業所 事業報告

平成21年度中に2名の職員が介護休暇・産休（及び育休）を取得した事から、10月以降は介護支援専門員2名（兼務1名）体制にて居宅介護支援事業を行った。2名の介護支援専門員の内訳は以下のとおりである。

介護支援専門員の構成（平成22年3月1日現在）

職 種	人数(兼務人数)
介護福祉士	2(1)
社会福祉士	0
計	2(1)

居宅介護支援業務については、適切なアセスメントをとおしてご利用者及びご家族のニーズを把握し、居宅介護サービス計画の作成を行った。

1. 居宅支援事業に関する報告

以下に居宅支援事業に関する集計を掲示する。

(1) 月別新規居宅支援依頼件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	2	2	1	1	0	0	2	3	1	6	2	21

平成21年度の新規居宅支援の依頼件数については、介護休暇・産休をとる職員の担当ケース振り分けに伴い、残り2名の担当ケースが40件近くになる予定だったためしばらく新規依頼を中断していた。ただし、入院のため居宅支援を中止していたご利用者が退院される場合は、スムーズに再支援できるように依頼を受けていた。秋以降入院者（保留者含む）や施設入所者が増加したため再び新規の依頼受付を開始した。

(2) 月別居宅支援終了件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	9	13	9	3	4	0	2	1	1	1	5	54

利用者終了理由内訳

終了理由	件数
死亡	3
入院	9
施設入所	6
要支援認定	3
その他	33
計	54

平成21年度居宅支援の終了件数は54件であった。各種休暇に伴う職員の担当ケース振り分けにより、残り2名の職員で担当可能な件数以上については他事業所に依頼した事から前年度に比べて“その他”の件数が大きく増加した。逆に死亡者は前年度と比べて12件減少している。

要支援認定者についてはケースの状況により個別に判断し、次の更新時にも要支援認定が予想されるような場合は地域包括支援センターへと移行している。今年度要支援に移行した内1名は、ケースの事情により当事業所にて委託予防プランを作成している。

(3) 月別居宅支援件数

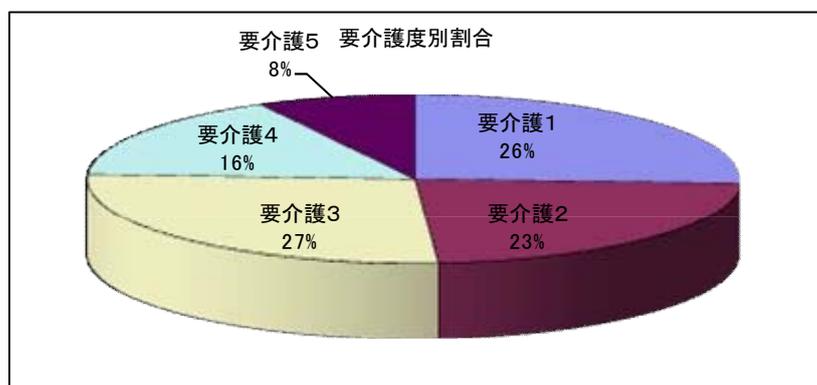
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	109	103	99	85	77	71	69	70	67	64	71	73	958

平成21年度の居宅支援件数（給付管理票作成件数）は958件であった。年度途中で職員が4名から2名となったため、総件数は前年度と比べて459件減少しているが、介護支援専門員一人あたりの担当件数は前年度の30件程度と比べて、今年度は介護支援専門員の標準担当件数とされている35件をほぼ維持している。

平成21年度居宅支援件数の内訳は以下のとおり。

要介護度別件数

介護度	延べ件数
要介護1	247
要介護2	221
要介護3	259
要介護4	156
要介護5	75
計	958



保険者別年間利用者数

保険者	延べ件数
多摩市	843
八王子市	95
杉並区	5
川崎市	3
調布市	12
計	958

要介護5は4%から8%と大きく増加した。年度途中で職員2名体制となったことが、要介護度別割合に影響したと考えられる。その他の介護度については大きな変化見られず。

保険者別では多摩市が大多数を占めている。八王子市は松が谷、鹿島などの近隣地区に集約している。その他の保険者に関しても住民票上の理由であり、実際は多摩市などの親族宅にてサービスを利用している。

【参考：多摩市ホームページより】

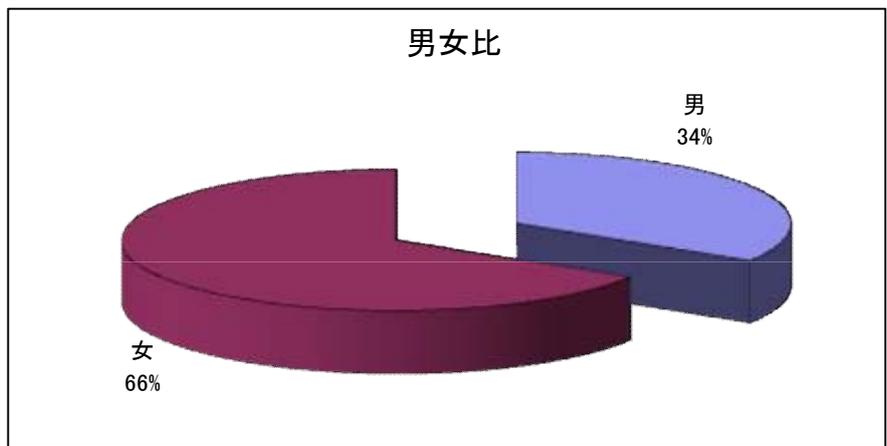
多摩市要介護(要支援)認定者数(H22年4月1日現在)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定者数	332	438	629	616	547	448	483	3493

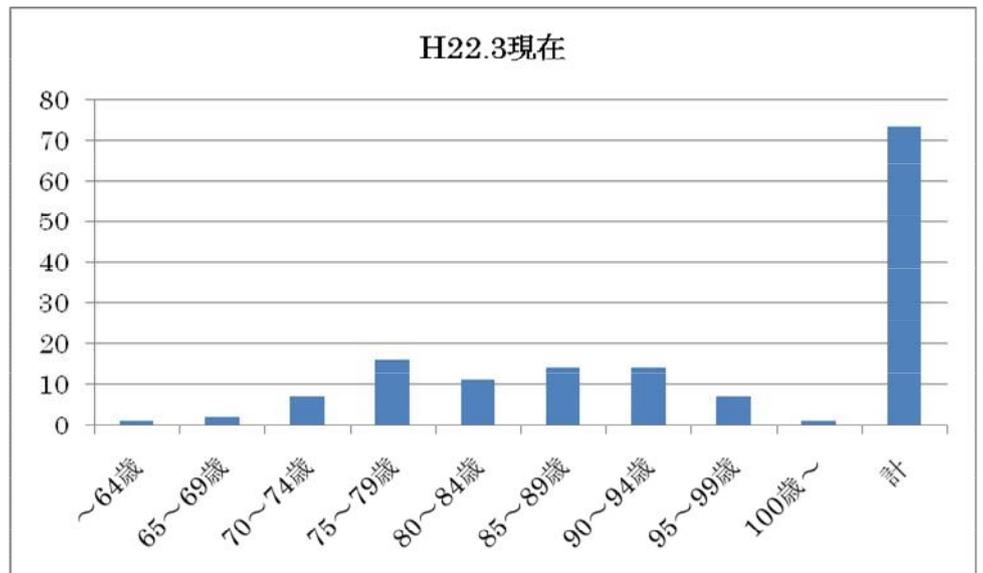
※前年度比計数・・・212名増

平成21年度利用者の性別構成及び年代別構成は以下のとおり。

性別構成	延べ件数
男	324
女	634
計	958



年齢構成	H22.3 現在
～64歳	1
65～69歳	2
70～74歳	7
75～79歳	16
80～84歳	11
85～89歳	14
90～94歳	14
95～99歳	7
100歳～	1
計	73



2. 介護予防支援に関する報告

平成18年度より開始した、介護予防支援事業の介護予防プラン作成を引き続き行っている。今年度の介護予防支援利用者は5名であった。委託元である地域包括支援センターについては以下のとおり。

- ・ 多摩市南部地域包括支援センター
- ・ 八王子市地域包括支援センター堀之内
- ・ 杉並区地域包括支援センターケア24成田

3. 要介護認定調査に関する報告

平成21年度も多摩市など各保険者からの委託により、在宅における要介護認定調査を行なった。職員2名体制となってからは業務への支障などを理由に、月に受けられる認定調査数を5件程度と設定したが、その後も特に多摩市からの強い依頼希望があり10件近く調査を行う月もあった。

月別認定調査件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査件数	7	4	11	3	8	8	9	5	5	9	5	7	81

※前年度比…98件減。

保険者別調査依頼件数

多摩市	77
杉並区	3
日野市	1
北杜市(山梨)	1

認定調査依頼の大多数は要介護認定の更新に関する調査であったが、なかには保険者が対応できない土曜日や休日などの新規認定調査も行なうことがあった。また東京都外の他県保険者からの調査依頼もあった。

平成 21 年度

事業報告書

白楽荘（在宅部門）

高齢者住宅あたご シルバーピア

平成21年度 高齢者住宅あたご（シルバーピア）業務受託状況報告

- * シルバーピアあたご第2 15戸（内 夫婦世帯4） 19名
生活協力員（LSA） 1名

- * シルバーピアあたご第3 42戸（内 夫婦世帯12） 54名
生活協力員（LSA） 2名
内1名は通勤型

平成 21 年度

事業報告書

軽費老人ホーム（A型）

偕楽荘

平成 21 年度事業報告書

1 施設概要

- 1) 利用定員 50名
- 2) 利用者数 48名 (平成22年3月31日現在)
男性 7名
女性 41名
(利用者の状況;139 ページ参照)
- 3) 待機者数 38名 (平成22年3月31日現在)
- 4) 職員数 9名(5)
施設長 1名 栄養士 1名
相談員 1名 調理員 0名(業務委託)
介護職 4名(2) 事務員 1名(1)
看護師 1名 医師 0名(1)
*()は非常勤職員の別掲
- 5) 敷地面積 5,440.25㎡
- 6) 建物面積 10,287.93㎡
- 7) 構造 鉄筋コンクリート造 陸屋根8階地下1階付
(偕楽荘使用部分1階～3階)

2 施設運営の概況

メキシコ、アメリカ等の豚インフルエンザの流行はWHOにおいて世界的大流行(パンデミック)に備える警戒レベルがフェーズ4(人から人の感染が次々と起こる状態)に引き上げられた時期の平成21年5月16日、日本国内で初めての新型インフルエンザ感染者が発生したため、厚生労働省、東京都福祉保健局から社会福祉施設への「感染予防に関する通知」、あるいは「集団感染が発生した時の対応」等次々と関係文書が送付されてきました。楽友会安全衛生委員会および感染症対策委員会では集団感染防止対策として直ちにうがい、手洗い、マスク着用等を施設に出入りするすべての皆様に徹底していただき、施設内手すり等の消毒、また職員およびご家族が発症した場合出勤を一時見合わせる処置をとりました。近隣小、中学校で集団感染が発生している中、予防対策の効果と、ご利用者、職員共ワクチン接種をしたおかげで施設ご利用者からは一人の発症者を出すこともなく現在に至っております。21年度は新型インフルエンザに振り回された1年でしたが、今後も法人安全衛生・感染症対策委員会を中心に施設内の感染予防に関しては充分配慮し、引き続きご利用者、職員、面会者にはうがい、手洗いの励行をお願いするとともに、施設内の環境整備を徹底させてまいりたいと考えております。

偕楽荘事業運営につきましては、社会福祉法人楽友会の経営理念、利用者権利宣言

に基づき、今年度も事業計画に沿ってご利用者に納得の得られる各種サービスの提供に努めました。以下の活動状況を報告します。

1) 福祉サービス第三者評価を受審

平成16年度より東京都が実施している「福祉サービス第三者評価」を今年度も受審した。

評価の結果は、身体状況に応じた個別重視の食事の提供・緊急時の近隣施設との相互支援体制、接遇マナー向上のための多様な取り組み、家族との連携体制、健康管理・介護予防支援体制について高い評価を得ることができた。今後ご利用者のサービス向上に反映させ、良質なサービスの提供に努めることとしたい。

2) 家族会を開催

9月13日に家族会を開催し、平成21年度「偕楽荘の事業計画」の実施状況と、ご利用者の現状について報告した。また、厚生労働省令により今後の偕楽荘が「経過的軽費老人ホーム」として建て替え時まで現状維持で運営される旨、家族会で説明し、ご理解とご協力を得る事とした。

3) 介護予防教室の実施

自立施設として健康で安全、安心な日常生活を過ごしていただくため、ご利用者の健康維持増進を考え平成18年度から実施しているが、今年度も日医大永山病院リハビリ室と委託契約を結び年4回介護予防教室を開催した。また介護予防体操を取り入れた活動を継続的に行い介護予防に取り組んだ。

4) アクティブ福祉 in 東京参加

平成18年度より実施している介護予防教室について、東京都社会福祉協議会が開催している「アクティブ福祉 in 東京」にて発表。偕楽荘での取り組みについて多くの福祉関係者、学生に興味を持っていただいた。

3 利用者支援状況

1) 日常生活

年々、自立した生活を維持することが困難となっているご利用者が増えている。そのため、施設内での支援以外に介護保険のサービスを利用し、日常生活に支障のないように努めた。

また、ご利用者の「偕楽荘での生活をできるだけ長く続けたい」という希望を受け、介護予防に重点を置き、介護予防体操を積極的に実施した。

(要介護認定・サービス利用の状況・介護予防教室;143 ページ参照)

2) 食事

給食業務は、継続して業務委託を行った。

治療食等に考慮した食事の提供に継続して取り組んだ。

① 治療食の実施

- ・ 腎臓食 前年度より継続して提供した。
- ・ 減塩食 Drより指示書の出た高血圧症や腎臓病のご利用者を対象に提供した。
- ・ キザミ食 一般的な常食の喫食困難なご利用者に面談を実施して、適正な大きさ・柔らかさを確認して提供した。

② 嗜好調査（対象者：ご利用者50名）

- ・ 平成21年5月27日「毎食の献立・下膳」について調査を行なった。献立に付いては、概ね良好な結果であった。味付についても、前回のアンケート後に改善を行ってきており、良好であった。又下膳方法は、ご利用者に定着してきて「良い」との評価を得た。
- ・ 特別食アンケート
特別食実施時にアンケート調査を行った。ご利用者のご意見等を基に、今後の特別食に反映させる。

③ 代替え食調査

引き続きアレルギーや嗜好食の聞き取り調査を行った。結果は可能な限り反映させ、細かい対応を行った。

④ 残菜調査

実施期間：平成21年7月10日～15日

平成22年3月22日～27日

結果：前回よりも、肉類・根菜類の残菜も少なく食材のサイズ・柔らかさについても良好であった。

⑤ 朝食の選択制も好評を得て、継続して実施している。

⑥ 衛生管理

食中毒発生の予防・防止及びリスク管理の為次の事を継続して行った。

- ・ 調理時の温度管理と記録の徹底
- ・ 野菜等の食品、食器・器具類の洗浄作業の徹底
- ・ 納品時の温度チェック
- ・ チェック表による、清掃状況の確認

⑦ 委託業者の指導員による厨房スタッフのサービスマナーの向上を行った。

⑧ 相互支援協定

南多摩給食協会と南多摩保健所の協力により、近隣10福祉施設と食中毒発生時を考慮したシミュレーションも実施し支援体制の確認を行った。

3) 入浴

- ① 日曜日を除く毎日、午前10時30分から11時30分まで、13時30分から17時まで19時から20時30分の間自由に入浴出来るよう配慮した。
- ② 安全対策として複数での利用を勧め入浴中の事故発生の防止に取り組んだ。

- ③ 毎日の浴室清掃とレジオネラ検査の実施により衛生面の徹底を図った。
- ④ 10 時より介助浴専用の時間を設け、一時的に介助や見守りが必要なご利用者が気兼ねなく入浴をすることができた。

4) 保健・医療・介護予防

ご利用者の老化防止と健康維持のため以下の活動に取り組んだ。

- ① 毎日9時20分から、ラジオ体操と老人体操を組み合わせた健康体操を行い併せて健康状態のチェックを行った。
- ② 利用者連絡会等を通じ健康管理に関する身近なテーマの話題を提供した。更に栄養士・看護師が講師となり健康講座を開催し、健康予防の観点からの講座を主に実施した。医療面では、施設内診療、年1回の定期健康診断、医療機関での誕生日健診及び毎週定期的にご利用者に血圧測定を行った。なお、インフルエンザ予防接種、新型インフルエンザ予防接種を希望するご利用者全員に実施した。
- ③ 通院同行、入院等に関する各種相談、援助等を行った。また、医療機関との連携を強化し受診しやすい体制の確保に努めた。
- ④ 日本医科大学多摩永山病院のリハビリ室と業務提携を行い、介護予防教室を年 4 回実施した。また、日常的に介護予防体操に取り組んだ。

(保健・医療・介護予防教室等実績表;147 ページ参照)

5) 行事

アンケートのご利用者意見を考慮し各行事を検討、実施した。観桜会では多摩市周辺の桜を中心に国立市の大学通りなどをドライブし好評であった。文化祭では、日頃、ご利用者が作成している作品を展示し、開催期間の2日間で100名弱のご家族、地域住民の方が来場され好評であった。また、21年度は多摩テレビでも宣伝をしてもらい、広く借楽荘の広報にも繋がった。

(平成21年度年間行事実施状況;149 ページ参照)

6) クラブ活動

ご利用者間の親睦を深め、ご利用者個々が生きがいを持って楽しく生活していただくため、12のクラブ活動を行った。各クラブ活動の成果は、文化祭、各種季節の行事等で発表し好評を得た。

しかし、複数のクラブに参加するご利用者がいる一方、参加されないご利用者が4割近くいる。このようなご利用者に対応するため、生活相談を通じて意向を把握し参加を呼びかけた。

また、カラオケ、マージャンをサークル活動として取り組んだ。職員も参加することでご利用者の親睦と交流を図る一助となった。

(平成21年度クラブ活動実施状況;151 ページ参照)

4 各種会議

施設運営の適正化とご利用者サービスの向上を期するため、以下の会議を行った。

1) 職員会議

毎月1回、法人および施設業務全体の指示事項・連絡・協議のため、原則として職員全員参加のもとに開催し共有化を図った。

2) ワーカー会議

毎月1回、業務の充実、方向性を確認するため、相談員、ケアワーカー、栄養士、看護師で協議検討し共有化を図った。

3) サービス検討会議

毎月1回、相談員、ケアワーカー、看護師、栄養士が環境衛生、アクティビティ、マニュアル、サービスマナー、ヒヤリハット、介護予防などを担当し問題点などについて協議検討しサービス向上に努めた

4) 支援会議

毎月1回、ご利用者個々の支援について担当ワーカーがケアプランを作成し、全職員で協議検討し対応・状況の共有化を図った。

5) 給食会議

毎月1回、施設長、栄養士及び相談員、看護師、ケアワーカー、委託業者の担当責任者が参加して、献立、給食内容等の充実について協議検討し改善に取り組んだ。

6) 朝礼・夕礼

朝礼:前日の業務事項の申し送り、ご利用者の支援内容の報告、また、当日の業務予定等の確認および周知を図るため毎日実施した。

夕礼:1日の業務の見直し、支援内容の確認、宿直者への申し送りを行った。

7) 利用者連絡会

毎月1回、ご利用者に対し、連絡事項・来月の行事等の説明及び情報提供を行った。又ご利用者からのご意見を吸い上げる場とした。連絡会の内容は、報告書を作成し全員に配布した。

8) 階別懇談会

毎月1回、身近な問題点や要望を聞くため、相談員、担当ケアワーカー及び、栄養士等が参加して階ごとに行った。懇談会の内容は、報告書にまとめ各階のロビーに掲示した。

9) 誕生者懇談会

誕生者と施設長との懇談会を毎月実施した。誕生をお祝いすると共に、ご利用者の意向、希望等についても気軽に意見交換ができる場とした。

5 職員研修

職員の資質向上・新しい専門的知識習得のため、東京都社会福祉協議会等外部の研修に業務に支障のない限り積極的に参加した。

(平成 21 年度職員研修参加状況;153 ページ参照)

6 災害対策

毎月一回、夜間時・地震時の訓練を中心に行った。21 年度は優良防火対象物の認定更新年にあたり、当日は日頃の訓練の成果を発揮する事ができ更新につながった。

また、実際の避難の際はエレベーターを使用する事ができず、階段を使用せざるを得ない事から階段を使用しての訓練も実施した。

(平成 21 年度防災訓練等実施状況;154 ページ参照)

平成 21 年度活動資料

1 利用者 の 状 況 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

1) 年齢別利用状況

単位：人

年齢	男	女	計
60～64	0	0	0
65～69	0	0	0
70～74	1	3	4
75～79	1	8	9
80～84	3	14	17
85～89	2	12	14
90～94	0	2	2
95歳以上	0	2	2
合 計	7	41	48
最年少者(歳)	74	71	71
最高齢者(歳)	89	96	96
平均年齢(歳)	81.7	82.9	82.3

2) 入荘前居住地の状況

単位：人

居住地	男	女	計
多摩市	1	15	16
八王子市	4	6	10
三鷹市	0	2	2
府中市	0	0	0
町田市	0	6	6
東村山市	1	1	2
調布市	0	1	1
日野市	0	2	2
稲城市	0	2	2
市部計	6	35	41
区部計	1	6	7
合 計	7	41	48

3) 在荘期間

単位：人

区 分	男	女	計
1年未満	1	0	1
1年以上 2年未満	0	4	4
2年以上 3年未満	0	4	4
3年以上 4年未満	2	6	8
4年以上 5年未満	1	3	4
5年以上 10年未満	3	17	20
10年以上 15年未満	0	2	2
15年以上	0	5	5
合 計	7	41	48

4) 平成 21 年度入退荘状況

入荘者

単位：人

月	自宅		施設		病院		その他		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	1
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	1

退荘者

単位：人

月	施設		入院		死亡		家庭復帰		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月	0	0	0	0	0	0	1	0	1
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	2	0	0	0	0	0	0	2
合計	0	2	0	0	0	0	1	0	3

5) 平成 21 年度介護事故報告書

【事故件数】 8 件

番号	当事者	場所	事故経緯・状況	対応・処置
1	89 歳 女性	居室	明け方 3 時に居室トイレで脇腹をぶつけたと本人より報告あり。ボーとした表情と呂律が回らない為受診。右脇腹第 10 肋骨を骨折しておりバストバンドを 3 週間装着の指示。	毎朝 7 時にバストバンドの装着介助。10 時入浴介助。21 時にバストバンド外す介助、眠剤服薬確認。 介護サービス：買物付添いを買物代行に変更。
2	89 歳 女性	居室	居室内で洗濯物のゴミ取りに集中、重心がずれ、転倒。看護師対応で受診。レントゲン結果、骨には問題はなかった。2～3 週間はコルセットを着用する様指導あり。	コルセット装着介助、入浴介助、軟膏塗布介助、食事下膳介助、洗濯介助 日常生活のサポートとして、家事援助の短期追加を検討。
3	89 歳 女性	居室	夜間 2～3 時頃居室洗面所辺りで背中を打つように転倒した。受診はせず。	コルセット装着介助、入浴介助、軟膏塗布介助、食事下膳介助、洗濯介助の継続
4	82 歳 女性	居室	夜間、どこかに頭をぶつけた様だとの訴え。出血あり、ガーゼ、包帯で処置し、様子観察。看護師付き添いで脳外科受診する。頭部外傷 5cm 程 5 針縫合。頭部 CT 撮影、異常なし。	眠剤、抗うつ剤を Dr に相談し調整。服薬確認実施。入浴後の消毒対応。粥、キザミ食にて対応。手首の痛みからテーブル配膳対応。
5	85 歳 女性	食堂	食堂より部屋へ帰る途中、下膳を行っている男性利用者の足にひっかけたり転倒、近くにあったテーブルに右脇腹をぶつける。職員付き添いにて整形受診、レントゲン撮影結果、右第 10 肋骨に骨折。	本人よりベットの柵希望にてリース対応。家事援助を 30 分延長。入浴見守り浴対応。2 日間居室配膳実施。湿布貼り替え対応。食堂下膳対応。
6	86 歳 女性	食堂	食堂の空気口の蓋（5 ミリ以下の段差）につまずいて転倒された。転倒による痛み無し。手、足、膝確認するも外傷無し。	食堂空気口の蓋は撤去しその他の床にある穴や凹みなどもタイルを張りかえて対応した。
7	95 歳 女性	3 階 食堂	デイ職員送迎時エレベーター内で歩行できなくなり、徐々に意識レベルが低下、救急車要請した。救急車到着し、バイタル確認してい	受診結果は特に異常なく、独歩にて帰荘した。

			るところ意識回復される。南部 HP に救急搬送。	
8	80 歳 男性	居室	夕方 4 時頃トイレ内より「駄目だ 一動けない」と声が聞こえる。ト イレ向こう側にうつ伏せになって 転倒されているのを発見、救急搬 送。	入院治療中

【ヒヤリハット件数】 8 件

番号	当事者	場所	事故発生場所・経緯・状況	対応・処置
1	80 歳 女性		娘さん宅に外泊する際に毎食後の 預かりのお薬をお渡しするのを忘 れる。	看護師に報告、降圧剤につい ては現在血圧が安定してい る事を家族に状況説明し謝 罪。今後の対策として薬の持 参チェックを外泊連絡票に 記入付け加えた。
2	95 歳 女性	外出	本人の話。居室ベランダから非常 階段を使って 4 階まで行った。	外出願望が強い時や不穏時 は職員が付き添う。
3	利用者 5 名	浴室	浴室の赤外線ヒーターが作動。ヒ ーターのガラス部分が割れて浴室 内のカーンの上に飛び散った。入 浴者は 5 人いたがガラスが飛び散 らない所にいたため、けが人はな し。	設備の撤去。
4	89 歳 女性	エレベ ーター前	音がして駆けつけるとゴミ袋を持 ったまま膝をついていた。	前からふらつきを訴えてい た為ゴミ捨てはお止めして いたが、当日は行かれたのが 分からなかった。ゴミ捨ては 職員が付き添うか、ヘルパー に対応する。
5	78 歳 女性		内服手渡しのご利用者に対して、 他のご利用者の内服薬を渡したご 利用者が気付いたため取り替え た。	今後は内服薬を渡すときに 対応した職員が声出し確認 を行うようにする。
6	95 歳 女性	離設	外出をお止めしている利用者がい つものソファに座っておられず、 荘外搜索。バス停（松が谷停留所） でバスを待っている所を発見。	4 階玄関で白楽荘の外出行 事があり玄関前が混雑して いた。また、4 階事務所に見 守りの連絡もしていなかつ

				たことから利用者が出られた事に気付かなかった。
7	72歳 女性	2階廊下	職員が折りたたみのサマーチェアを移動しているのを手伝おうとされた際、チェアが倒れかかり眉間に擦過傷が出来た。	今後はサマーチェアの使用はなくなった。
8	78歳 女性	外出時	乗る電車を間違え、迷ってしまい駅員に保護される。	職員による迎え対応。今後は迷ったときに駅員に見せる札を作りお出かけのバッグに装着した。

6) 平成21年度サービス推進費加算対象者数

単位：人

加算の種類	対 象 月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
重度者加算	5	5	5	5	6	6	6	6	6	7	7	7	71
通院同行加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
介護予防加算	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	398

- * 重度者加算：要支援、要介護非該当者であり、かつ、継続的な援護を要する方。
- * 通院同行加算：要支援、要介護非該当者であり、かつ、継続的な援護を要する方で、医師の診断に基づき医療機関への通院が必要な方。
- * 介護予防加算：介護予防計画に基づく支援を実施した方。要介護認定者を除く。

7) 要介護認定の状況 (平成22年3月31日現在)

単位：人

性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1	0	0	0	1	0	0	2
女	3	1	1	1	0	0	0	6
計	4	1	1	1	1	0	0	8

8) 介護保険サービス利用状況 (平成22年3月31日現在)

単位：人

サービスの内容	男	女	計
家事援助	2	1	3
デイサービス	0	3	3

その他	1	1	2
-----	---	---	---

9) 年金受給状況 (平成22年3月31日現在)

単位:人

種類	男	女	計
厚生年金	7	26	33
国民年金	0	18	18
遺族年金	0	18	18
共済年金	0	2	2
企業年金	1	10	11
恩給	0	4	4
その他の収入	0	8	8

* 重複受給者あり

10) 平成21年度家族交流等

面会回数

単位:人

回数	利用者数	回数	利用者数
なし	21	26~30回	0
1~5回	19	31~35回	0
6~10回	5	36~40回	0
11~15回	2	41~50回	0
16~20回	1	51回以上	1
21~25回	1	合計	50

外泊回数

単位:人

回数	なし	1~5回	6~10回	11~15回	15回以上	合計
利用者数	18	26	4	1	1	50

2 給食実施状況

1) 年間供給量

平成21年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
エネルギー (Kcal)	1661	1613	1728	1762	1699	1673	1687	1756	1772	1654	1656	1691	1696
蛋白質 (g)	74	73.4	76.2	77.2	74.8	70.6	72	75.4	77.7	72.3	70.3	73.8	74.0
脂質 (g)	47.4	46.3	50	52.6	48.1	47.4	50.5	52.8	50.6	46.9	49.7	48.5	49.2
カルシウム (mg)	632	616	655	610	626	607	613	667	654	595	587	639	625
鉄 (mg)	9.4	8.9	10	9.3	9.1	9	9.3	9.8	10	8.8	9.2	9.5	9.4
ビタミンA (IU)	2314	2129	2541	2436	2338	2260	2197	2404	2299	2253	2292	2219	2307
ビタミンB1 (μ g)	1.1	1.15	108	1.21	1.14	1.06	1.06	1.1	1.18	1.08	1.06	1.05	10.02
ビタミンB2 (μ g)	1.18	1.18	1.23	1.25	1.25	1.19	1.18	1.27	1.25	1.14	1.18	1.24	1.21
ビタミンC (mg)	113	113	112	113	115	105	107	117	121	110	105	114	112
塩分 (g)	10.0	9.8	10.7	10.6	10.5	9.6	10.1	10.2	10.5	9.6	9.5	9.9	10.1

年間供給量	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	V.A	VB1	VB2	VC	塩分
基準値	1552	54.4	40	600	2050	1	1.1	100	10
実績率%	109%	136%	123%	104%	113%	1002%	110%	112%	101%

2) 行事・特別食

21.04.08	特別食	桜おこわ・お刺身(マグロ・真鯛)・天麩羅(うど・たらの芽・アスパラ・南瓜・菜花)・酢味噌和え(ほたるいか・わけぎ・わかめ)・茶碗蒸(ほき・むき海老・三つ葉)清まし汁(生麩・菜花)・ゼリー
21.06.10	特別食	御飯・鰹のたたき・精進揚げ(オクラ・茄子・椎茸・南瓜)・煮物盛り合わせ(里芋・蓮根・筍・茹・絹さや)・茶碗蒸し(赤板・むきえび・三つ葉)・清まし汁(はんぺん・あさつき)・甘納豆のフルーツ蜜豆
21.08.12	特別食	赤飯・鮎の塩焼き・夏野菜の天麩羅(アスパラ・南瓜・茄子・海老・キス)・石川芋の田楽・茶碗蒸し(ささ身・三つ葉・赤板)・酢の物(若布・鰻・胡瓜・みょうが)・清まし汁(じゅんさい)・フルーツのコンポート
21.09.13	敬老会	握り寿司・天麩羅(きす・春菊・椎茸・みょうが)・秋の盛り合わせ(栗の甘露煮・銀杏・椎茸・生麩)・茶碗蒸(くり・鶏肉・赤板)・清まし汁(素麺・生麩・むきえび)・柚子シャーベット
21.10.07	特別食	松茸御飯・お刺身(まぐろ・帆立貝)・精進揚げ(おくら・茄子・薩摩芋)・秋の盛り合わせ(栗・銀杏・他)・大根の鼈甲あん仕立て・菊花と青菜のお浸し・茶碗蒸(笹身・三つ葉・赤板)・清まし汁(松茸・あさつき)・フルーツ(巨峰)
21.12.09	特別食	生ちらし(まぐろ・甘えび・ハマチ・イクラ・錦糸卵)・海老芋の衣揚げ(八頭・隠元・銀杏・カニ缶・ゆず)・茶碗蒸(百合根・しめじ・三つ葉)・清まし汁(はんぺん・あさつき)・フルーツ(洋ナシ)
22.01.01	新年祝賀会	お雑煮・お刺身(まぐろ・真鯛・甘えび)・おせち料理(柚子釜・栗金団・黒豆・海老の塩焼き・数の子・鶏の照り焼き・リオナソーセージ・スモークサーモン・牛肉のアスパラ巻き)・煮物(くわい・蓮根・生麩・絹さや・椎茸・筍・里芋)・茶碗蒸(鶏肉・赤板・三つ葉)
22.02.10	特別食	御飯・海鮮鍋(真鯛・帆立貝・車海老・白菜・えのき・法連草・椎茸・豆腐・うどん・くずきり)・五色なます(大根・椎茸・人参・胡瓜・糸蒟蒻)・茶碗蒸(ゆりね・赤板・しめじ)・甘納豆のみつ豆・糠漬け

提供食の実績

	腎臓食	糖 尿	減塩食	キザミ食
4月	1	0	1	3
5月	1	0	1	3
6月	1	0	1	3
7月	1	0	1	2
8月	1	1	1	2
9月	1	1	1	2
10月	1	1	1	3
11月	1	1	1	3
12月	1	1	1	3
1月	1	1	1	3
2月	1	1	1	3
3月	1	1	1	3

提供食の実績

ご利用者の ADL に合わせた食事の提供に取り組み、今年度も引き続き治療食を実施し施設での充実した生活が出来る様にした。

3 平成 21 年度保健・医療・介護予防等実績表

1) 荘内診療等の状況

単位：人

	診 察	投 薬	検 査	注 射	処 置
4月	33	43	3	1	11
5月	25	23	13		15
6月	31	41	5		12
7月	25	44	6		13
8月	25	36	37		33
9月	34	39	5		35
10月	33	54	7		38
11月	37	40	3	47	18
12月	30	37	4		7
1月	32	32	8	11	12
2月	34	35	8	28	12

3月	34	35	8		13
----	----	----	---	--	----

2) 外部受診状況

単位:人

内科	外科(脳下)	整形外科	眼科	歯科	精神科
312	19	320	48	176	52

耳鼻科	皮膚科	泌尿器科	合計	年間入院者数	透析
11	33	6	977	10	1

3) 障害者手帳交付状況

単位:人

障害区分		男	女	合計
肢体不自由	3級以上		1	1
	3級以下		2	2
視覚障害	3級以上			
	3級以下			
聴覚障害	3級以上			
	3級以下		1	1
その他	3級以上	1	4	5
	3級以下			

4) 健康講座等実施状況

月	健康講座	その他	職員検診等
4月	野外体操・蓬摘み		
5月		介護予防教室	
6月	音楽療法		
7月	夏場の快適な生活 食中毒、脱水症		
8月		介護予防教室	
10月	大人の塗り絵教室		成人病健康診断
11月		インフルエンザワクチン 予防接種 47名	インフルエンザワクチン 予防接種 11名

		介護予防教室	
12月	冬場の健康管理について 新型インフルエンザ、ノロウイルス	新型インフルエンザ [*] 予防接 種 33名	
3月	朗読	介護予防教室(2月)	夜勤者検診 血沈、検尿、血圧

* 健康相談は随時実施した。

5) 介護予防教室

月	内 容	参加人数
5月	転倒予防体操	15名
8月	体力測定	22名
11月	グループ別	25名
2月	個別面談	22名

※介護予防体操は随時実施

4 平成 21 年度年間行事実施状況

日 時	行 事 名	場 所	参加者数	内 容
4月3日	観桜会	多摩市周辺 国立市大学 通り	25名	多摩市周辺の桜を観賞後、国立市の大学通りまでドライブを行った。その後、桜を見ながらロイヤルホストで喫茶を楽しんだ。
5月1日	端午の節 句会食会	町田さ蔵	49名	町田市のさ蔵にて和食懐石膳にて端午の節句を楽しんでいただいた。
5月13日	春の全体 旅行	三島の懐石 と富士サフ ァリパーク	35名	伊豆洋蘭パークにて多くの種類の蘭を観賞していただき、昼食は三島・松韻にて鰻懐石を堪能し、富士サファリパークをバスで回り間近で迫力ある動物を見て楽しんでいただいた。
7月7日	七夕祭り	食堂	全員	折り紙を折り、短冊に願いを託した笹飾りを食堂と各フロアーに飾った。当日は、バイキング形式の食事のほかにバーベキューを提供。その

				他、屋台形式の射的、わた飴、かき氷を楽しんでいただいた。食後は七夕の歌を全員で歌い、夏の気分を味わっていただいた。
7月30日	納涼会	4階正面玄関前	全員	法人主催で実施した。例年通り愛宕太鼓同好会やこども会とボランティアの踊りがあり盛況に行われた。偕楽荘でも当日に向けて練習をしてきた盆踊りを披露した。地元の皆様やボランティアの皆様の協力があり会場も模擬店も好評でした。
9月13日	敬老会	4階多目的ホール・偕楽荘食堂	全員	法人主催で開催した。来賓の祝辞に続いて、90歳以上の長寿者、88歳の米寿を迎えられた方々へ花束の贈呈を行った後、ボランティアによる吹奏楽を楽しんだ。偕楽荘では、昼食にお寿司を提供しご家族と一緒に長寿を祝った。午後は、家族会を開催し現状の説明と情報交換を行った。
① 9月25日	秋の小グループ旅行	① 梨狩りと赤坂離宮コース	① 21名	① 府中美術館にて絵画鑑賞の後新百合ヶ丘にて中華料理を食し、午後は稲城にて梨狩りを楽しんだ。
② 10月16日		② 生田バラ園と旭鮎コース	② 15名	② 生田バラ園にて散策を楽しんだ後、旭鮎にて寿司懐石を食し、午後は鶴川の白州邸武相荘の見学をした。
③ 10月30日		③ 三笠會館と高幡不動尊菊祭りコース	③ 7名	③ 三笠會館聖せき亭で鉄板焼きを堪能した後、多摩地区では最大規模の菊祭りである高幡不動尊菊祭りで秋の風物詩を楽しんだ。天気にも恵まれゆったりとした工程で秋の一日を楽しんだ。

11月6日・7日	文化祭	偕楽荘 3階 フロア及び 食堂	全員	3階フロアと食堂にて各クラブ作品や共同作品、個人の趣味活動の作品、生花などの展示を行い日頃の活動を発表した。共同作品では来場者対象に体験コーナーを設けて参加型として楽しんでいただく。食堂では喫茶コーナーを開催し、ご利用者来場者に利用していただき、2日間多くの方の来場を得て、作品展は盛況に終わった。
12月24日	クリスマス忘年会	食堂	全員	偕楽荘恒例の年忘れ行事であり、日頃のクラブ練習の成果や個人の歌声を披露した。その後は景品付きのゲームや利用者の歌や銭太鼓に合わせた職員の踊りを楽しんでいただいた。
1月1日	新年祝賀会	食堂	全員	新年を迎えた慶び祝膳を囲み、1年のご健康とご多幸を祈念した。
2月3日	節分	食堂・各居室	全員	年女4名の方に節分衣装を着けていただき、昼食後食堂及び各居室を回って鬼打ち豆を行い、今年1年の健康を祈願し厄払いをした。
3月3日	ひな祭り 会食会	八王子鶯啼 庵	43名	日本庭園に囲まれた閑静な雰囲気の中でひな祭りを祝い、懐石料理を堪能していただく。食後は庭園を散歩していただいて、ゆったりとしたひと時を満喫していただいた。

5 平成21年度クラブ活動実施報告

クラブ名	部員	活 動 内 容
書道	4名	毎月2回、第2、第4木曜日にボランティア講師の指導のもと練習に励んでいる。敬老会、文化祭、ダイルームに練習の成果を展示した。
絵手紙	5名	月1回ボランティア講師指導のもと活動した。四季折々のテーマと画材を取り入れて実施している。文化祭に練習の成果を展示した。
さわやか体操	10名	毎月2回第2第4木曜日ボランティア講師の指導のもとに活動した。ストレッチ体操、マットを使用した体操を取入れ楽しく続けら

		れる様工夫している。			
手芸	4名	毎月2回ボランティア講師の指導のもと活動した。パッチワーク作品を主に制作し今年度も文化祭に展示した。			
コーラス	10名	ボランティア講師の指導のもとに、毎月第2、4水曜日に活動を行った。部員も増員、意欲的に活動を行った。楽しく歌える曲や懐かしい唱歌の練習を行いクリスマス会には合唱し好評を得た。			
邦楽	1名	毎月2回第2第4月曜日ボランティア講師の指導のもとに琴曲を練習した。クリスマス忘年会では長城の賦を演奏した。			
自彊術	5名	毎月2回第1、3火曜日にボランティア講師の指導のもと活動した。各自それぞれのペースで無理のないよう体を動かしている。少人数ではあるが、毎回元気に活動した。			
民踊	4名	毎月1回ボランティア講師の指導のもと練習をおこなった。納涼祭で『東京音頭』『炭坑節』『ごちそう讚』の盆踊りを披露した。クリスマス忘年会では『花笠音頭』を踊り、日頃の練習の成果を披露した。			
道端の花の会	6名	毎月1回、多摩市緑化相談員の指導により、歩道脇の花壇に季節の草花を植え成長を楽しんだ。クラブで育てた季節の草花を行事で生けたり、また写真に撮り各階のダイルームに掲示、文化祭にも展示した。			
俳句	6名	毎月2回第2、第4月曜日ボランティア講師の指導のもと活動した。講師より出された兼題のもとに句会で作品を発表した。毎回講師のお仲間も参加され地域交流の場にもなっている。			
シネマ	全員	毎月1回実施。今年はアメリカでアカデミー賞を受賞した作品を取り入れてみましたがほぼ毎回10名以上の参加者ありどの作品も好評をいただきました。			
		上 映 作 品 一 覧			
		回数	上映日	作 品 名	参加人数
		1	4月24日	夕風の街、桜の国	11名
		2	5月29日	犬と私の10の約束	15名
		3	6月26日	私は貝になりたい	13名
4	7月31日	余命	18名		
5	9月24日	グラン・トリノ	11名		

	6	10月21日	生きる	11名
	7	12月5日	余命1ヶ月の花嫁	10名
	8	12月25日	60歳のラブレター	12名
	9	1月29日	旭山動物園物語	15名
	10	2月26日	あかね空	6名
	11	3月26日	ディアドクター	13名

6 平成21年度職員研修参加状況

職 種	研 修 名 (主催)	人数
管理者研修	施設長研修 全国軽費老人ホーム協議会	1名
	高齢者福祉施設部会軽費分科会 (東社協)	1名
	アクティブ福祉 i n 東京 (東社協)	1名
相談員研修	高齢者施設福祉部会・相談員研修 (東社協)	1名
	介護現場におけるスーパービジョン (東社協)	1名
	認知症介護研修公開講座(東社協)	1名
	社会福祉法人主任/係長講座 (全社協)	1名
	アクティブ福祉 i n 東京 (東社協)	1名
ワーカー研修	認知症介護研修公開講座 (東社協)	1名
	軽費分科会介護職員連絡会 (東社協)	2名
	介護現場におけるスーパービジョンフォローアップ研修 (東社協)	1名
	介護職員における記録に関する研修 (東社協)	1名
	老人福祉施設感染症対策指導者養成研修 (都福祉保健局)	1名
	介護における事故防止研修 (都福祉保健局)	1名
	全国老人福祉施設研究会議 (全社協)	1名
アクティブ福祉 i n 東京 (東社協)	1名	
看護師研修	認知症ケアのレクリエーション (日本レク協会)	1名
	社会福祉事業従事者人権研修 (都医療研修センター)	1名
	「新型インフルエンザ」対策について学ぶ」セミナー (東社協)	1名
	福祉職員職務階層別研修「中堅職員」(都福祉人材センター)	1名
	老人福祉施設感染症対策指導者養成研修(都福祉保健局)	1名
	糖尿病と認知症研修 (万有製薬)	1名

	介護における事故防止研修（都福祉保健局）	1名
	アクティブ福祉 i n 東京（東社協）	1名
栄養士研修	特定給食施設栄養管理研修他（南多摩保健所）	1名
	高齢者福祉部会栄養研修会（東社協）	1名
	食育シンポジウム（南多摩保健所）	1名
	相互支援シミュレーション訓練（南多摩集団給食協会）	1名
	相互支援対策会議（南多摩保健所）	1名

7 平成 21 年度防災訓練等実施状況

実施期日	内 容	出 火 場 所	備 考
4月28日	避難訓練	2階倉庫	夜間想定避難訓練
5月26日	避難訓練	1階	地震想定訓練
6月30日	避難訓練	2階	地震想定訓練
7月1日	避難訓練	3階厨房室	優良防火対象物認定
8月25日	避難訓練	3階	地震想定訓練
9月29日	ビデオ訓練		地震時の対応
10月27日	避難訓練	1階ダイルーム	避難訓練、避難路確認
11月24日	避難訓練	2階多目的室	避難訓練、避難路確認
12月22日	避難訓練	3階医務室	避難訓練、避難路確認
1月26日	避難訓練	1階ゲストルーム	消火訓練、避難路確認
2月23日	避難訓練	2階倉庫	消火訓練、避難路訓練
3月30日	避難訓練	3階食堂	全員の避難訓練、階段での避難訓練実施

